

# 浦和競馬場設備棟建築工事

- A-1000 建築 図
- S-2000 建築構造 図
- E-3000 電気設備 図
- M-4000 空気調和設備 図
- P-5000 給排水衛生設備 図
- L-6000 外構 図

通し番号	図面番号	図面名称	通し番号	図面番号	図面名称	通し番号	図面番号	図面名称	通し番号	図面番号	図面名称
1	A-1001	図面表	42	A-1601	サインプロット図						
2	A-1002	工事概要書	43	A-1602	サイン単品図						
3	A-1003	特記仕様書(1)									
4	A-1004	特記仕様書(2)	44	A-1701	昇降機仕様一覧<参考図>						
5	A-1005	特記仕様書(3)	45	A-1702	昇降機設備図<参考図>						
6	A-1006	特記仕様書(4)									
7	A-1007	特記仕様書(5)	46	A-1901	防火区画図						
8	A-1008	特記仕様書(6)									
9	A-1009	特記仕様書(7)	47	A-2001	仮設計画図<参考図>						
10	A-1010	特記仕様書(8)									
11	A-1011	特記仕様書(9)									
12	A-1012	特記仕様書(10)									
13	A-1013	特記仕様書(11)									
14	A-1021	敷地現況図									
15	A-1022	敷地求積図-1									
16	A-1023	敷地求積図-2									
17	A-1024	建築面積求積図・平均地盤算定図									
18	A-1025	建物求積図									
19	A-1031	外部・内部仕上表									
20	A-1101	敷地全体配置図									
21	A-1102	配置図									
22	A-1103	工事区分図									
23	A-1104	平面図(ピット階・1階・2階・屋根伏図)									
24	A-1105	立面図・断面図									
25	A-1106	天井伏図									
26	A-1201	矩計図									
27	A-1202	1階平面詳細図									
28	A-1203	2階平面詳細図									
29	A-1204	階段詳細図・WC詳細図									
30	A-1301	外部部分詳細図(1)									
31	A-1302	外部部分詳細図(2)									
32	A-1303	内部部分詳細図(1)									
33	A-1304	内部部分詳細図(2)									
34	A-1305	外部内部雑詳細図									
35	A-1401	建具共通事項一覧表									
36	A-1402	建具符号図									
37	A-1403	建具表-1									
38	A-1404	建具表-2									
39	A-1501	防水範囲図									
40	A-1502	断熱範囲図									
41	A-1503	囲仕切り詳細図									

# 1. 建築概要

工事名称	浦和競馬場設備棟建築工事	(申請部分)	(申請部分 当該建物以外)	(申請以外の部分)	(合計)
工事場所	埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号	敷地面積	147,658.78 m <sup>2</sup>		
建築主住所氏名	埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号 埼玉県浦和競馬組合	建築面積	507.87 m <sup>2</sup>	391.46 m <sup>2</sup>	9,591.15 m <sup>2</sup>
都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等	○さいたま都市計画区域内 (○市街化区域 ・ 市街化調整区域 ・ 区域区分非設定) ・ 準都市計画区域内 ・ 都市計画区域及び準都市計画区域外	建ぺい率	7.11 %		
用途地域	○第1種住居 ・ 準住居 ・ 近隣商業 ・ 商業 ・ 準工業 ・ 工業 ・ 工業専用 ○無指定	延べ面積(建築物全体)	994.85 m <sup>2</sup>	493.19 m <sup>2</sup>	20,474.17 m <sup>2</sup>
防火地域	・ 防火地域 ○準防火地域 ○指定なし	地階の住宅の部分	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
法定容積率	200 %	共同住宅の共用の廊下等の部分	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
法定建ぺい率	60 %	昇降路の部分	11.30 m <sup>2</sup>	61.99 m <sup>2</sup>	73.29 m <sup>2</sup>
その他の区域、地域、地区又は街区	第1種住居エリア：高度地区(20m)、景観誘導区域、下水道処理区域	自動車庫等の部分	- m <sup>2</sup>	134.58 m <sup>2</sup>	134.58 m <sup>2</sup>
法的な技術対応	無指定エリア(過半)：都市計画公園(浦和記念公園)、景観誘導区域、下水道処理区域	住宅の部分	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>	- m <sup>2</sup>
主要用途	事務所	延べ面積(容積対象)	21,754.34 m <sup>2</sup>	(申請部分983.55m <sup>2</sup> ,申請部分当該建築以外：493.19m <sup>2</sup> )	(申請以外の部分：20,277.60m <sup>2</sup> )
工事種別	・ 新築 ○増築 ・ 改築 ・ 移転 ・ 用途変更 ・ 大規模の修繕 ・ 大規模の模様替え	容積率	14.74 %		
主体構造	○S造 ・ SRC造 ・ RC造 ・ W造	駐車台数	0 台	711 台	711 台
階数	地上2階	建築物の数	申請に係る建築物の数	5	同一敷地内の他の建築物の数
耐火・準耐火建築物	○耐火建築物 ・ 準耐火建築物 ・ その他	建築物の高さ	10.01 m (平均地盤面より)		
防火対象物の用途区分		最高軒の高さ	8.86 m (平均地盤面より)		
基礎地業	杭基礎	平均地盤面の高さ	TP+11.54 m		
主たる外部仕上		設計地盤面	TP+11.40 m (設計GLの高さ)		
工事着手予定年月日		基準階	階高	- m	天井高
工事完了予定年月日		面積	- m <sup>2</sup>		- m
		主なスパン	5.5×6.7 m		
		基礎下端	IFL-2.16 m		
		その他	・ 客室数 - 室	・ ベッド数 - 床	
			・ 住戸数 - 戸	・ 収容人数 - 人	
		特例の適用の有無	建築基準法第56条第7項の規定による特例の適用の有無	・ 有 ○ 無	
		特例の区分	適用があるときは、特例の区分		
		許可・認定等	・ 道路高さ制限不適用	・ 隣地高さ制限不適用	・ 北側高さ制限不適用

# 2. 電気設備概要

電力	引込	本線予備線受電(架空引込)方式	2 回線	6.6 KV
電源設備	変圧器	7 台	1650 KVA	
	発電機		V	KVA
	蓄電池	1,76V/セル	95 組	
	C V C F	台	V	KVA
幹線	照明	単相	3 線式	210/105 V
	動力	三相	3 線式	210 V
負荷	設備容量	144,325 KW		
	基準部照明	500 Lux	光源種別	LED
監視制御	方式	○集中 ・ 個別 ・ 遠方 ・ 手元		
	引込	100 回線		
電話	中継方式			
	内線容量	100 回線	回線	回線
防災	発電機	台	V	KVA
	蓄電池	セル	V	組
	火災報知機	回線		
	非常照明	・ 電池別置 ○電池内蔵 ・ 発電機直入		
	非常放送	W ・ 専用 ・ 兼用		

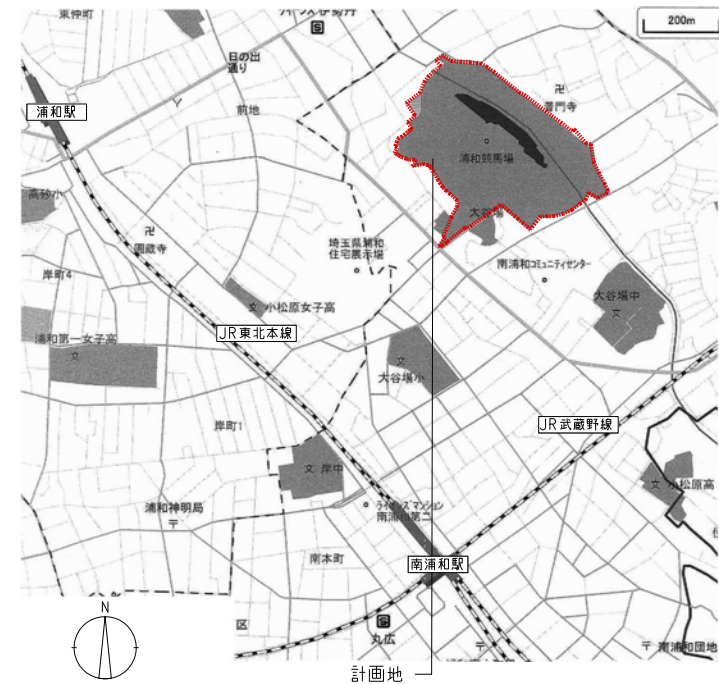
# 3. 空調設備概要

熱源	エネルギー	・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ○電気 ・ DHC ( ・ 高温水 ・ 蒸気 ・ 冷水 ) ・ 太陽熱
	装置	冷凍機 ( ・ ターボ 台、 ・ レシプロ式 台、 ・ 吸収式 台、 ・ スクリュー 台 ) ・ 直燃冷温水機 台、 ・ ボイラー 台、 ・ 蓄熱槽 m <sup>3</sup> 、 ・ コレクター m <sup>2</sup> ○空冷式パッケージ型空調機 (EHP)
空調方式	インテリア	・ 中央式 ○個別式 空冷パッケージ方式 (EHP)
	ペリメーター	・ 中央式 ○個別式 空冷パッケージ方式 (EHP)
制御	空調	・ 電気式 ・ 空気式 ○電子式
	防煙ダンパー	・ 電気式 ・ 空気式
換気	方式	・ 中央式 ( ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 ) ○個別式 ( ○1種 ・ 2種 ○3種 )
	制御	○自然排煙方式 ・ 機械排煙方式 ・ 電気式 ・ 空気式

# 4. 給排水衛生設備概要

給水	水源	○上水 ・ 雑用水	引込口径	100 mm	○直結給水 ・ ポンプ圧送 ・ 重力給水
	受水槽	上水 m <sup>3</sup> × 基			・ 雑用水 m <sup>3</sup> × 基 (ピット利用)
給湯	高置水槽	上水 m <sup>3</sup> × 基			・ 雑用水 m <sup>3</sup> × 基
	・ 中央式	熱源 ( ・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ・ 電気 ・ 蒸気 ・ ソーラー )、貯湯槽 ( m <sup>3</sup> × 基 )			
排水	個別式	熱源 ( ・ 重油 ・ 灯油 ・ ガス ○電気 ・ 蒸気 ・ ソーラー )、○貯湯式 ○瞬間式 ・ 循環式			
	屋内排水	○合流 ( ○地上階 ・ 地下階 )、 ・ 分流 ( ・ 地上階 ・ 地下階 )、 ・ 再利用装置 ( ・ 有 ・ 無 )			
ガス	屋外排水	○下水道放流 ( ○汚水 ・ 雑用水 ○雨水 )、 ・ 浄化槽 ( )			
	・ 都市ガス	引込口径 (中圧 m m) (低圧 m m)、発熱量 ( )			
消火	・ プロパン	kg ポンプ 本立 組			
	・ 屋内消火栓 ・ 屋外消火栓 ・ 連結送水管 ・ 連結散水 ・ スプリンクラー消火 ・ 粉末消火 ・ 泡消火				
	・ ハロゲン化物消火 ・ 炭酸ガス消火 ・ 消防用水 ( m <sup>3</sup> ) ・ 消防水利 ( m <sup>3</sup> ) ○不活性ガス消火 (将来対応)				

# 付近見取図



各工事共通特記仕様書

1 工事概要 (付加)
1 工事概要
工事名称 浦和競馬場設備棟建築工事
工事場所 埼玉県さいたま市南区大谷場一丁目8番42号
敷地面積 147,658.78㎡
工事種目 設備棟 用途：事務所 主体構造：鉄骨造

2 表記 (付加)
表記規則
(1) 各工事共通特記仕様書は、1章一般共通事項から建築工事、電気設備工事、空調（空気調和）設備工事、給排水（給排水衛生）設備工事、昇降機設備工事の共通項目をまとめたものである。

3 工事区分一覧表 (付加)
各工事間の工事区分は以下の表による。
表: 建築 電気 空調 給排水 昇降機 備考
機械搬入口の設置 ※ 搬入後の閉鎖も含む
機械搬入用ビーム、フック、チェーン、ロック等 ※ 建築躯体に係るもの

4 電気設備関係
表: 電気設備 備考
電灯設備 ○ 拡声設備 ○
動力設備 ○ 誘導支援設備 ○
電熱設備 ○ テレビ共同受信設備 ○

5 空気調和設備関係
表: 空気調和設備 備考
空気調和設備 ○ 衛生器具設備 ○
換気設備 ○ 給排水衛生設備 ○
排煙設備 ○ 排水設備 ○

6 給排水衛生設備関係
表: 給排水衛生設備 備考
給排水衛生設備 ○ 衛生器具設備 ○
排水設備 ○ 排水設備 ○

7 昇降機設備関係
表: 昇降機設備 備考
昇降機設備 ○ エレベーター ○
小荷物専用昇降機 ○
機械駆車 ○

8 別契約の関連工事
表: 別契約の関連工事
表: 別契約の関連工事

3 工事区分一覧表 (付加)
表: 建築 電気 空調 給排水 昇降機 備考
機械搬入口の設置 ※ 搬入後の閉鎖も含む
機械搬入用ビーム、フック、チェーン、ロック等 ※ 建築躯体に係るもの

●本設切替以降引渡までの電力・水道・ガス・DHC使用料金
●その他
●1.2.6 (付加) 工事監督員事務所常備する図書
表: 図書等
表: 図書等

1.7節 完成図等
●1.7.1(1.6.1) 完成時の提出図書
(1) 完成図 ※ 受注者が作成する
(3) 画像データ及びCADデータ、その他データ媒体はCD-R、DVD-Rを使用する
(4) 完成図の保管場所（納品）は発注者の指示による
●1.7.2(1.6.2~3) 完成図等
監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第11に示す書類を提出する
完成図等の種別及び記入内容
※完成（竣工）図（※監督員が設定した設計図面に完成時の状態を表現したもの）
※施工図（※構造躯体・）
※施工計画書（総合、工種別とも）
作成方法及び原因のサイズ
完成（竣工）図 ※A1二つ折り製本1部
施工図 ※A1二つ折り製本1部
施工計画書 ※ファイル等
完成写真（埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する）
埼玉県電子納品運用ガイドライン ※適用する（CD-R又はDVD-Rで1部提出） ・適用しない
撮影者 ※監督員の承諾する撮影者
撮影箇所 ※外部（10） ※内部（0）
着工時と完成時の状況と比較できるように撮影する
・実施する
・埼玉県工事写真作成要領別表4
写真の大きさ ※カラーキャビネット版 ・カラー全紙パネル
写真の大きさ ・監督員の指示による
・外部全景完成写真及びカラースライドの提出時期
図面情報電子媒体 ※CD-R又はDVD-R、1部
CADデータ ※DXF (asc) ・DWG ・JWW
(埼玉県建築工事情報電子化媒体作成要領による。CADデータのバージョンは監督員と協議する。)
施工CADデータ ※更新して提出 ・提出しない
●1.7.3 (置換) 保全に関する資料 ※ 受注者が作成する
表: 保全に関する資料
表: 保全に関する資料
●その他 (追加)
○下請け契約 ※全体及び県内に分け、契約部及び契約金額の総額を提出する。





8.5節 押出成形セメント板 (ECP)	
●8.5.2 材料	(1)種類・厚さ及び取付け工法
●8.5.3 外壁パネル工法	施工箇所 種類 厚さ 幅 取付け工法 耐火性能
○8.5.4 間仕切り壁工法	外壁 ◎フラットパネル ・ 50 ◎60 ・ 75 ◎600 ◎A種 ○有
	○デザインパネル (図示) ・ 100 ・ B種
	・ 嵌合型タイル支持用パネル (図示) ・
	・ レール型タイル支持用パネル (図示) ・
	・ 高層ビルの仕様が被 80 ・ 100 ・ 図示
	間仕切り ※ フラットパネル ・ 50 ・ 60 ・ 75 ・ 600 ・ B種
	吸音壁 ◎吸音パネル ◎60 ◎600 ◎B種 ○無
	屋上目隠しパネルに使用する場合、およびルーバーには脱落防止対策品を使用すること (ワイヤー入り)
	外壁パネルの仕上げ ※ 工場塗装 (製造所の仕様による) ・ 現場塗装 (塗装の種類: ) フラットパネル 株式会社ノゾワ: 「アスロックNeoナチュラルプラス」、 アイカタック建材株式会社: 「メースノイロAP」同等品以上 デザインパネル 株式会社ノゾワ: ゴジロック カラーフロン親水性フッ素樹脂塗料 同等品以上 吸音パネル 株式会社ノゾワ: アスロックタフ カラーフロン親水性フッ素樹脂塗料 同等品以上
(置換)	(3)外気に接する取付け金物及び下地金物の仕上げは、溶融亜鉛めっきB種とする。 内部の下部鋼材及び開口補強鋼材 ※8.4.2(3)(f) の錆止め塗装2回塗り (A種またはB種) 内部の取付け金物 ※電気めっきF種 ・ 溶融亜鉛めっきB種 (4)パネル幅の最小限度 ※ 300mm ・ その他 ( ) (6)パネル相互の目地幅 長辺目地 ※ 8mm以上 ・ 製造所の仕様 ( ) 短辺目地 ※ 15mm以上 ・ 製造所の仕様 ( ) (7)出隅・入隅のパネル接合目地 伸縮調整目地 ※ 25mm ・ 15mm (9)耐火性能 ・ 30分耐火 (箇所) ( ) ・ 1時間耐火 (箇所) ( ) ・ 2時間耐火 (箇所) ( ) EVシャフトやガス消火設備がある室は風圧力を考慮しパネル・取付け金物・工法を選定し、気密のためシールを行う
●8.5.5 溝埋り及び開口部の処理	(4)※ 強度計算による ・ 図示 計算結果は、監理者の承認を受けること。
●8.5.6 耐震性能	(付加) 慣性力に対する安全性能は下記とする。 設計用震度 kh=1.0、Kv= (※ 1.0 ・ 0.5) パネルおよび取り付け金物の強度が短期許容応力度内にあり、パネルの破損や脱落、取り付け金物の有害な残留ひずみがないものとする。 層間変位追従性能は下記とする。 補修の必要無しに継続使用できる限界 ※ ±H/300 部材に破損、脱落、有害な残留変形が起らず不定形ノック材の補修のみで継続使用できる限界 ※ ±H/200 部材に破損、脱落を生じない限界 ※ ±H/100 ・ ±H/150 構造体が鉄骨造の場合層間変位±H/100に対してパネルの脱落が無いものとする
●8.5.7 耐風圧性能	(付加) 設計風圧は、風洞実験を行っている場合は実験結果による。風洞実験をしていない場合は建築基準法施行令第82条の5、同第87条、告示第1454号・1458号により算定する (高さ13m以下も適用する)。 地表面粗度区分 ( ・ I ・ II ◎ III ・ IV ) 再現期間 ( ※ 100年 ・ 50年 ) [ガラス協会の再現期間係数] 上記による最大耐風圧 (正圧 1872 Pa、負圧 1201 Pa)
●8.5.8 水密性能	(付加) ※ 二次防水工法 ・ 一次防水工法 一次シーリングと二次シーリングとの間に排水経路を作り、浸入水がパネル最下部で外部に排水できるようにする。
8.6節 薄物押出成形セメント板 (ECP) (付加)	
○8.6.1 材料	種類・厚さ 厚さ35mm以下の薄物パネル 施工箇所 表面形状 厚さ
	・ 外部 ※ フラットパネル ・
	・ 間仕切り壁 ※ フラットパネル ・
	・ 仕上材 ※ フラットパネル ・ 意匠パネル ( )
	・ 地下二重壁 ※ フラットパネル ・ ※ 15
	防水立上り部分の乾式保護材への適用は 9.2.2(14) による。

## 9章 防水工事

9.1節 共通事項	
●9.1.3 (付加) 施工一般 (付加)	(4)防水の下地となるコンクリート面の含水率は8%以下とする。防水施工に先立ち含水率を測定し、監理者に報告をする。 (5)水浸試験 (6)実施する 実施箇所 ( ・ ドレン回り ・ ) 試験時間 ( ・ 24時間 ・ )
9.2節 アスファルト防水	
●9.2.2 材料	(6)押え金物の材質、寸法 ※ アルミニウム製 L=30×15×2.0 (8)(9)断熱工法の断熱材の材質 ※ 標仕の特記無き場合の記述による (10)絶縁用シート 屋根保護防水工法 ※ ポリエチレンフィルム 厚さ0.15ミリ以上 屋根保護断熱工法 ※ フラットヤーンクロス (14)立ち上り部分の乾式保護材 ※ 適用する ( ※ 押出し成形セメント板厚さ15mm ・ 適用しない ) (15)立ち上り部分の保護のれんが (削除) (18)TB1-1、TB1-2、KB1-1、KTBI-1、KTBI-2、の用材の材質 ルーフィング 粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 改質アスファルトルーフィングシート (JIS A6013 非露出防水用R種II類) ストレッチルーフィング (JIS A6022 ストレッチルーフィング100)
(付加) ルーフィング	(19)仕上塗料 (有 (種類: ) ) ◎ 無 (付加)
(付加) (20)寒冷地における保護コンクリート上の塗膜防水(X-1)	・ 適用する ◎適用しない
●9.2.3 防水層の種類、種別および工法	
	種類 種別 施工箇所 ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 屋根保護防水 ・ B-1 ・ B-2 ・ B-3 ・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3 ※ B1-1 ・ B1-2 ・ B1-3 屋根露出防水 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 ・ D1-1 ・ D1-2 屋内防水 ※ E-1 ・ E-2 ・ KE-1 ・ KE-2 高耐久型防水 ・ TB1-1 ・ 環境対応型防水 ◎ KB1-1 ・ 環境対応型 ・ KTBI-1 ・ 高耐久型防水
(付加) (1)環境対応型高耐久型アスファルト防水 (屋根保護防水絶縁断熱工法)	KTBI-1(60年目標)
工程 材料・工法 使用量kg/m <sup>2</sup>	
1 アスファルトプライマー塗り	0.2
2 粘着層付改質アスファルトルーフィングシート	―
3 改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0
4 改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0
5 改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0
6 低煙・低臭アスファルト塗り	1.0
7 低煙・低臭アスファルト塗り	1.0
8 断熱材張付け	―
9 絶縁用シート	―
10 保護コンクリート	―
KTBI-1は、KTBI-1の工程8.断熱材を抜いた工法とする。	
立ち上り部は、断熱材及び絶縁用シートを省略する。 立ち上り部における保護コンクリートの適用及び工法は、図示による。 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。	
(付加) (9)高耐久型アスファルト防水 (屋根保護防水絶縁断熱工法)	TB1-1(60年目標)
工程 材料・工法 使用量kg/m <sup>2</sup>	
1 アスファルトプライマー塗り	0.2
2 粘着層付改質アスファルトルーフィングシート	―
3 改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り	1.0
4 改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り	1.0
5 改質アスファルトルーフィングシートアスファルト流し張り	1.0
6 アスファルト塗り	1.0
7 アスファルト塗り	1.0
8 断熱材張付け	―
9 絶縁用シート	―
10 保護コンクリート	―
TB-1は、TB1-1の工程8.断熱材を抜いた工法とする。	
立ち上り部は、断熱材及び絶縁用シートを省略する。 立ち上り部における保護コンクリートの適用及び工法は、図示による。 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。	
(付加) (4)環境対応型アスファルト防水 屋根保護防水絶縁断熱工法 (冷熱併用)	KB1-1
工程 材料・工法 使用量kg/m <sup>2</sup>	
1 アスファルトプライマー塗り	0.2
2 粘着層付改質アスファルトルーフィングシート	―
3 改質アスファルトルーフィングシート低煙・低臭アスファルト流し張り	1.0
4 低煙・低臭アスファルト塗り	1.0
5 低煙・低臭アスファルト塗り	1.0
6 断熱材張付け	―
7 絶縁用シート	―
8 保護コンクリート	―
※ KB-1は、KB1-1の工程6.断熱材を抜いた工法とする。	

●9.2.4 施工	
●9.2.5 保護層等の施工	
(付加) (1)立ち上り部分 ※ 表6.2.4 [打放し仕上げの種類] B種 (4)(f) (g)ルーフトイレ回り及び立上り部周辺の張りじまい位置 ※断熱補強長さを確保した位置 (4)(f) 平場の保護コンクリートの厚さ ※ こて仕上の場合80ミリ以上、床タイル張り等の仕上の場合60ミリ以上 ・ 図示 (6)(f)機械基礎等の回りにも伸縮調整目地を設けること (7)屋上排水溝 ※PC製円溝 ・ モルタル金こて (最低厚さ40mm SUS製溶接金網2.6φ@50)	
9.3節 改質アスファルトシート防水	
○9.3.2 材料	(1)改質アスファルトシートの種類および厚さ ※ 標仕の特記無き場合の記述による (3)断熱工法の断熱材の材質 ※硬質ウレタン保温板
○9.3.3 防水層の種類、種別および工法	
	種別 施工箇所 仕上塗料塗りの種類 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS1-T1 ・ AS1-J1 ・
9.4節 合成高分子系ルーフィングシート防水	
○9.4.2 材料	(1)ルーフィングシートの種類 ( ) 工法 種別 材 料 施工 箇所 仕上塗料塗りの種類 ・ 接着工法 ・ S-F2 ※ 2.0mm ・ 屋上立上り屋根 ・ グレー ・ カラー ※ S1-F2 ※ 2.0mm ・ グレー ・ カラー ・ S-C1 ※ 1.0mm ・ ・ 機械的 ・ S-M2 ※ 1.5mm ・ グレー ・ カラー 固定方法 ※ S1-M2 ※ 1.5mm ・ グレー ・ カラー ・ S-C1のモルタル塗り厚さ ※ 図示
○9.4.3 防水層の種類及び工法	(2)絶縁用シート ※ 発泡ポリエチレンシート (3)(f)断熱工法の断熱材の材質 ※ 標仕の特記無き場合の記述による
○9.4.4 施工	(4)(f)PCコンクリート部材・ALC下地の目地処理 ※ 絶縁テープ幅100程度 (5)(f)PCコンクリート部材・ALCの増張り ( ) (6)(f)建築基準法施行令第82条の5、同第87条、告示第1454号・1458号により算定する (高さ13m以下も適用する)。 地表面粗度区分 ( ・ I ・ II ・ III ・ IV ) 再現期間 ( ・ 50年 ※ 100年 ・ 年 )

9.5節 塗膜防水	
●9.5.3 防水層の種類及び工法	種別 施工箇所 仕上塗料塗りの種類 ・ X-1 ◎ グレー ◎ X-2 ・ カラー ◎ Y-1 外壁指定地中部 ・ Y-2 ・ (付加) 仕上塗料の種類 ※ ウレタン樹脂塗料 ・ アクリルシリコン樹脂塗料 ・ ふっ素樹脂塗料 (1)(f)X-1において膜気装置の種類及び設置数量 ・ 設置する ・ 設置しない (設置:1箇所/50㎡) (2)(f)Y-2において保護層の適用 ※ 設ける
9.6節 ケイ酸質系塗布防水	
●9.6.1 適用範囲	(2)・地下構造物 ・ 外壁 ・ 床 水槽ピットへの適用は9.9.11による
●9.6.3 防水層の種類及び工法	※ C-U1 ・ C-UP
●9.6.4 施工	(2)(5)標仕以外の下地処理 ※製造所の仕様による (付加) 施工箇所:EVピット 昭和電工建材株式会社 セレガードDS-II同等品以上
9.7節 シーリング	
●9.7.2 材料	(2)下記以外は、表9.7.1による。 施工箇所 シーリング材の種類(記号)
●9.7.3 目地寸法	(1)目地寸法 コンクリートの打継目地及び ひび割れ誘発目地 ※ 幅20ミリ以上深さ10ミリ以上 ガラス回りの目地 ※ 幅・深さ5ミリ以上 (表16.13.1を除き) ・ 上記以外 ※ 幅・深さ10ミリ以上
(付加) (3)目地幅、目地深さの算定 ※ 17章カーテンウォール工事に該当するものは温度ムーブメント計算、層間変位計算等を行い、寸法を決定する ・ 外装に関わる部分のシールの計算書を提出する	
●9.7.5 シーリング材の試験	(2)接着性試験 (実施箇所) ( ) ※ 簡易接着性試験 (但し、カーテンウォール工事の場合は17章による) ・ 引張接着性試験 ・ 散水試験 (実施箇所) ( ) (付加)
9.8節 セメント系防水 (付加)	
○9.8.2 材料	種別 施工箇所 ・ ボリマーセメント系塗膜防水 (PB-1) 9.9.1で指定する水槽、地下二重壁排水溝内部 ・ ・ 防水材はJIS A 1404またはJASS8に適合するものとする。 防水材の割合および塗り厚さ等は防水材製造所の仕様による。 ボリマーセメント系塗膜防水は日本建築学会「ボリマーセメント系塗膜防水工事施工指針・同解説」による。

NIHON SEKKEI 株式会社 日本設計	特記	埼玉県浦和競馬組合	課長	副参事	主幹	主査	担当	設計 1 級建築士登録第 322398号 平塚 智 設計 1 級建築士登録第 355122号 熊澤 啓佑 設計 1 級建築士登録第 213138号 松坂 寛	浦和競馬場設備棟建築工事 (建築図)	図面名称	特記仕様書(4)	TOK_SETUB1.dwg
		飛塚	石井	阿相	矢島	阿相		図面番号		A-1006		
										縮尺	no-scale	
										区分	建築図	













Table with columns for item number, material name, and specifications. Includes items 18.15.10 through 18.15.15, detailing various types of coatings and their application methods.

Table for '19章 内装工事' (Interior Work). Section 19.2 covers floor materials like vinyl sheets and tiles. Section 19.3 covers wall and ceiling materials like gypsum board and acoustic panels. Section 19.4 covers wood-based materials like laminated panels and veneers.

Table for '19章 内装工事' (Interior Work). Section 19.5 covers window treatments like curtains and blinds. Section 19.6 covers lighting fixtures. Section 19.7 covers acoustic treatments like sound absorbers and diffusers. Section 19.8 covers other interior finishes like wall paper and decorative panels.

Table for '19章 内装工事' (Interior Work). Section 19.9 covers miscellaneous items like furniture and accessories. Section 19.10 covers other interior finishes like wall paper and decorative panels. Section 19.11 covers other interior finishes like wall paper and decorative panels.



株式会社 日本設計

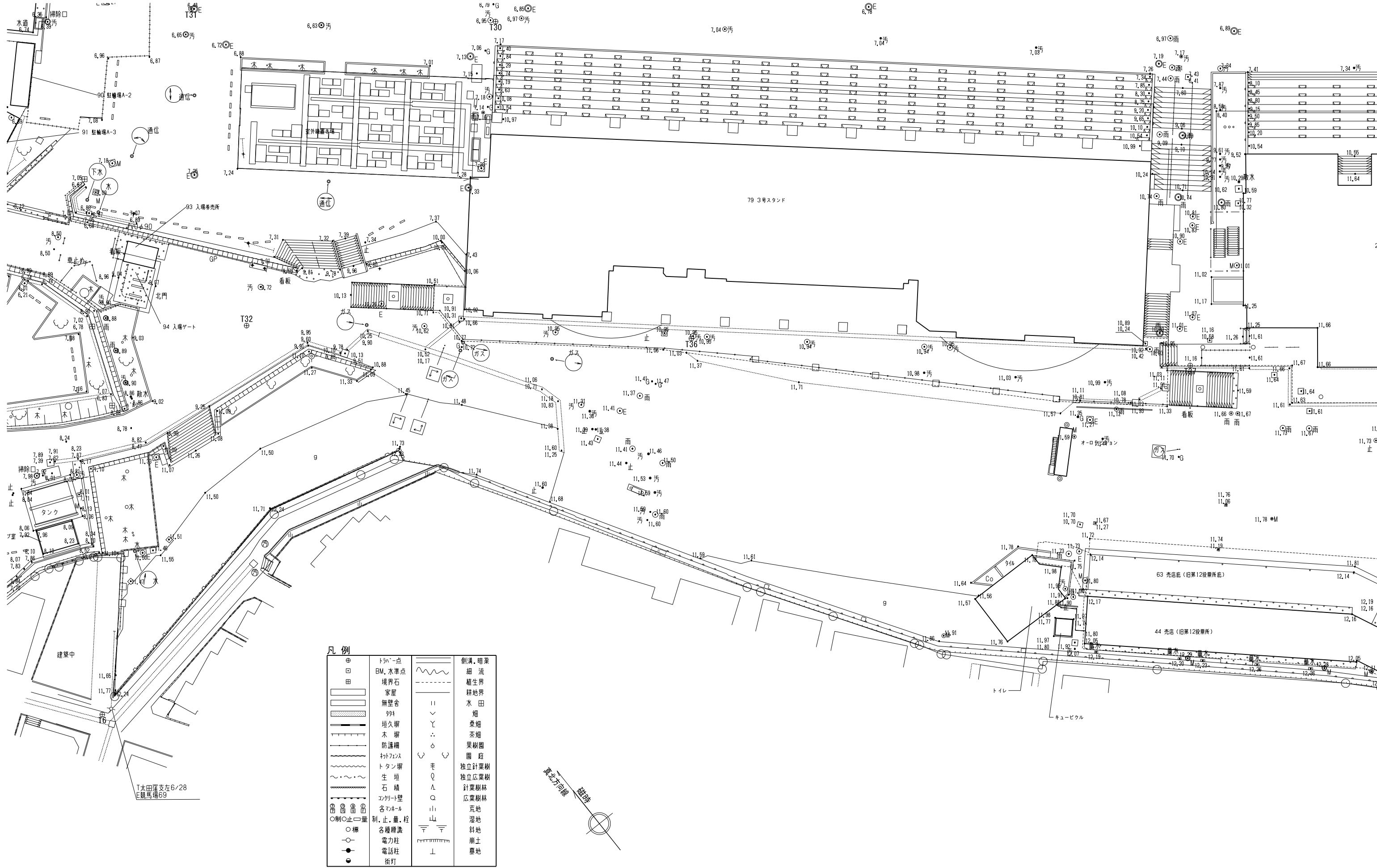
特記 (Special Notes) section containing project details and contact information for the design team.

Project details including design and construction team names, addresses, and contact information.

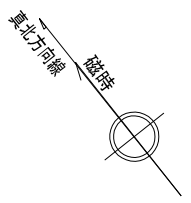
浦和競馬場設備棟建築工事 (建築図) (Puravama Racecourse Facility Building Construction (Architectural Drawing))

Technical drawing information including drawing name (特記仕様書(10)), scale (no-scale), and drawing number (A-1012).





凡例		
⊕	トランシット	創溝、暗渠
⊖	BM、水準点	細流
田	境界石	植生界
□	家屋	耕地界
□	無壁舎	水田
□	塙	畑
□	垣久堀	桑畑
□	木堀	茶畑
□	防護欄	果樹園
□	初トランス	園庭
□	トタン堀	独立針葉樹
□	生垣	独立広葉樹
□	石積	針葉樹林
□	コナト壁	広葉樹林
□	各レベル	荒地
○	制止量柱	湿地
○	各種標識	斜地
○	電力柱	崩土
○	電話柱	墓地
○	街灯	



特記	
----	--

埼玉根 浦和競馬組合	課長	副参事	主幹	主査	担当
	飛塚	石井	阿相	矢島	阿相

設計	1級建築士登録第 322398号 平塚 智
設計	1級建築士登録第 355122号 関藤 啓佑
設計	1級建築士登録第 213138号 阪坂 寛

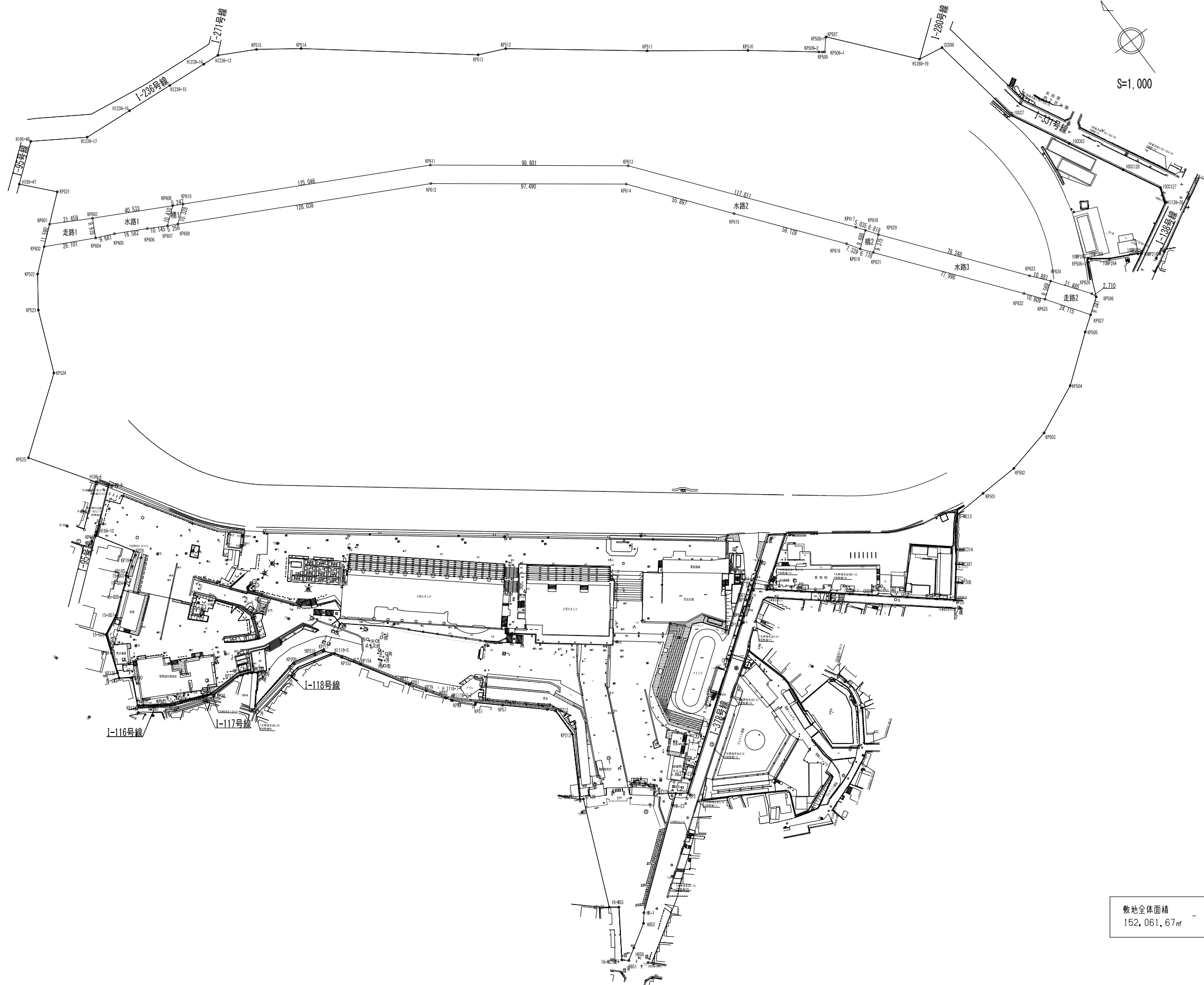
浦和競馬場設備棟建築工事 (建築図)
-----------------------

図面名称 敷地現況図
縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400

図面番号 A-1021
区分 建築図







地番 走路1					公簿地積		㎡
公簿地目					現況地目		
所有者							
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離			
KP501	-15663.737	-14844.063	-41726.883275	11.533			
KP502	-15677.112	-14852.595	-281642.101170	26.101			
KP503	-15689.103	-14626.811	47084.648265	9.378			
KP504	-15680.287	-14625.136	-281103.583716	21.659			
				面積	454.290044		
				面積	247.149220		
				面積	247.14	㎡	

地番 走路2					公簿地積		㎡
公簿地目					現況地目		
所有者							
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離			
KP505	-15686.892	-14469.584	381756.156178	24.113			
KP507	-15918.812	-14465.392	293303.398168	9.341			
KP506	-15913.371	-14448.399	-116166.121960	2.710			
KP508	-15910.772	-14449.167	-28899.789167	21.485			
KP504	-15680.287	-14461.799	-111654.615720	9.569			
				面積	474.731449		
				面積	237.365745		
				面積	237.36	㎡	

地番 橋1					公簿地積		㎡
公簿地目					現況地目		
所有者							
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離			
KP508	-15699.375	-14789.378	59686.403962	10.410			
KP507	-15605.869	-14787.515	131520.313320	5.256			
KP509	-15608.263	-14782.826	-58600.322215	10.328			
KP510	-15601.840	-14782.746	-131406.622448	5.247			
				面積	99.526219		
				面積	49.7813095		
				面積	49.78	㎡	

地番 橋2					公簿地積		㎡
公簿地目					現況地目		
所有者							
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離			
KP519	-15823.324	-14528.119	183224.416965	6.778			
KP521	-15828.681	-14523.985	-4400.781396	5.375			
KP520	-15823.021	-14515.491	-163092.783965	6.818			
KP518	-15817.446	-14520.471	4926.686351	9.688			
				面積	129.556536		
				面積	64.7827680		
				面積	64.78	㎡	

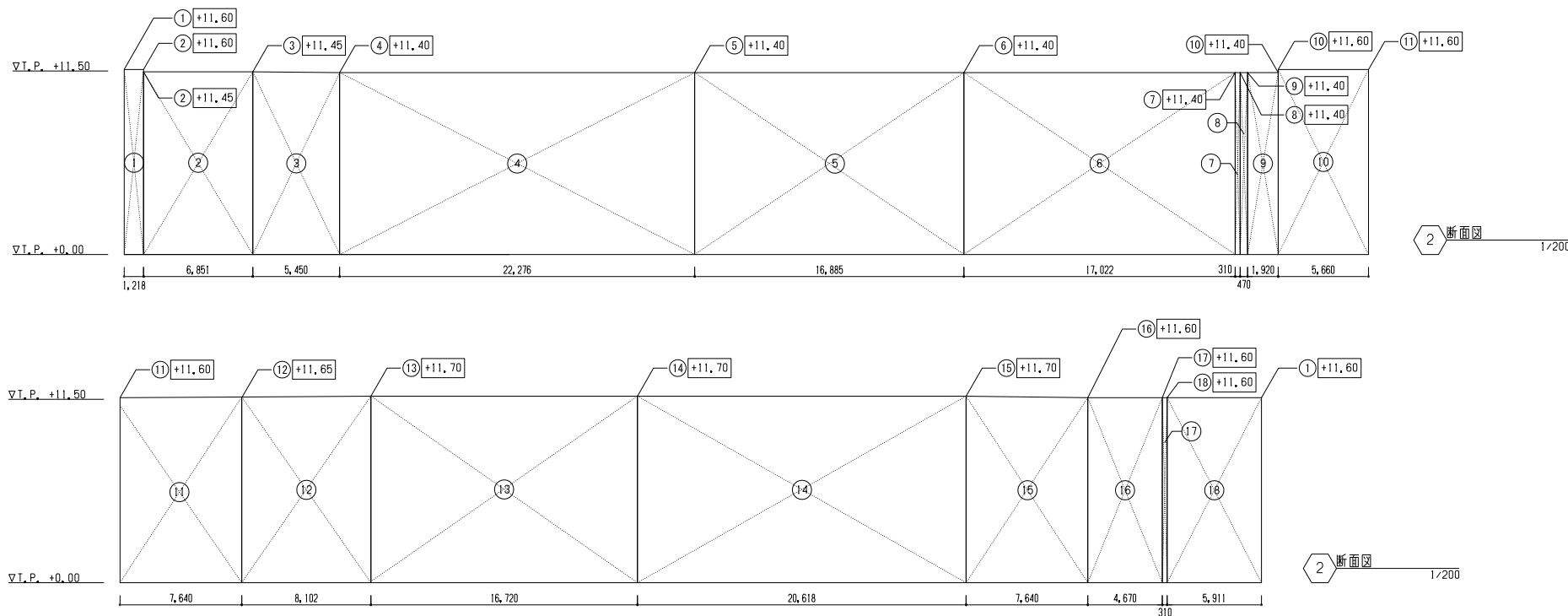
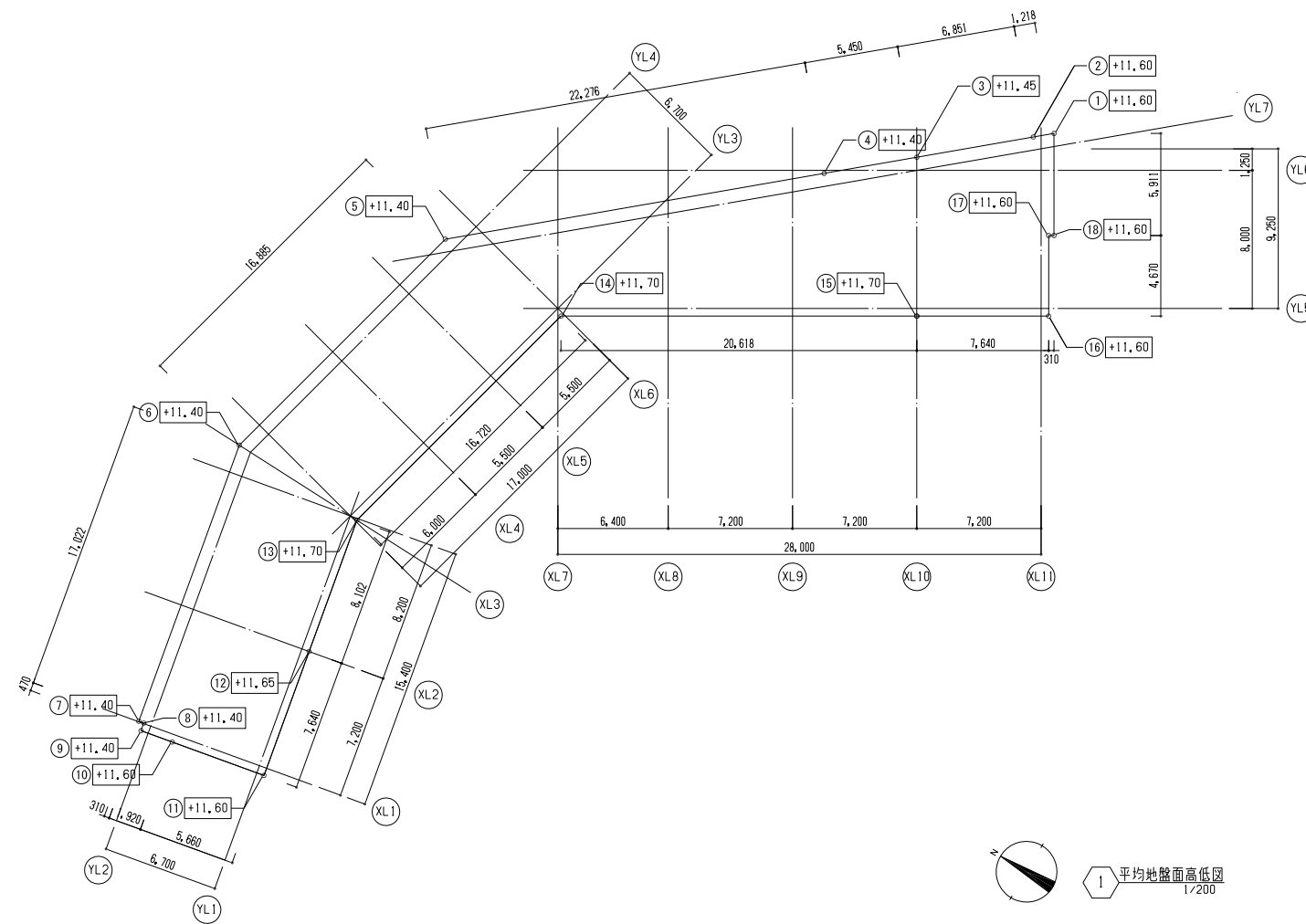
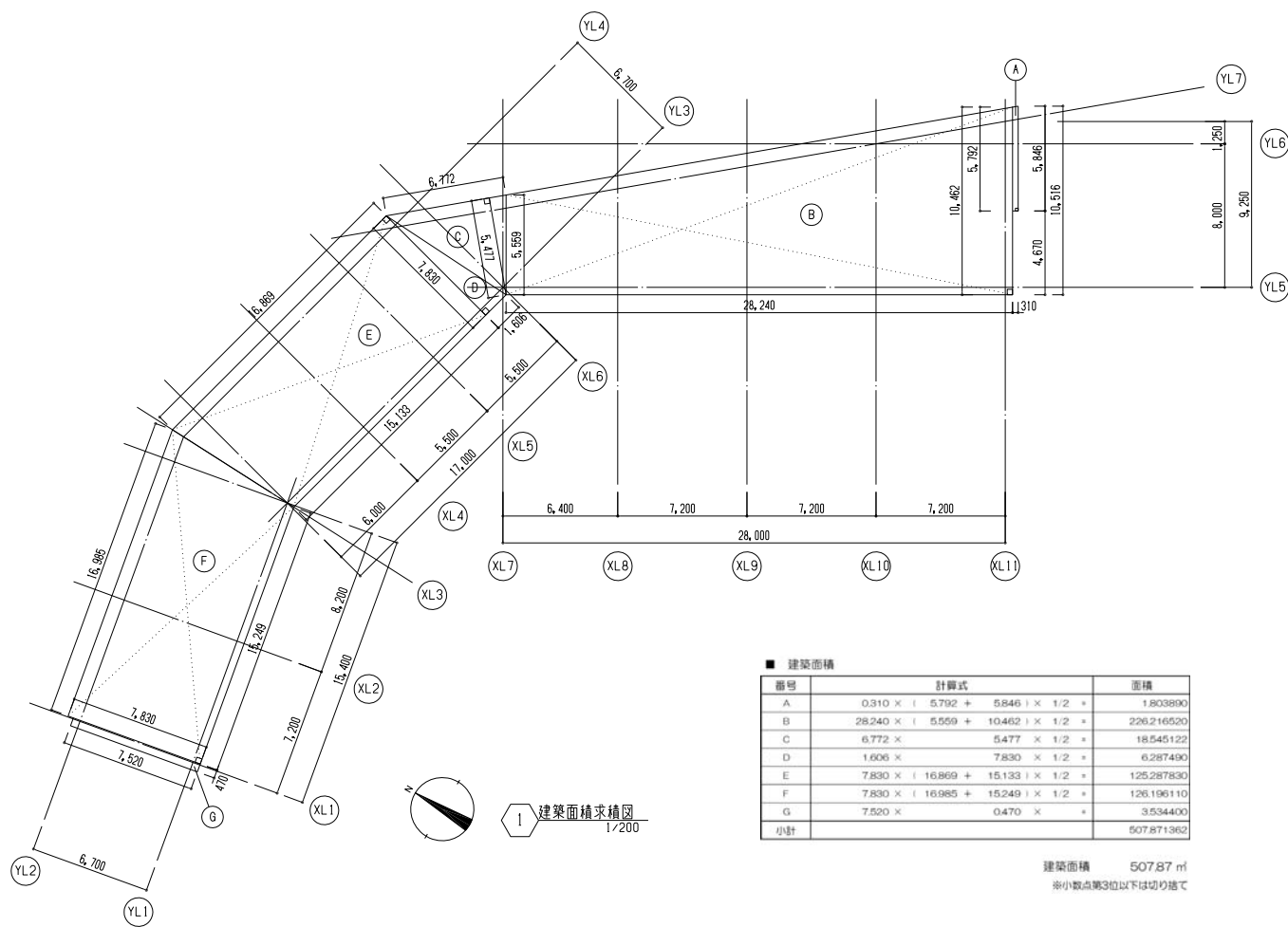
地番 水路1					公簿地積		㎡
公簿地目					現況地目		
所有者							
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離			
KP503	-15680.287	-14625.136	-152283.796392	9.978			
KP504	-15689.103	-14626.811	189732.619344	5.681			
KP505	-15693.081	-14620.984	174626.954472	16.952			
KP506	-15690.986	-14618.353	189434.642164	10.145			
KP507	-15695.869	-14787.515	-22359.046195	10.410			
KP508	-15699.375	-14789.378	-378341.861996	40.533			
				面積	727.188417		
				面積	363.5942095		
				面積	363.59	㎡	

地番 水路2					公簿地積		㎡
公簿地目					現況地目		
所有者							
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離			
KP510	-15601.840	-14784.746	-714247.519528	10.328			
KP509	-15605.869	-14782.826	981407.052445	126.038			
KP512	-15668.183	-14678.683	1744078.451547	97.490			
KP514	-15727.072	-14601.988	1505800.898524	55.897			
KP515	-15717.306	-14567.813	1311613.042465	58.728			
KP516	-15811.117	-14532.019	769923.562432	7.339			
KP519	-15823.324	-14528.119	4926.686351	9.688			
KP518	-15817.446	-14520.471	-146131.561915	5.039			
KP517	-15813.329	-14523.317	-140996.239446	117.811			
KP513	-15720.361	-14565.880	-222931.144640	98.301			
KP511	-15660.831	-14674.382	-1739222.429022	125.046			
				面積	6416.007664		
				面積	3208.0037820		
				面積	3208.00	㎡	

地番 水路3					公簿地積		㎡
公簿地目					現況地目		
所有者							
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離			
KP520	-15823.021	-14516.491	-816176.189984	5.375			
KP521	-15828.681	-14523.985	977473.276395	77.998			
KP522	-15890.318	-14478.137	1015386.161727	10.309			
KP525	-15886.852	-14469.584	44151.170368	9.569			
KP524	-15883.370	-14461.769	-202276.763003	10.881			
KP523	-15884.905	-14466.607	-1017852.038443	76.246			
				面積	1663.617500		
				面積	831.3086900		
				面積	831.30	㎡	

敷地全体面積 水路1 水路2 水路3 = 敷地面積  
 152,061.67㎡ 363.59㎡ 3,208.00㎡ 831.30㎡ = 147,658.78㎡

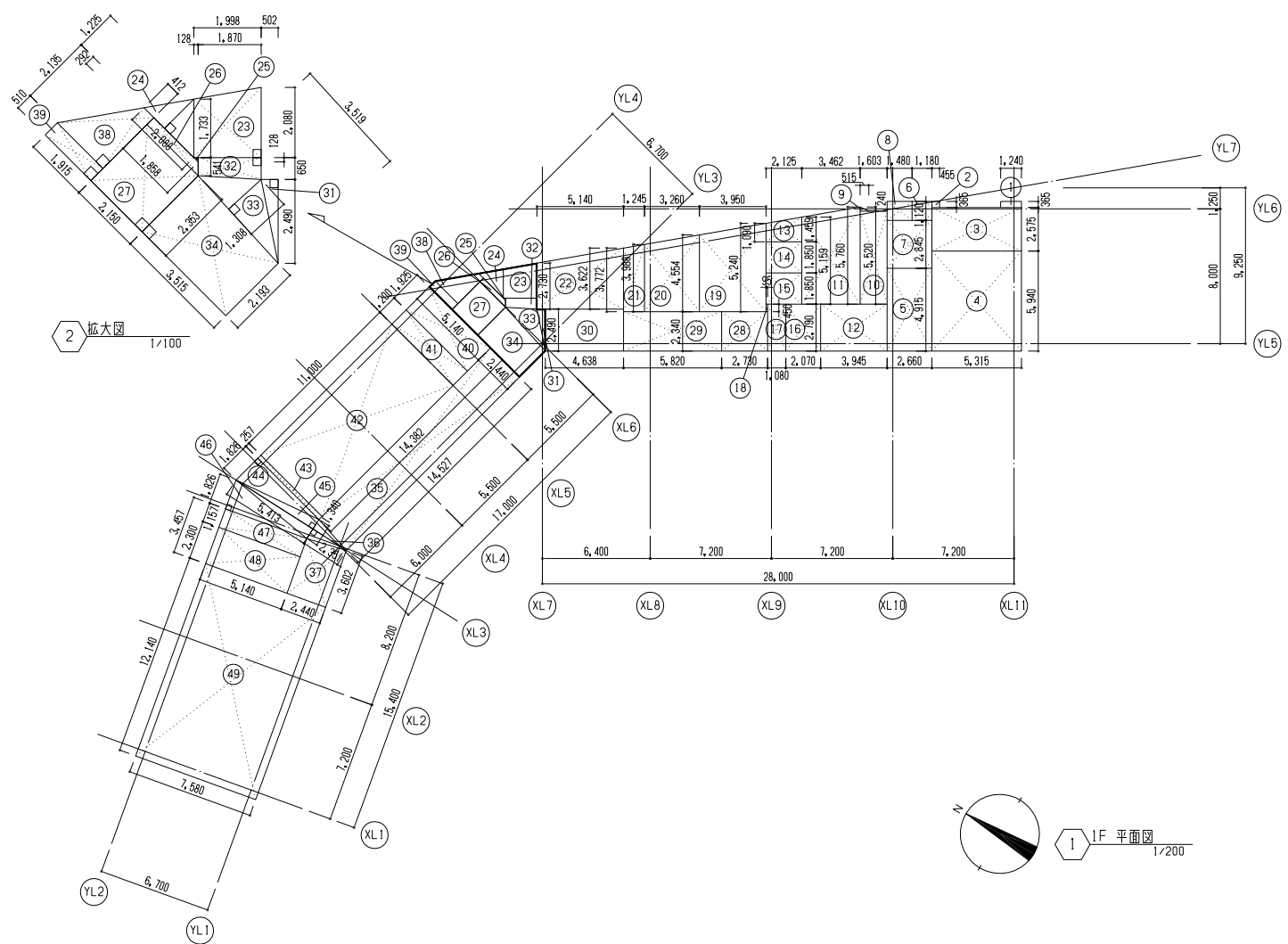
工事箇所 さいたま市南区大谷場一丁目地内  
 図面名 走路・橋・水路求積図  
 縮尺 1:1/1000  
 埼玉県浦和競馬組合



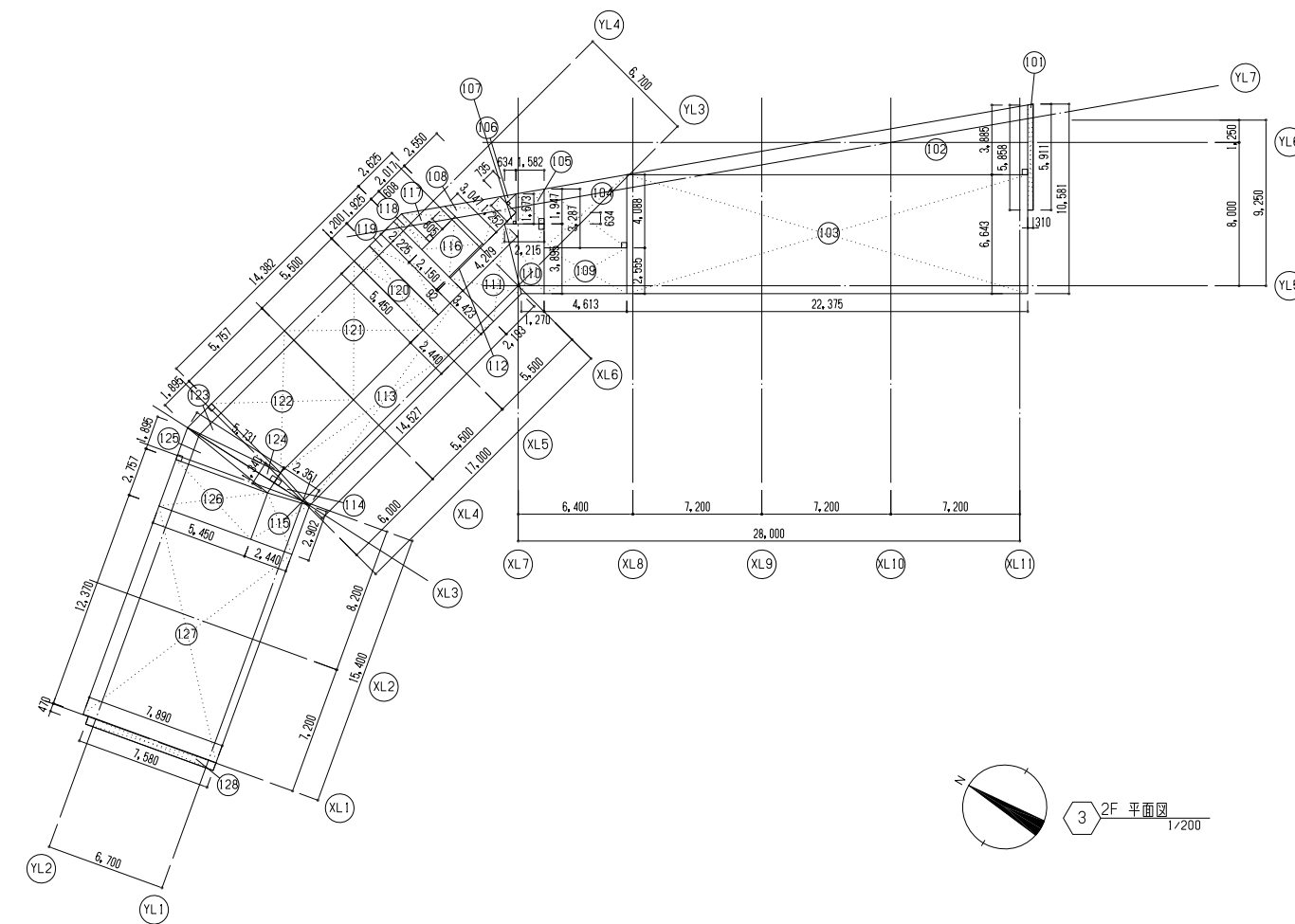
番号	長さ	計算式	面積
1	1.218	$1.218 \times 11.600 \times$	14.128800
2	6.851	$6.851 \times 11.450 \times$	78.443950
3	5.450	$5.450 \times (11.450 + 11.400) \times 1/2 +$	62.266250
4	22.276	$22.276 \times 11.400 \times$	253.946400
5	16.885	$16.885 \times 11.400 \times$	192.489000
6	17.022	$17.022 \times 11.400 \times$	194.050800
7	0.310	$0.310 \times 11.400 \times$	3.534000
8	0.470	$0.470 \times 11.400 \times$	5.358000
9	1.920	$1.920 \times 11.400 \times$	21.888000
10	5.660	$5.660 \times 11.600 \times$	65.656000
11	7.640	$7.640 \times (11.600 + 11.650) \times 1/2 +$	88.815000
12	8.102	$8.102 \times (11.650 + 11.700) \times 1/2 +$	94.590850
13	16.720	$16.720 \times 11.700 \times$	195.624000
14	20.618	$20.618 \times 11.700 \times$	241.230600
15	7.640	$7.640 \times (11.700 + 11.600) \times 1/2 +$	89.006000
16	4.670	$4.670 \times 11.600 \times$	54.172000
17	0.310	$0.310 \times 11.600 \times$	3.596000
18	5.911	$5.911 \times 11.600 \times$	68.567600
小計			1727.363250

接地面積: 1,727.363 m<sup>2</sup>  
 接地面積: 149.673 m  
 平均地盤面: 1,727.363 / 149.673 = 11.541 m

平均地盤面 (計画建物) TP + 11.54 m  
 ※小数点第3位以下は四捨五入



1 1F 平面図 1/200



3 2F 平面図 1/200

■ 1F 床面積

番号	室名	計算式	面積	室面積小計
1		1.240 × 0.365 × =	0.452600	
2		0.455 × 0.365 × =	0.166075	
3	乗来物置場	5.315 × 2.575 × =	13.686125	
4		5.315 × 5.940 × =	31.571100	
5		2.660 × 4.915 × =	13.073900	58.949800
6		2.660 × 2.845 × =	7.567700	
7	清掃用昇降	1.180 × 1.120 × =	1.321600	8.889300
8	CH	1.480 × 1.120 × =	1.657600	
9		0.515 × 0.240 × 1/2 =	0.061800	
10		1.603 × 5.520 × =	8.848560	
11	清掃員控室	3.462 × ( 5.760 + 5.159 ) × 1/2 =	18.900789	
12		3.945 × 2.790 × =	11.006550	38.817699
13	EPS	2.125 × ( 1.090 + 1.459 ) × 1/2 =	2.708313	
14	更衣室	2.125 × 1.850 × =	3.931250	
15	更衣室	2.125 × 1.850 × =	3.931250	
16	給湯室2	2.070 × 2.790 × =	5.775300	
17		1.080 × 2.790 × =	3.013200	
18	便所	0.950 × 0.450 × =	0.427500	3.440700
19	男子便所	3.950 × ( 4.554 + 5.240 ) × 1/2 =	19.343150	
20	女子便所	3.260 × ( 3.988 + 4.554 ) × 1/2 =	13.923460	
21	倉庫4	1.245 × ( 3.772 + 3.988 ) × 1/2 =	4.830600	
22	階段	5.140 × ( 2.730 + 3.622 ) × 1/2 =	16.324640	
23	ピロチ	1.998 × ( 1.733 + 2.080 ) × 1/2 =	3.809187	
24		2.088 × 1.225 × 1/2 =	1.278900	5.088087
25		0.128 × 0.128 × 1/2 =	0.008192	
26	EV	0.292 × ( 2.150 + 1.858 ) × 1/2 =	0.585168	(-) 面積不算入
27		2.150 × 2.353 × =	5.058950	5.652310
28	給湯室1	2.730 × 2.340 × =	6.388200	

29		5.820 × 2.340 × =	13.618800	
30		4.638 × 2.490 × =	11.548620	
31		2.490 × 0.502 × 1/2 =	0.624990	
32		1.870 × ( 0.541 + 0.650 ) × 1/2 =	1.113585	
33		3.519 × 1.308 × 1/2 =	2.301426	
34		3.515 × ( 2.353 + 2.193 ) × 1/2 =	7.989595	
35		2.440 × ( 14.382 + 14.527 ) × 1/2 =	35.268980	
36		1.340 × 2.351 × 1/2 =	1.575170	
37		2.440 × ( 3.457 + 3.602 ) × 1/2 =	8.611980	82.653140
38		2.135 × ( 0.412 + 1.915 ) × 1/2 =	2.484073	
39	EPS (強電)	0.510 × 1.915 × =	0.976650	
40		1.925 × 5.140 × =	9.894500	13.355223
41	EPS (弱電)	1.200 × 5.140 × =	6.168000	
42	倉庫3	11.000 × 5.140 × =	56.540000	
43		0.257 × 5.140 × =	1.320980	
44		1.826 × 5.140 × 1/2 =	4.692820	
45	消火ガスボンベ庫	1.340 × 5.413 × 1/2 =	3.626710	
46		1.826 × 5.140 × 1/2 =	4.692820	
47		1.157 × 5.140 × =	5.946980	20.280310
48	倉庫2	2.300 × 5.140 × =	11.822000	
49	倉庫1	7.580 × 12.140 × =	92.021200	
小計		(P) 482.491537 - 5.652310 =	476.839227	

(P) - (-) 482.491537 - 5.652310 = 476.839227  
 容積対象床面積 476.83 m<sup>2</sup>  
 ※小数点第3位以下は切り捨て

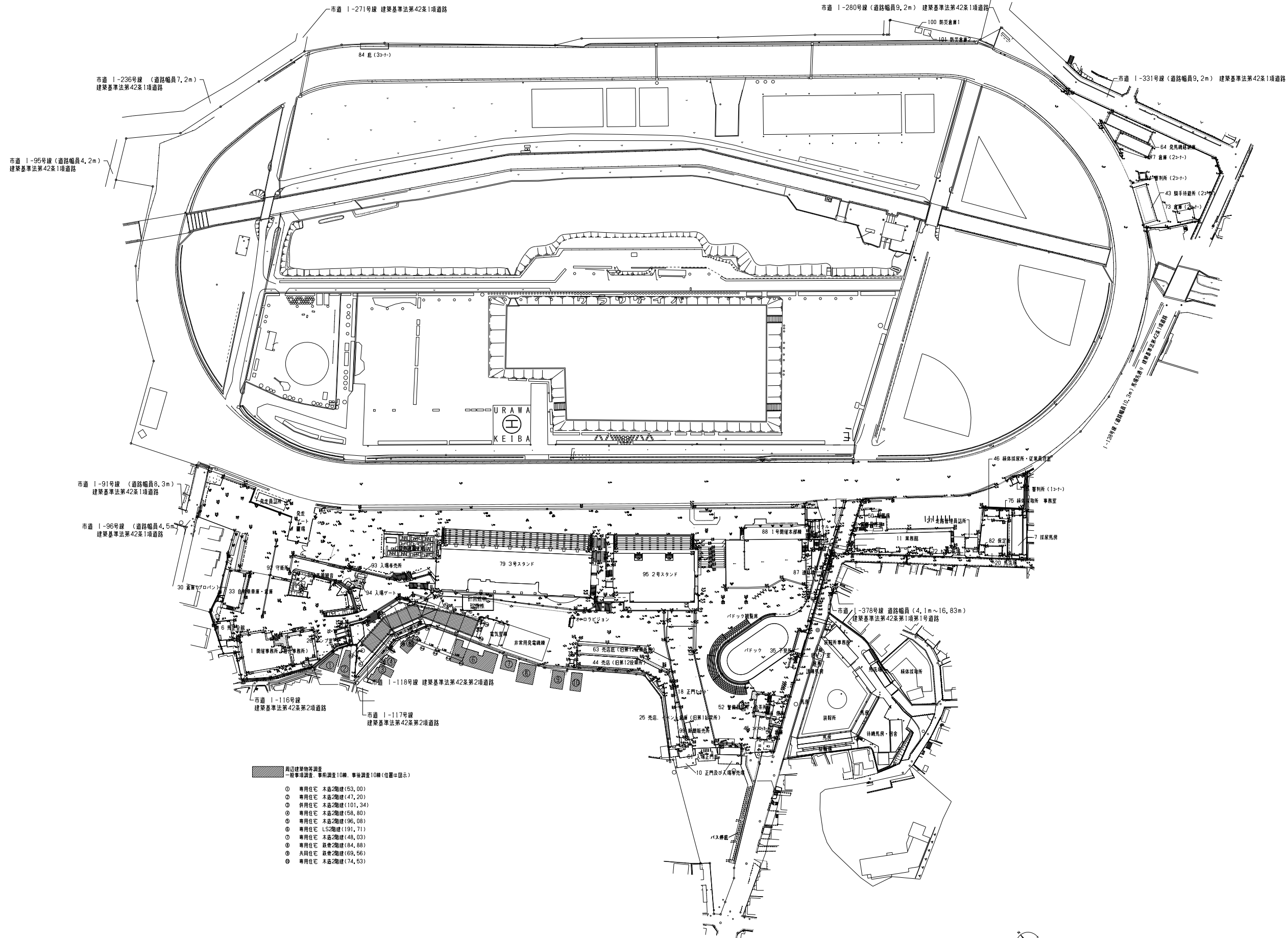
■ 2F 床面積

番号	室名	計算式	面積	室面積小計
101		0.310 × ( 5.858 + 5.911 ) × 1/2 =	1.824195	
102	電気室	22.375 × 3.885 × 1/2 =	43.463438	
103		22.375 × 6.643 × =	148.637125	193.924758
104	階段	4.613 × ( 3.287 + 4.088 ) × 1/2 =	17.010438	
105		1.582 × ( 1.673 + 1.947 ) × 1/2 =	2.863420	
106	PS	1.252 × 0.735 × 1/2 =	0.460110	
107		0.634 × 0.634 × 1/2 =	0.200978	0.661088
108	倉庫7	2.550 × ( 1.252 + 3.047 ) × 1/2 =	5.481225	
109		4.613 × 2.555 × =	11.786215	
110		3.895 × ( 2.215 + 1.270 ) × 1/2 =	6.787038	
111		3.423 × ( 4.279 + 2.193 ) × 1/2 =	11.076828	
112		0.092 × 2.625 × =	0.241500	
113		2.440 × ( 14.382 + 14.527 ) × 1/2 =	35.268980	
114		1.340 × 2.351 × 1/2 =	1.575170	
115		2.440 × ( 2.757 + 2.902 ) × 1/2 =	6.903980	73.639711
116	EV	2.625 × 2.150 × =	5.643750	(-) 面積不算入
117		2.017 × ( 0.805 + 2.220 ) × 1/2 =	3.050713	
118	EPS (強電)	2.225 × 0.608 × =	1.352800	
119		5.450 × 1.925 × =	10.491250	14.894763
120	EPS (弱電)	5.450 × 1.200 × =	6.540000	
121	保守員・MDF室	5.450 × 5.500 × =	29.975000	
122		5.450 × 5.757 × =	31.375650	
123		5.450 × 1.895 × 1/2 =	5.163875	
124	倉庫6	1.340 × 5.731 × 1/2 =	3.839770	
125		5.450 × 1.895 × 1/2 =	5.163875	
126		5.450 × 2.757 × =	15.025650	60.568820
127		7.890 × 12.370 × =	97.599300	
128	倉庫5	7.580 × 0.470 × =	3.562600	101.161900
小計		(P) 512.364871 - 5.643750 =	506.721121	

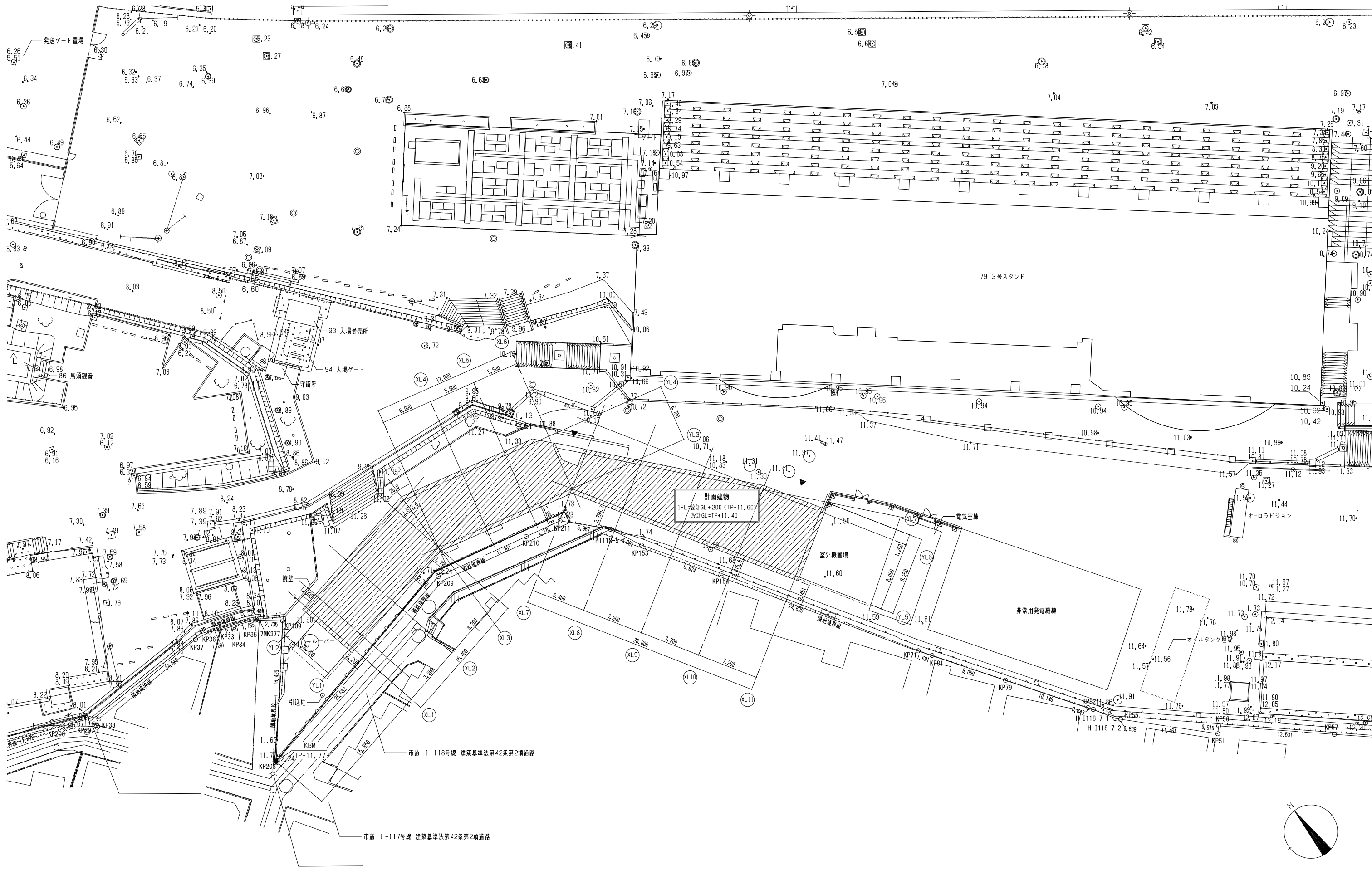
(P) - (-) 512.364871 - 5.643750 = 506.721121  
 容積対象床面積 506.72 m<sup>2</sup>  
 ※小数点第3位以下は切り捨て

1F+2F 容積対象床面積 983.55 m<sup>2</sup>  
 ※小数点第3位以下は切り捨て





- 周辺建築物等調査  
 一般事項調査：事前調査10棟、事後調査10棟(位置は図示)
- ① 専用住宅 木造2階建 (53, 00)
  - ② 専用住宅 木造2階建 (47, 20)
  - ③ 専用住宅 木造2階建 (101, 34)
  - ④ 専用住宅 木造2階建 (58, 80)
  - ⑤ 専用住宅 木造2階建 (96, 08)
  - ⑥ 専用住宅 L52階建 (191, 71)
  - ⑦ 専用住宅 木造2階建 (48, 03)
  - ⑧ 専用住宅 鉄骨2階建 (84, 88)
  - ⑨ 共同住宅 鉄骨2階建 (69, 56)
  - ⑩ 専用住宅 木造2階建 (74, 53)



特記

埼玉根  
浦和競馬組合  
課長 副参事 主幹 主査 担当  
飛塚 石井 阿相 矢島 阿相

設計 1 級建築士登録第 322398 号 平塚 智  
設計 1 級建築士登録第 355122 号 齋藤 啓佑  
設計 1 級建築士登録第 213138 号 阪坂 寛

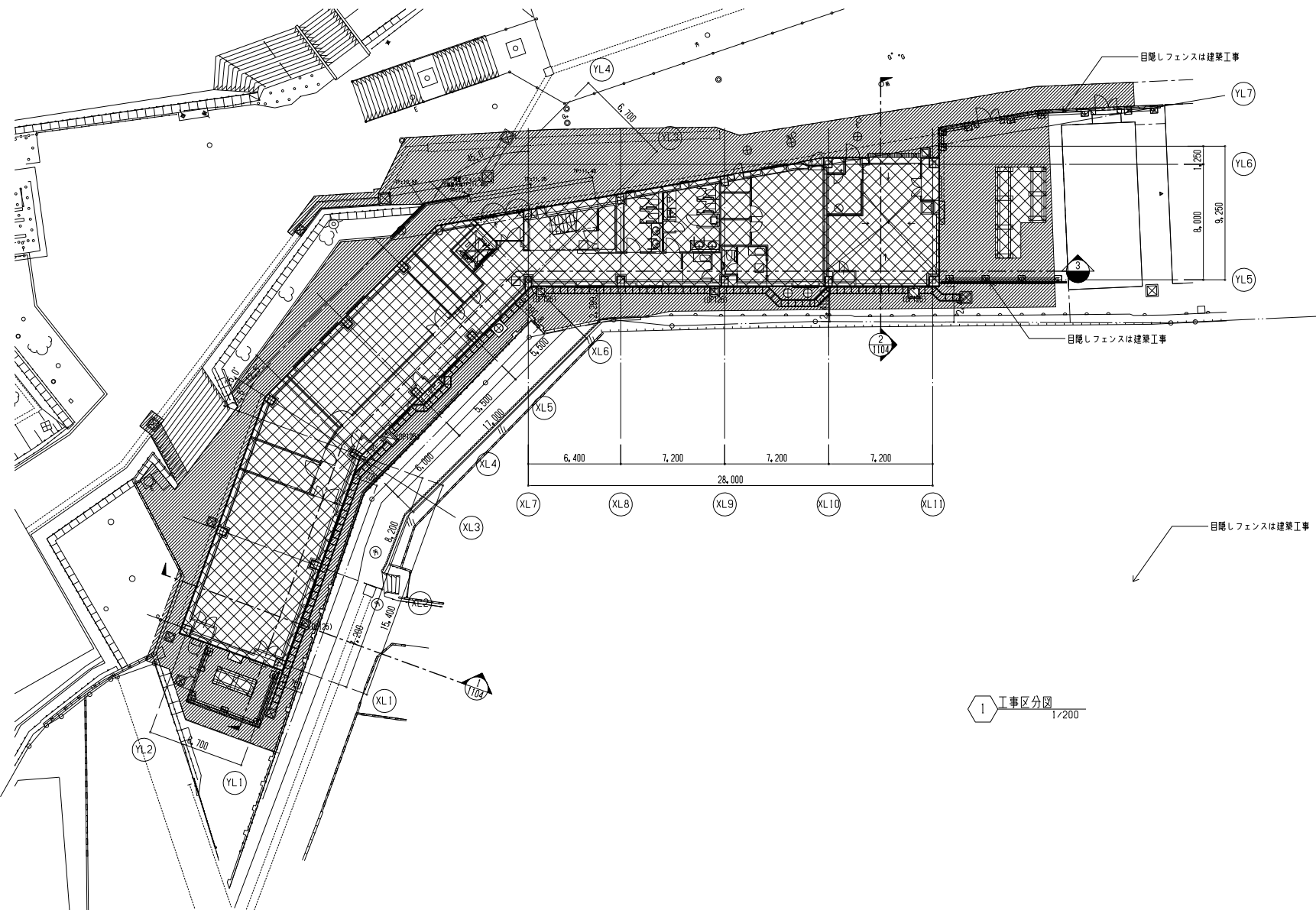
浦和競馬場設備棟建築工事  
(建築図)

図面名称  
縮尺

配置図

A1: 1/200 A3: 1/400

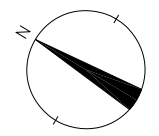
HA1\_SET.dwg  
図面番号 A-1102  
区分 建築図



「建築工事」と「外構工事」の「工事区分」 凡例

: 外構工事  
 \*舗装、外構雨水排水側溝、雨水集水軒、擁壁、一部フェンス、階段等を含む

: 建築工事  
 \*第一軒、出入口グレーチング、一部フェンスを含む



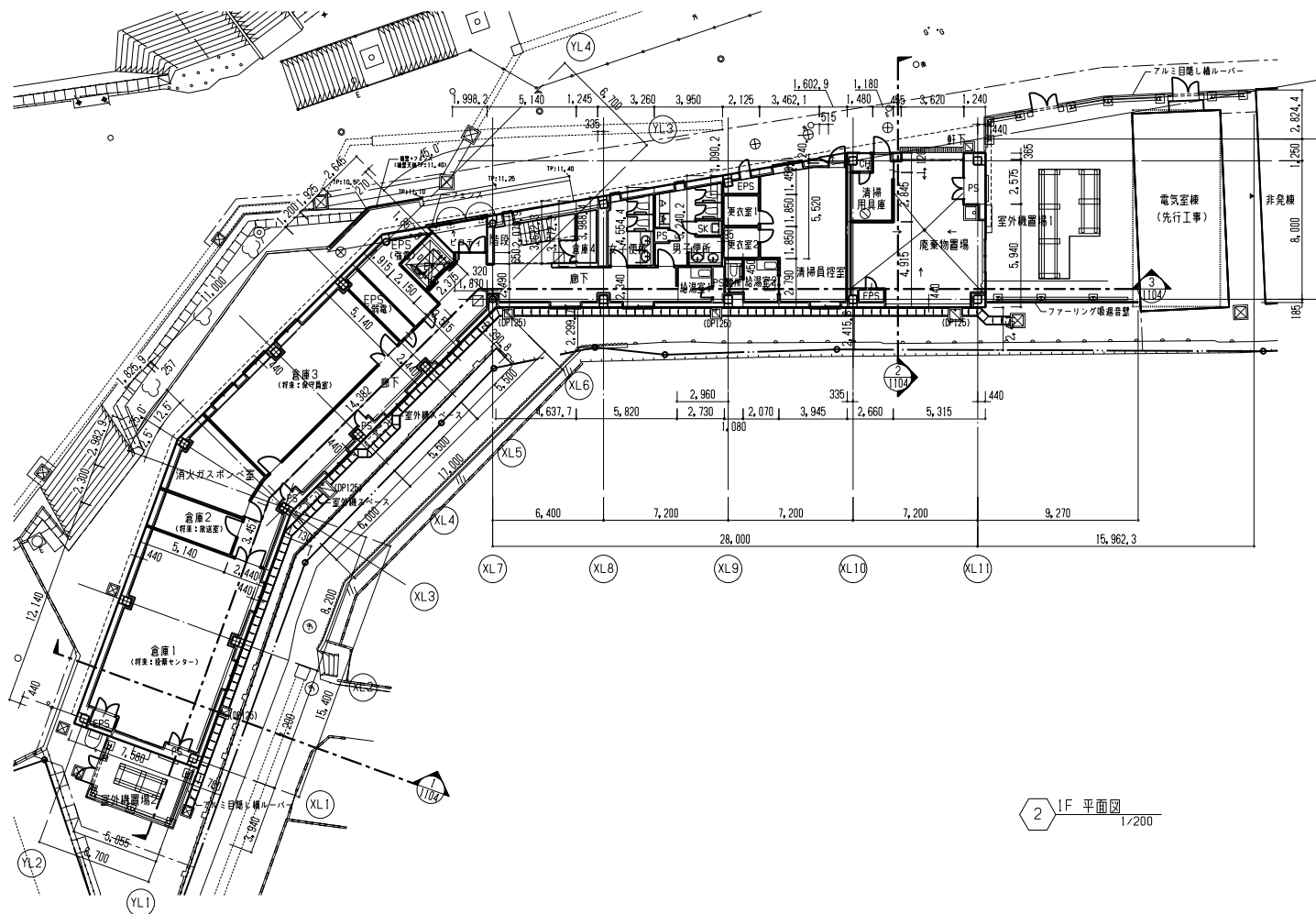
特記	埼玉県 浦和競馬組合	課長	副参事	主幹	主査	担当
		飛塚	石井	阿相	矢島	阿相

設計	1級建築士登録第 322398号 平塚 智
設計	1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑
設計	1級建築士登録第 213138号 阪坂 寛

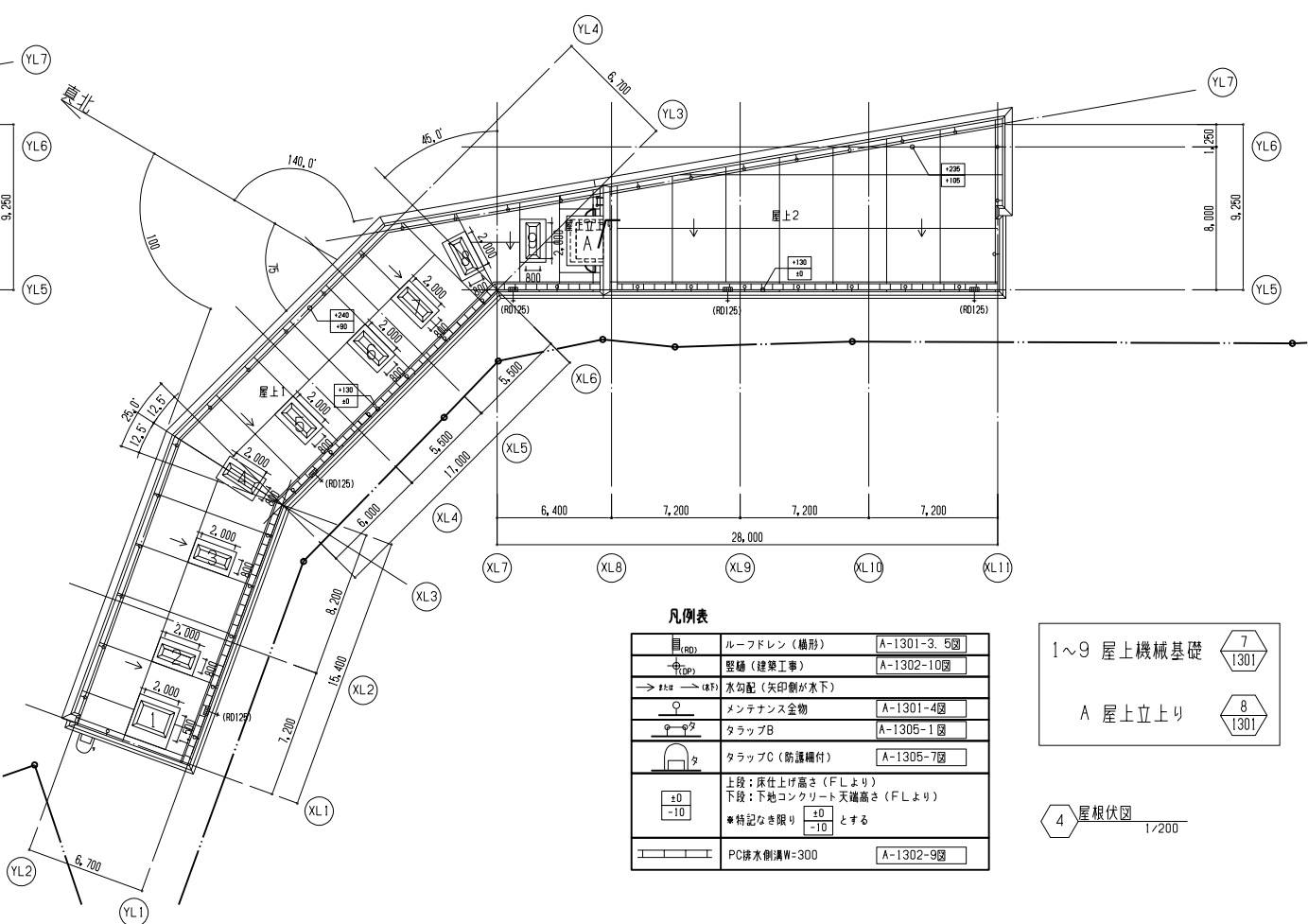
浦和競馬場設備棟建築工事  
(建築図)

図面名称	工事区分図
縮尺	A1: 1/200 A3: 1/400

図面番号	KOU_SETUB1.dwg A-1103
区分	建築図



2 1F 平面図 1/200



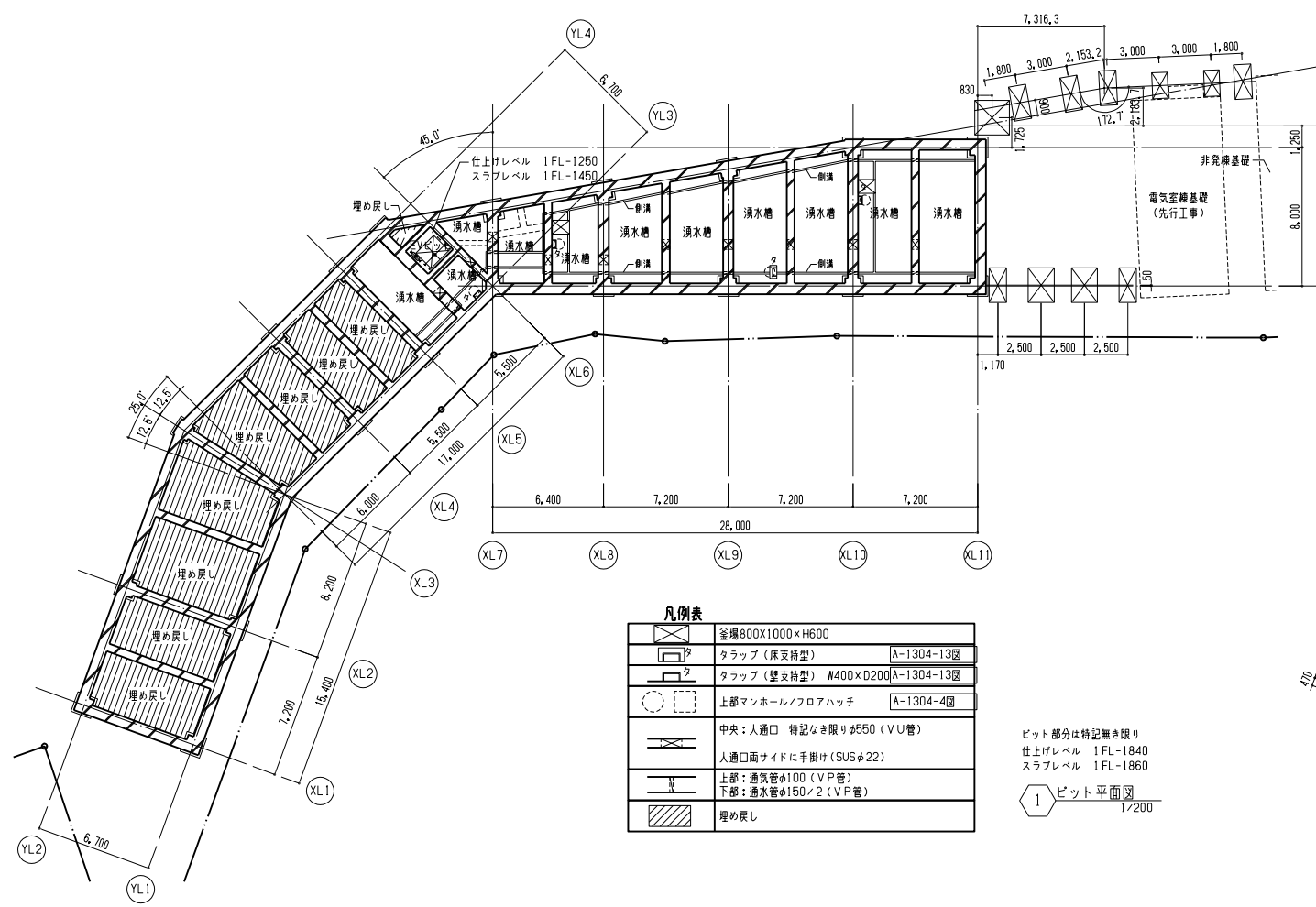
4 屋根伏図 1/200

**凡例表**

	ルーフドレン (横形)	A-1301-3, 5図
	屋根 (建築工事)	A-1302-10図
	水勾配 (矢印側が水下)	
	メンテナンス金物	A-1301-4図
	トラップB	A-1305-1図
	トラップC (防護欄付)	A-1305-7図
	上段: 床仕上げ高さ (FLより) 下段: 下地コンクリート天端高さ (FLより) *特記なき限り ±0 とする	
	PC排水側溝W=300	A-1302-9図

1~9 屋上機械基礎 

A 屋上立上り

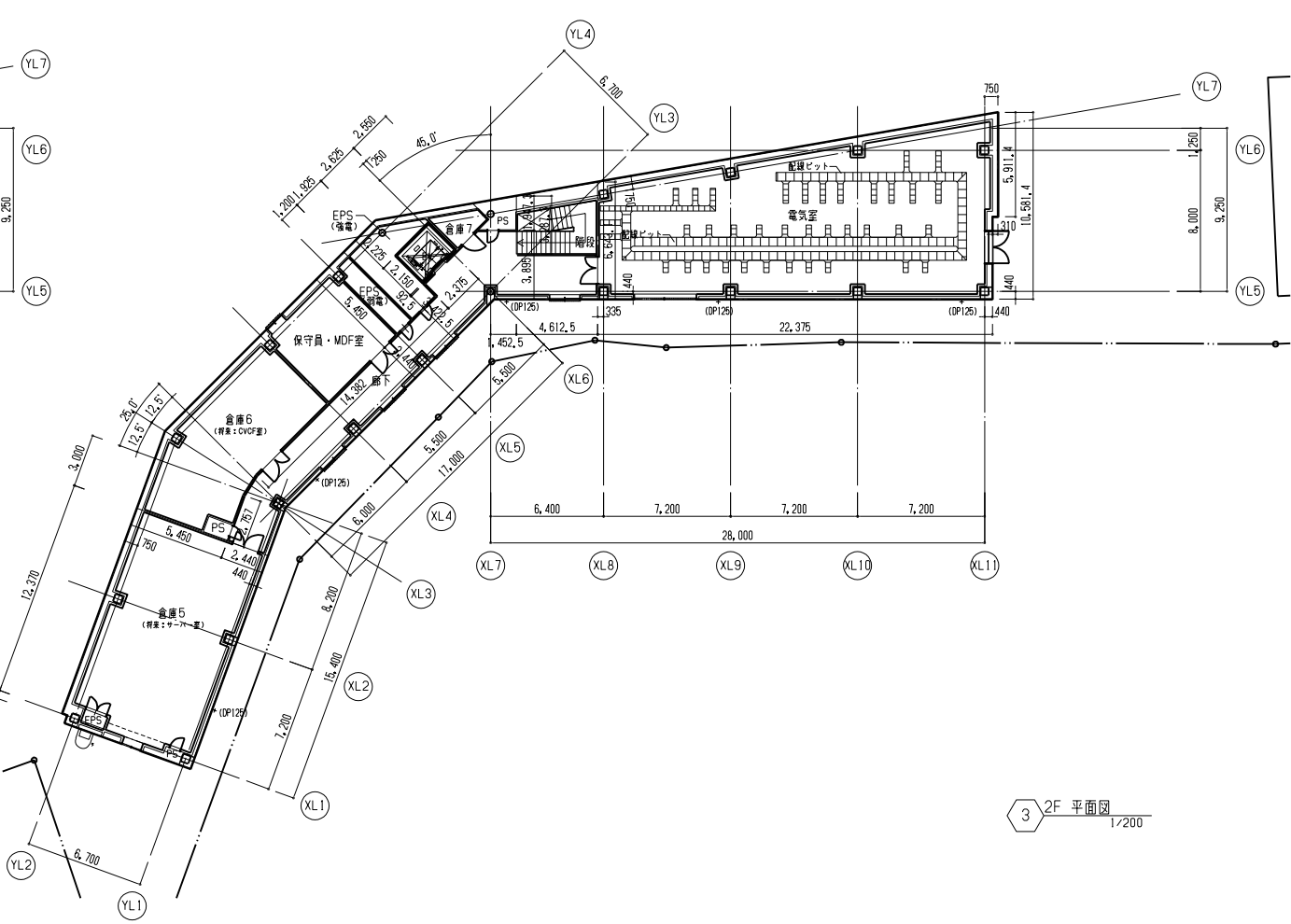


1 ビット平面図 1/200

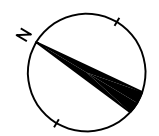
**凡例表**

	設備800X1000XH600	
	トラップ (床支持型)	A-1304-13図
	トラップ (壁支持型) W400X220(A-1304-13図)	
	上部マンホール/フロアハッチ	A-1304-4図
	中央: 人通り口 特記なき限りφ550 (VU管)	
	人通り口サイドに手掛付 (SUSφ22)	
	上部: 通気管φ100 (VP管)	
	下部: 通水管φ150/2 (VP管)	
	埋め戻し	

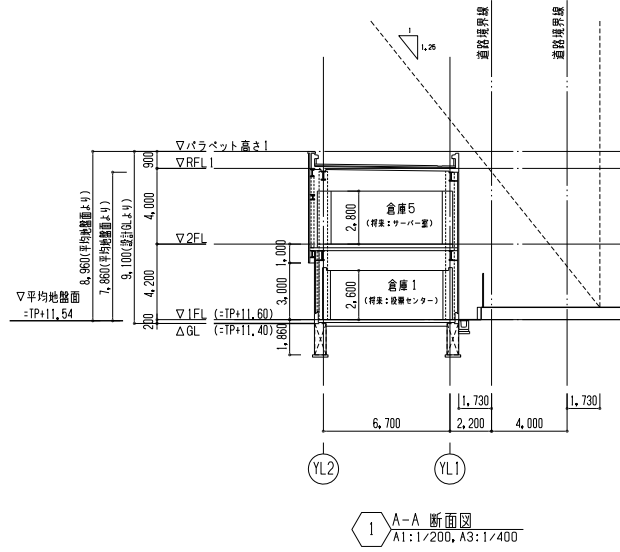
ビット部分は特記なき限り  
仕上げレベル 1FL-1840  
スラブレベル 1FL-1860



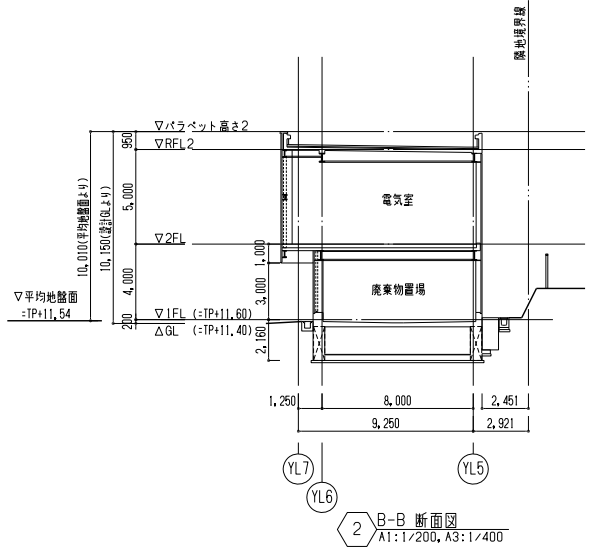
3 2F 平面図 1/200



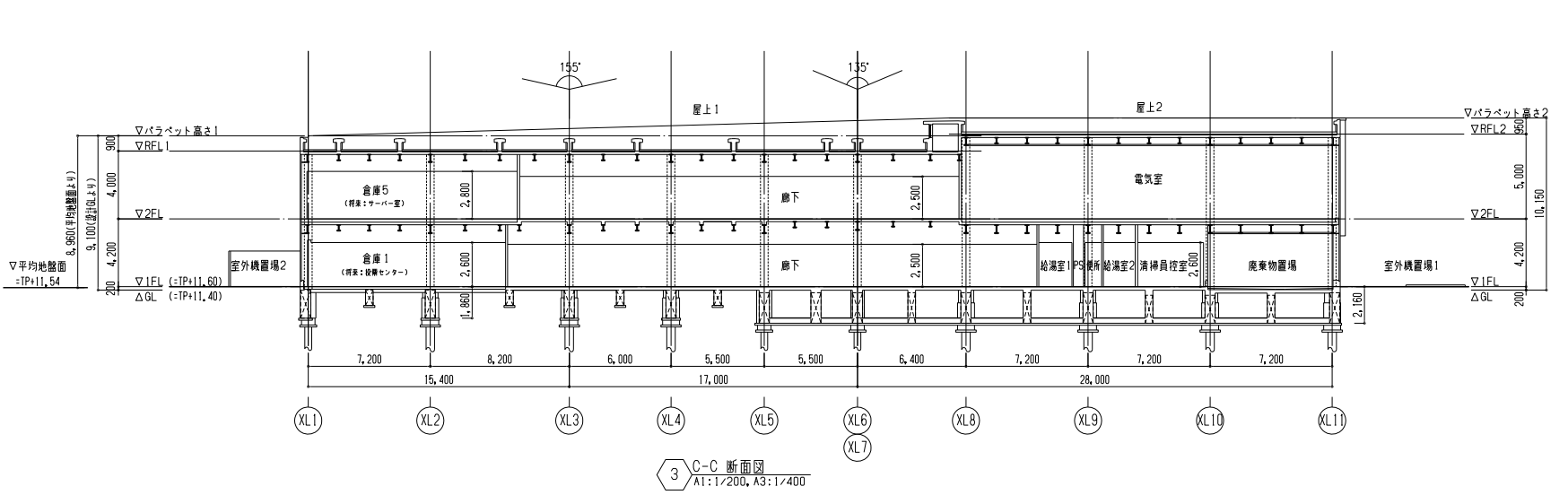




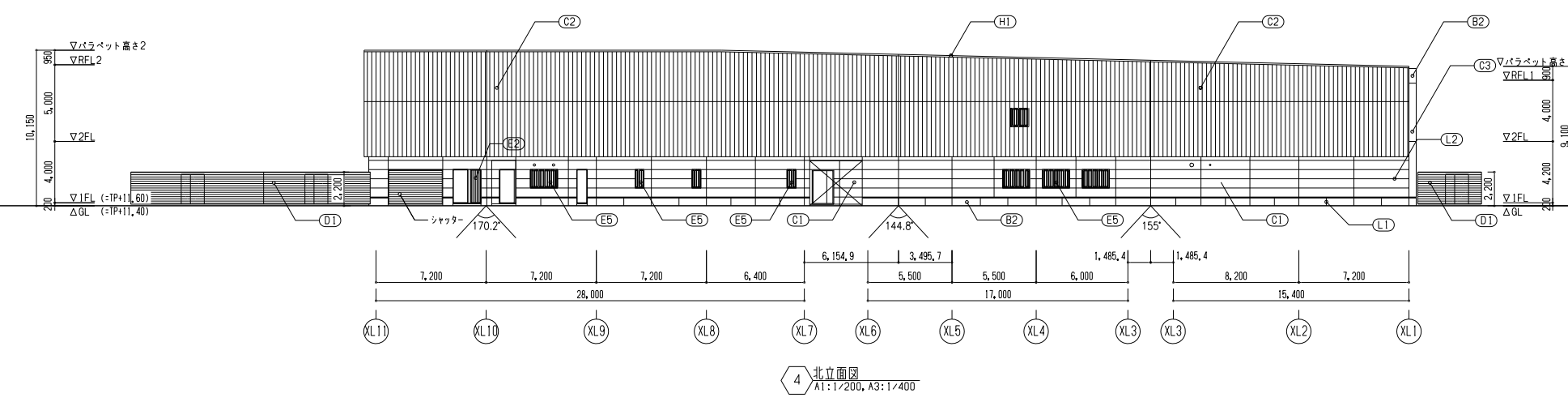
1 A-A 断面図  
A1:1/200, A3:1/400



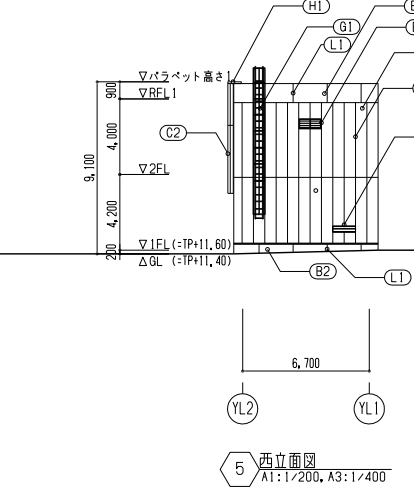
2 B-B 断面図  
A1:1/200, A3:1/400



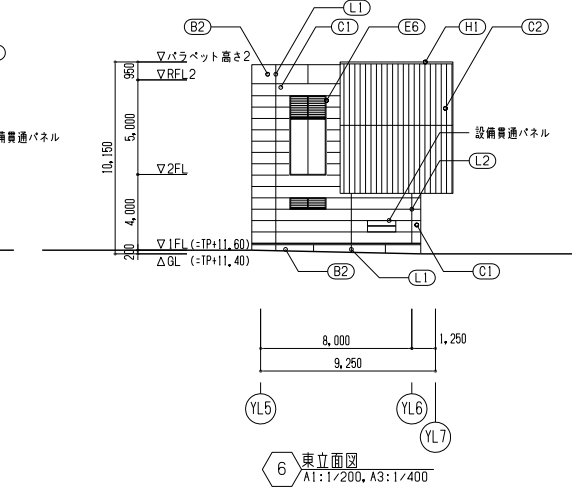
3 C-C 断面図  
A1:1/200, A3:1/400



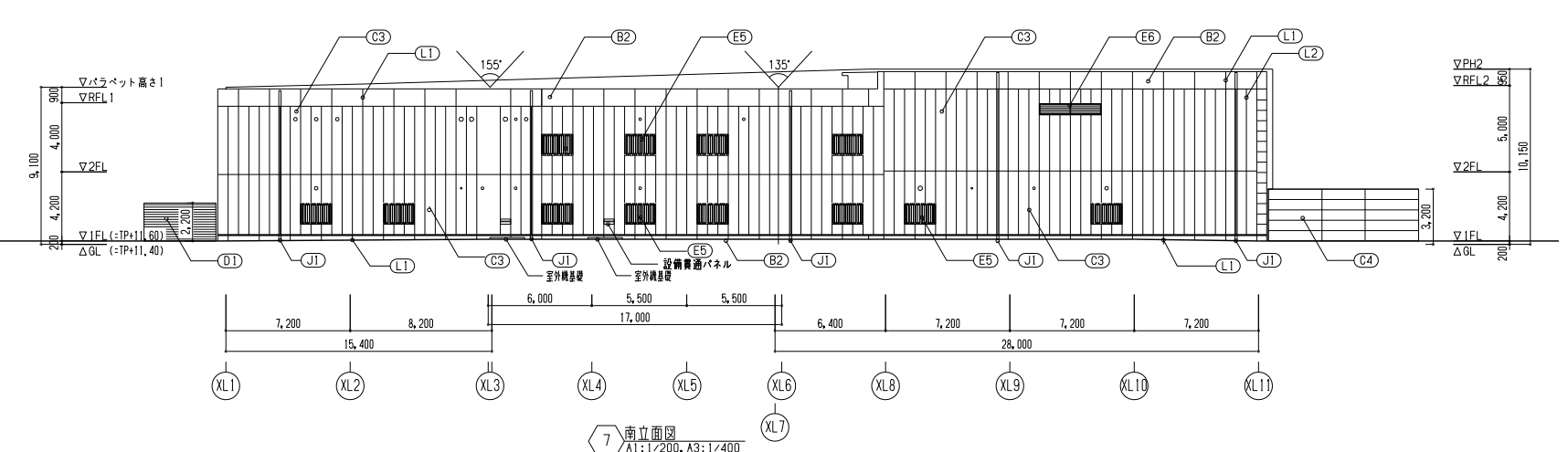
4 北立面図  
A1:1/200, A3:1/400



5 西立面図  
A1:1/200, A3:1/400



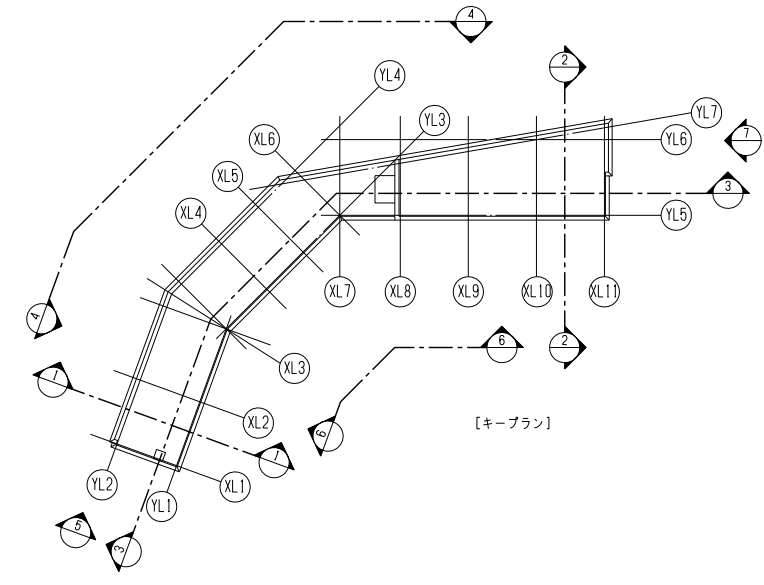
6 東立面図  
A1:1/200, A3:1/400

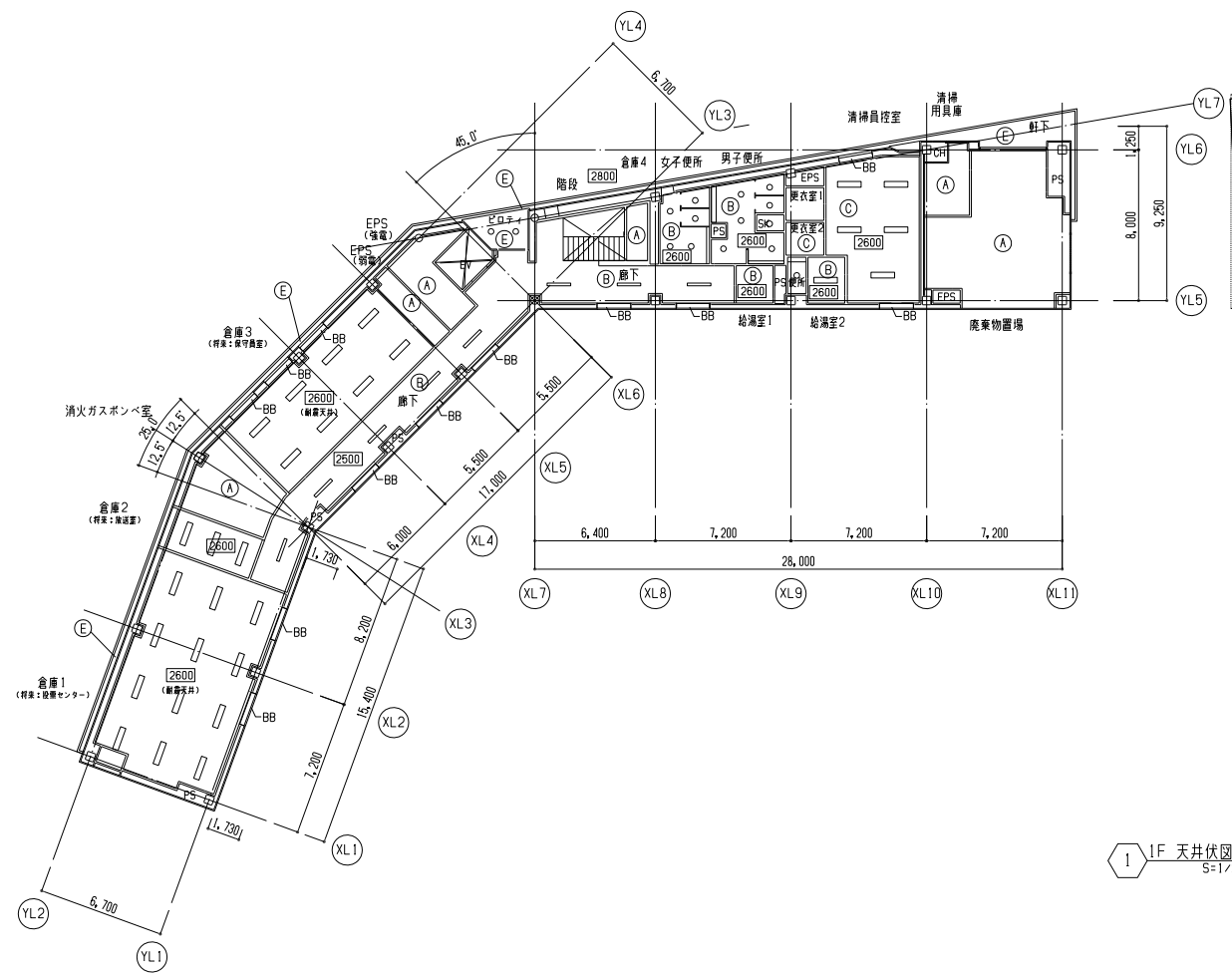
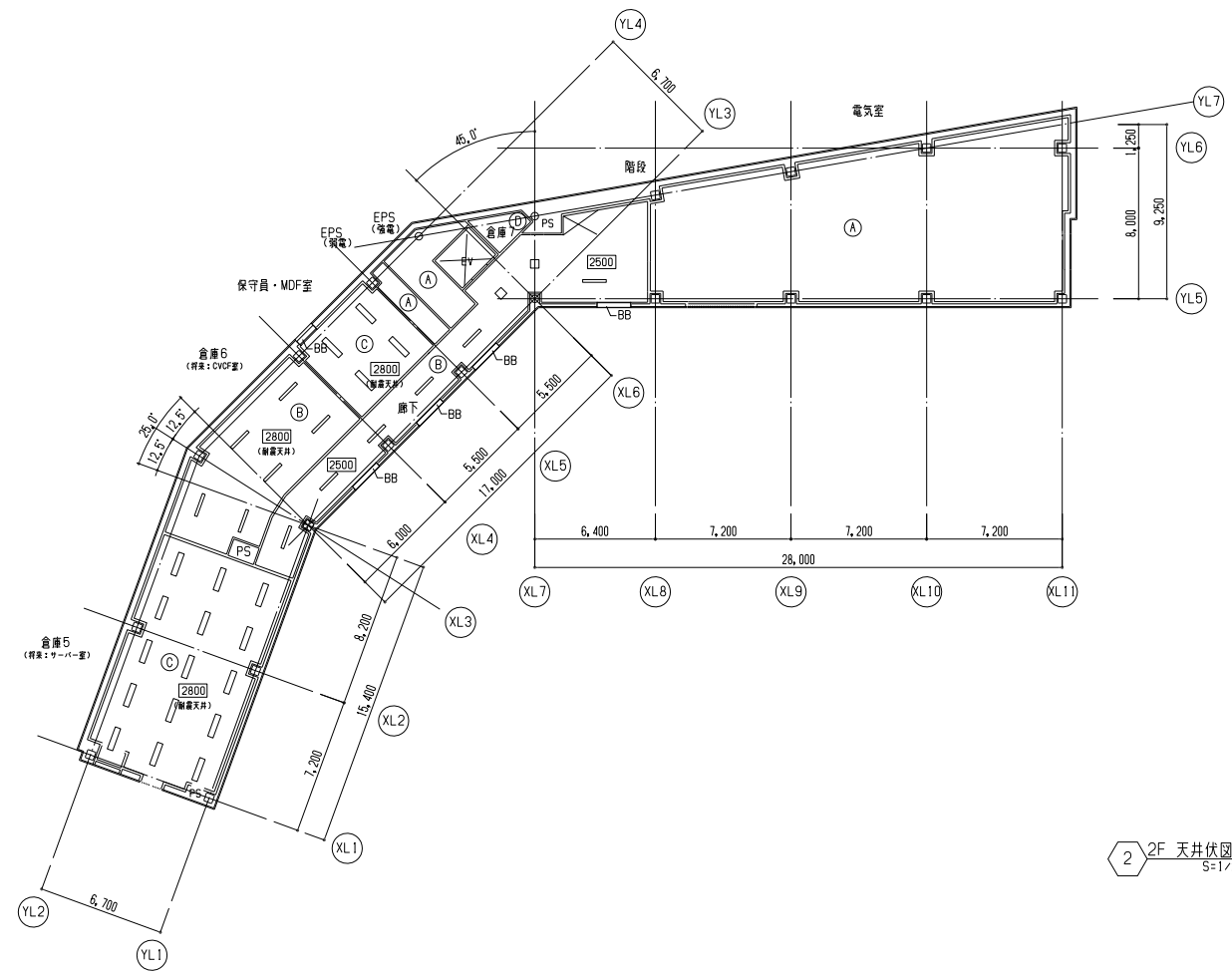


7 南立面図  
A1:1/200, A3:1/400

凡例表

(B2)	CH放し (A) 2-ASC
(C1)	EOP t60織張りフラットパネル 工場塗装
(C2)	EOP t60+15織張りデザインリブパネル フッ素樹脂工場塗装
(C3)	EOP t60織張りフラットパネル 工場塗装
(C4)	ファーリング吸音壁:EOP 織張り吸音壁ビルトインタイプ 無塗装
(D1)	アルミ隠し輪ルーパー
(E1)	鋼製建具 2-ASE
(E2)	アルミ縦ガラリ BB-2
(E3)	アルミサッシュ BB-2
(E5)	アルミサッシュ BB-2(固格子付き)・アルミガラリBB-2
(E6)	アルミガラリBB-2
(E7)	鋼製シャッター 2-ASE
(G1)	タラップ C (接続プレート打込み型) 安全ガード付
(H1)	アルミ笠木 t2.0曲げ加工 BB-1
(I2)	ペンダキャップ (設備工事)
(J1)	巻梯:AL押出型材製品(バンドレスタイプ) BB-1
(L1)	コンクリート誘発目地W=20
(L2)	EOPパネル目地W=10

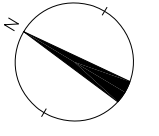


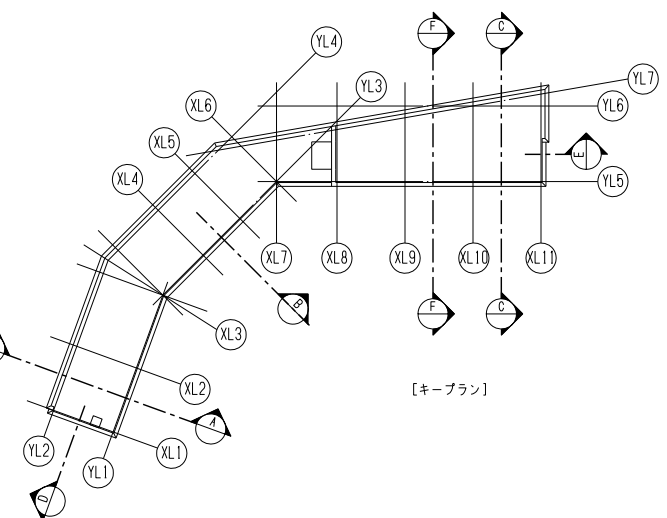
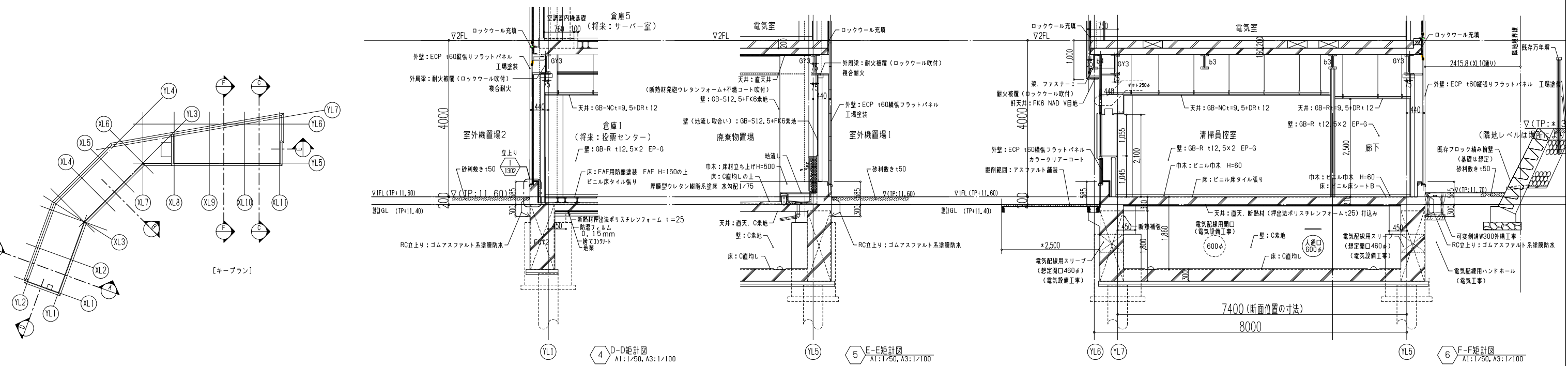
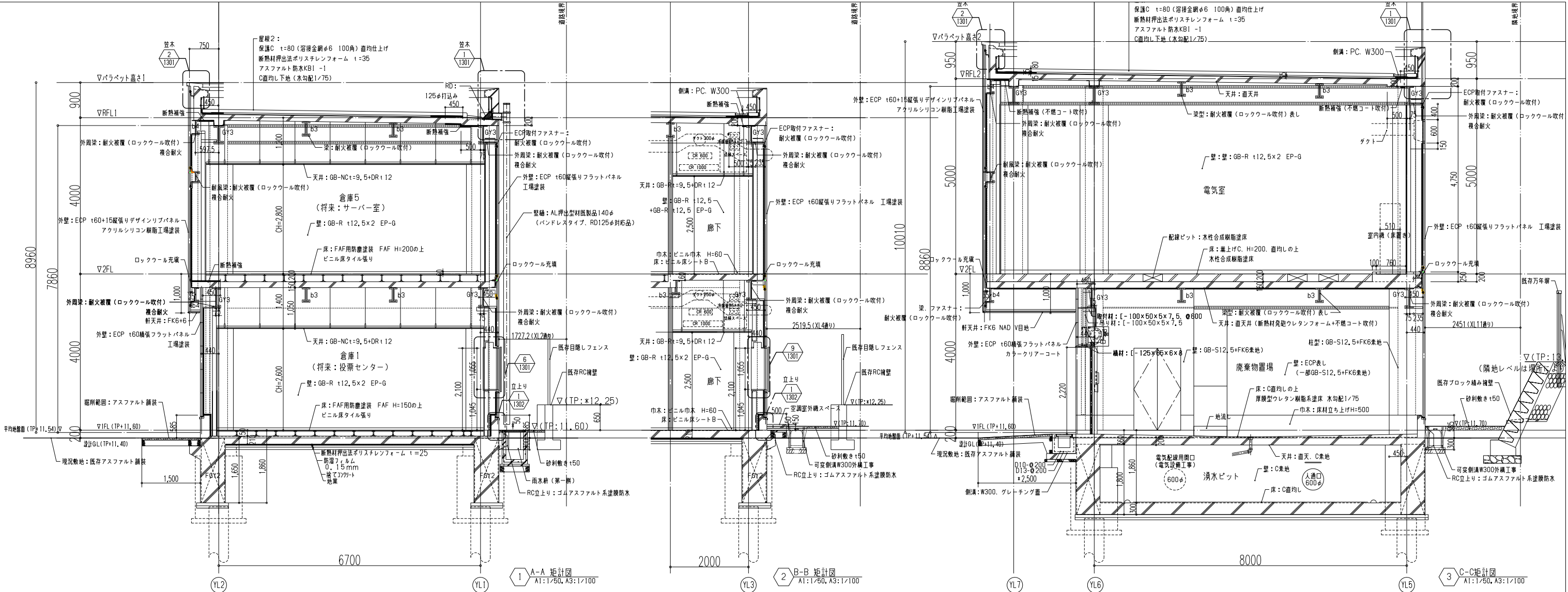


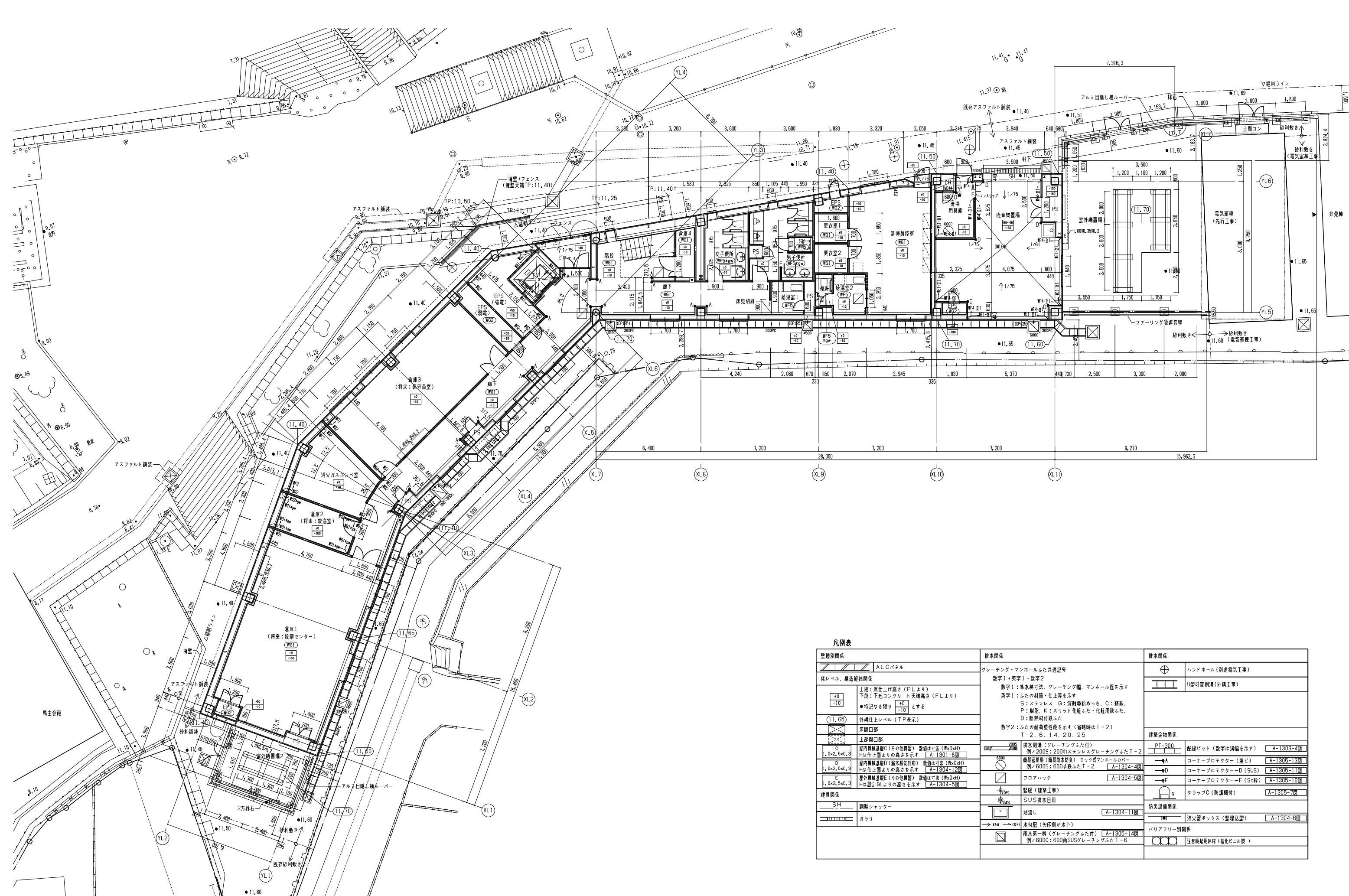
■仕上符号	
(A)	直天井
(B)	GB-R9, 5+DR12
(C)	GB-NC9, 5+DR12
(D)	GB (D)9, 5V目地
(E)	FK6+FK6 NAD
■凡例 (電気設備関係)	
□	照明開口 (1250×300)
□	照明開口 (450×450)
○	ダウンライト照明開口 (200φ)
■凡例	
BB	アライト ボックス S1, 6 2-UE

開口補強・天井点検口リスト

設備棟	開口寸法	数量小計	倉庫1 (投票センター)	倉庫2 (放送室)	ガス消火ポンベ室	倉庫3 (保守員室)	1階廊下	女子便所	男子便所	S	K	給湯室1	清掃員控室	更衣室1	更衣室2	給湯室2	便所	清掃用具庫	廃棄物置場	倉庫5 (サーバー室)	倉庫6 (CVCF室)	保守員・MDF室	倉庫7	2階廊下	電気室	備考		
点検口(M)	600×600	天井カセット室内機	8	2	1	2							2									1						
		全熱交換器	10	2	2	2																	2					
		換気ファン	8				3																					
		防火ダンパー	13				1						1	1			1											
		風量調整ダンパー	1							1																		
		その他ダンパー	3																									
点検口(E)	450×450	ケーブル敷設用	27	2	1	2	7						1									2	2	2	8			
		制気口	3	2	1																							
		VHS・HS	10						3	4			1	1	1													
		250×250	10	4		2							2										2					
		300×300	2					1	1																			
		350×350	14					3																				
避圧口	450×450	1																										
	□250	3									1																	
天井扉	□150	1																										
	1140×620	1		1																								
天井カセット1方向	900×900	7	2			2																						
天井カセット4方向																												

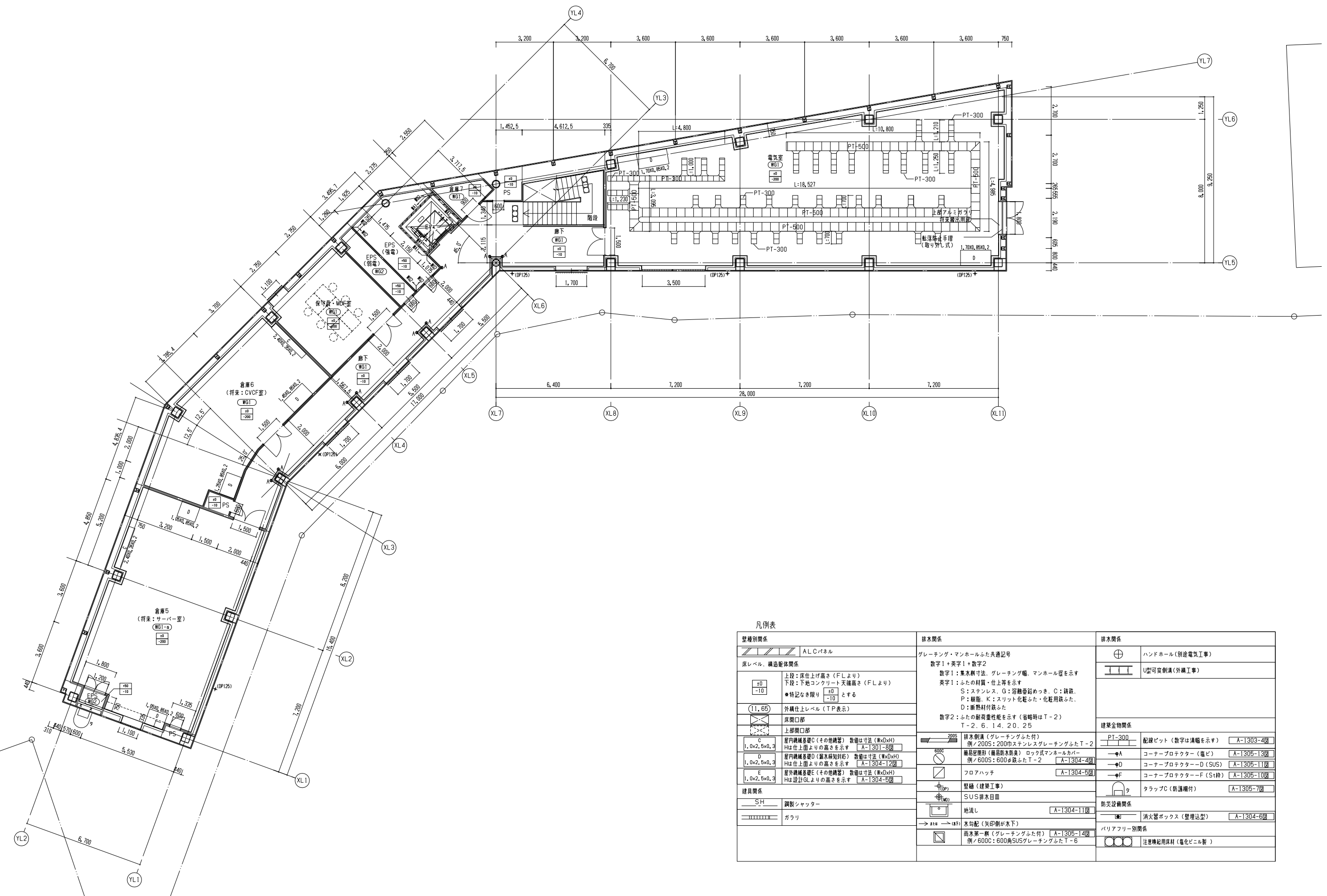






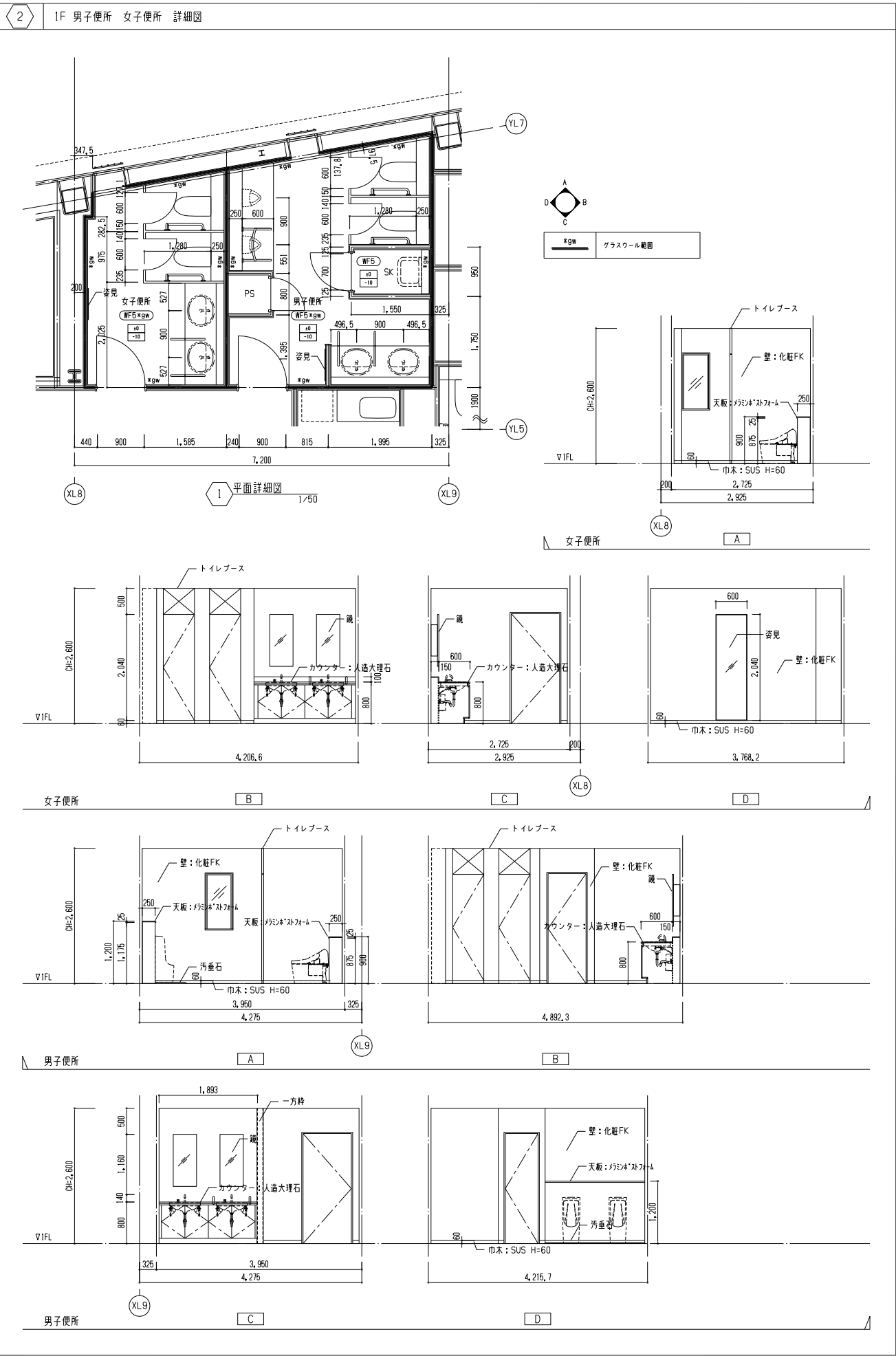
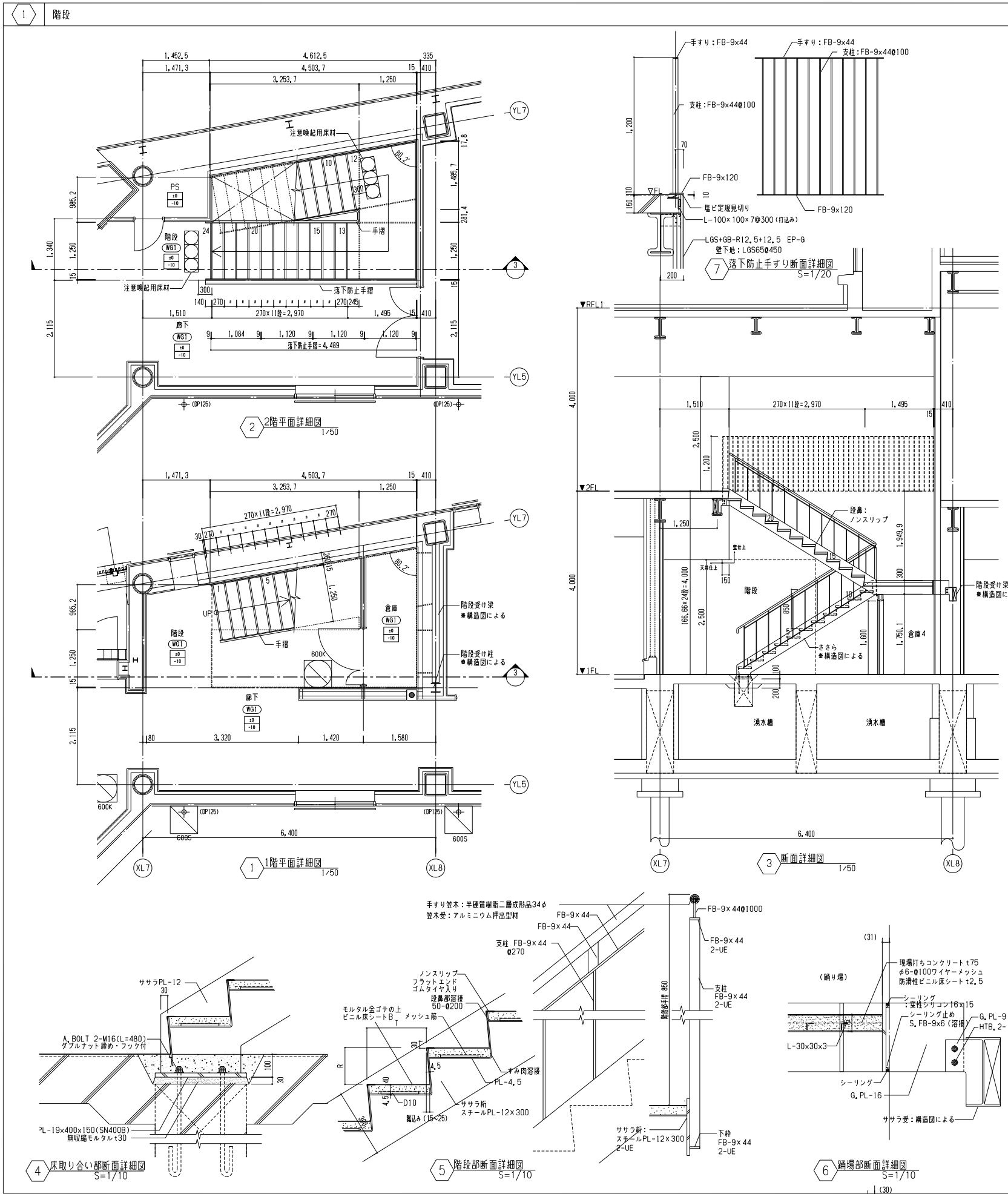
**凡例表**

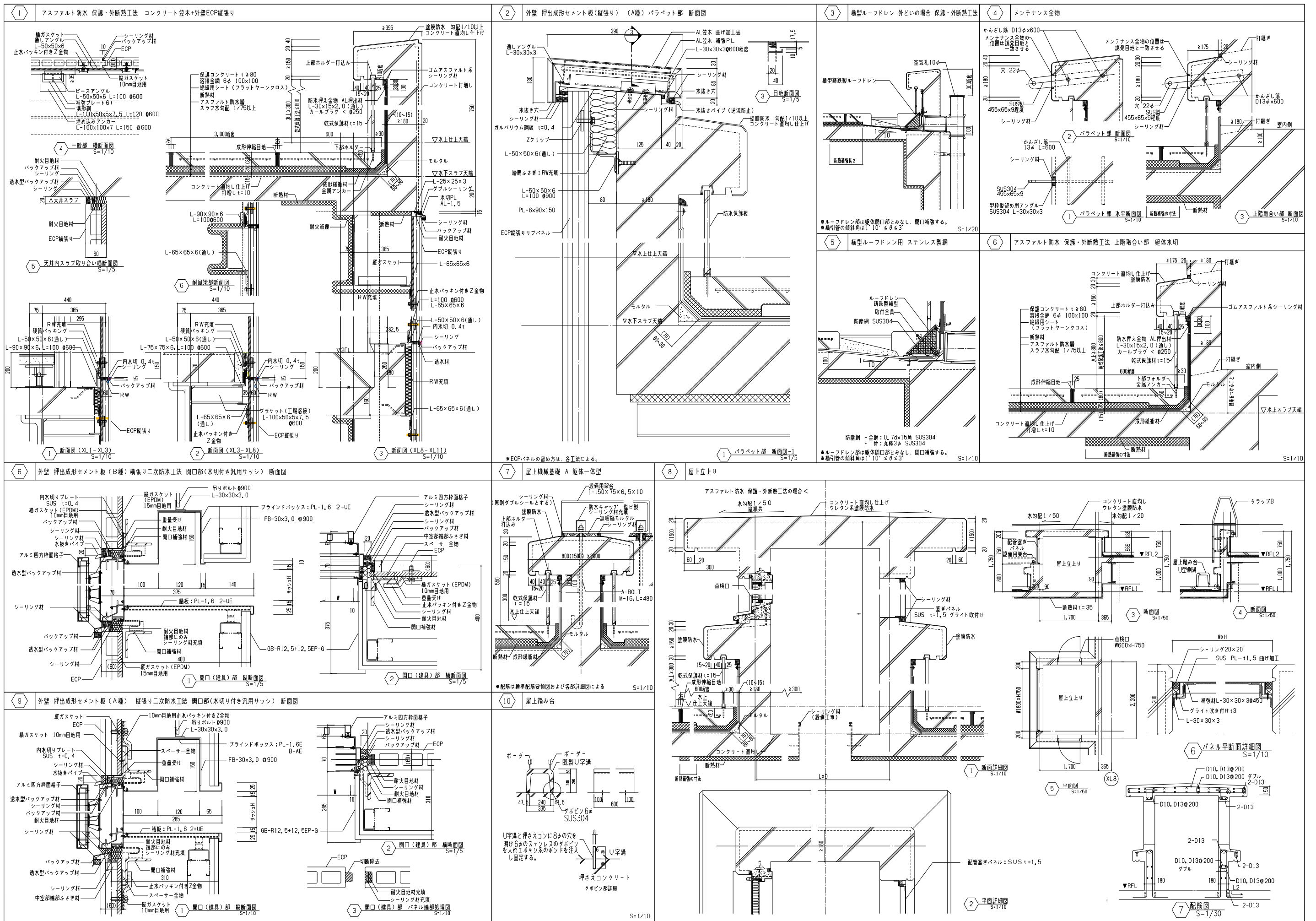
	ALCパネル		排水関係 グレーチング・マンホールふた共通記号 数字1+数字2 数字1: 排水幹寸法, グレーチング幅, マンホール径を示す 数字2: ふたの材質・仕上りを示す S: ステンレス, G: 溶融亜鉛めっき, C: 鉄鍍金, P: 樹脂, K: スリット化粧ふた・化粧用鉄ふた, D: 断熱材付鉄ふた 数字2: ふたの耐荷重性能を示す (省略時はT-2) T-2, 6, 14, 20, 25		ハンドホール (別途電気工事)
	床レベル, 構造躯体関係 +0 -10 外構上レベル (TP表示) 床開口部 上部開口部 c 1, 0x2, 5x0, 3 Hは仕上り高さ (FLより) 下段: 下地コンクリート天端高さ (FLより) *特記なき限り +0 とする d 1, 0x2, 5x0, 3 Hは仕上り高さ (FLより) e 1, 0x2, 5x0, 3 Hは設計GLよりの高さを示す		排水関係 排水側溝 (グレーチングふた付) 例/200S: 200HステンレスグレーチングふたT-2 e 600C e 600S: 600H鉄ふたT-2 フロアハッチ A-1304-5図 整橋 (建築工事) SUS排水目皿 A-1304-11図 地流し A-1304-11図 雨水第一貫 (グレーチングふた付) 例/600C: 600H SUSグレーチングふたT-6		排水関係 V型可変側溝 (外構工事) 建築金物関係 PT-300 配線ビッド (数字は溝幅を示す) A-1303-4図 A コーナプロテクター (電ビ) A-1305-13図 D コーナプロテクター-D (SUS) A-1305-11図 F コーナプロテクター-F (S+P) A-1305-10図 タ タラップC (防護欄付) A-1305-7図 防災設備関係 消火器ボックス (壁埋込型) A-1304-6図 バリアフリー関係 注意喚起用床材 (電化ビニル製)
	鋼製シャッター		排水関係 雨水第一貫 (グレーチングふた付) 例/600C: 600H SUSグレーチングふたT-6		排水関係 注意喚起用床材 (電化ビニル製)
	ガラス				

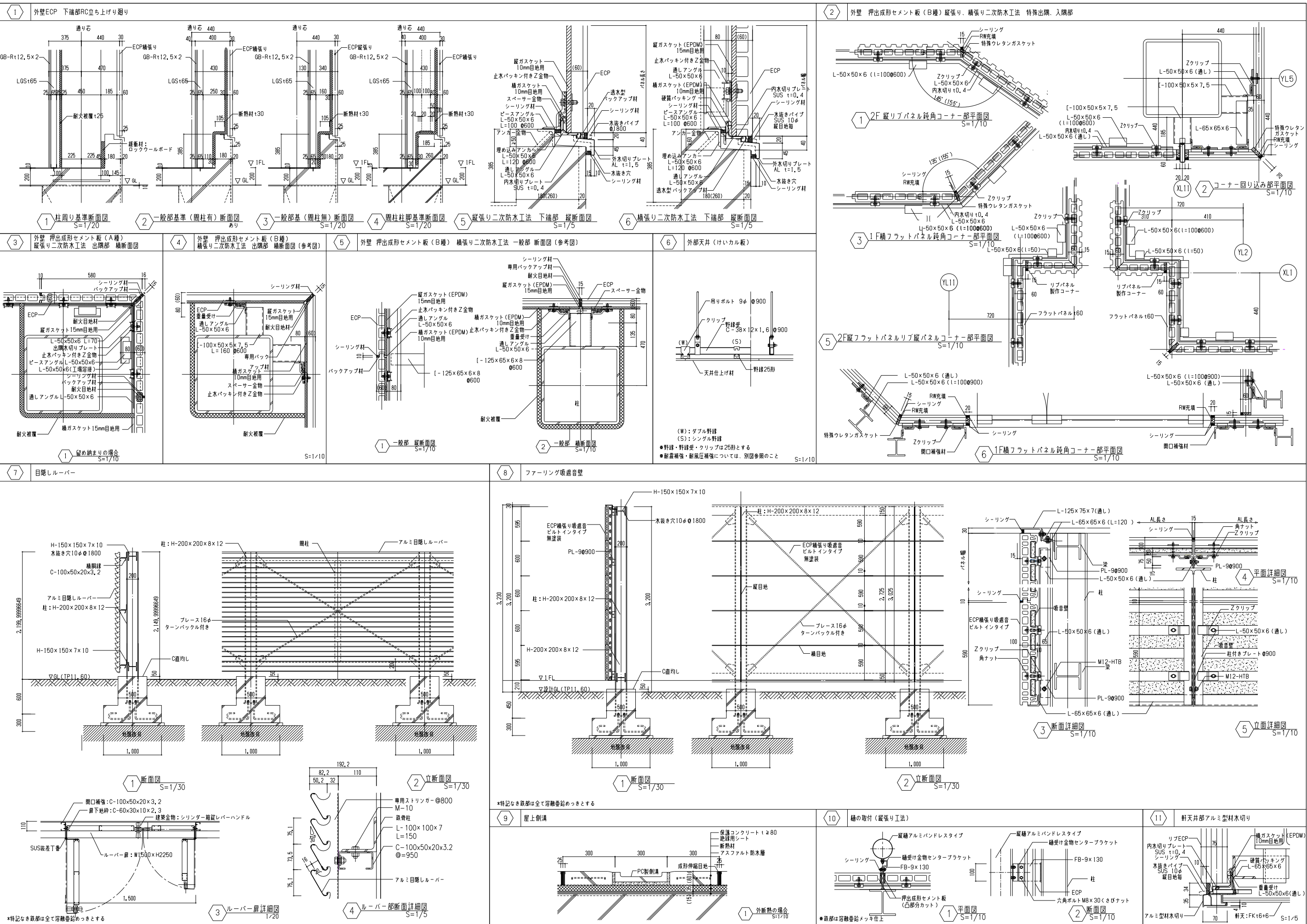


凡例表

<p>壁種別関係</p> <p>ALCパネル</p>	<p>排水関係</p> <p>グレーチング・マンホールふた共通記号</p> <p>数字1: 排水寸法。グレーチング幅、マンホール径を示す</p> <p>数字2: ふたの材質・仕上り等を示す</p> <p>S: ステンレス、G: 溶融亜鉛めっき、C: 鋼鉄、P: 樹脂、K: スリット化粧ふた・化粧用鉄ふた、D: 断熱材付鉄ふた</p> <p>数字2: ふたの耐荷重性能を示す(省略時はT-2)</p> <p>T-2、6、14、20、25</p>	<p>排水関係</p> <p>⊕ ハンドホール(別途電気工事)</p> <p>U型可変側溝(外構工事)</p>
<p>床レベル、構造躯体関係</p> <p>±0 上段: 床仕上げ高さ(F.L.より)</p> <p>-10 下段: 下地コンクリート天端高さ(F.L.より)</p> <p>●特記なき限り ±0 とする</p> <p>(11.65) 外構仕上レベル(T.P.表示)</p> <p>床開口部</p> <p>上段開口部</p>	<p>排水関係</p> <p>排水側溝(グレーチングふた付)</p> <p>例/200S: 200巾ステンレスグレーチングふたT-2</p> <p>商品型番(商品型番) ロックマンホールカバー</p> <p>例/60DS: 600φ鉄ふたT-2 [A-1304-4図]</p> <p>フロアハッチ [A-1304-5図]</p> <p>整橋(建築工事)</p> <p>SUS排水目皿</p> <p>地流し [A-1304-11図]</p> <p>雨水第一階(グレーチングふた付) [A-1305-14図]</p> <p>例/60DC: 600φSUSグレーチングふたT-6</p>	<p>建築金物関係</p> <p>PT-300 配線ビッド(数字は溝幅を示す) [A-1303-4図]</p> <p>→A コーナプロテクター(磁ビ) [A-1305-13図]</p> <p>→D コーナプロテクター-D(SUS) [A-1305-11図]</p> <p>→F コーナプロテクター-F(S+棒) [A-1305-10図]</p> <p>タラップ(防護欄付) [A-1305-7図]</p> <p>防災設備関係</p> <p>消火器ボックス(壁埋込型) [A-1304-6図]</p> <p>バリアフリー関係</p> <p>注意喚起用床材(電化ビニル製)</p>
<p>建具関係</p> <p>SH 鋼製シャッター</p> <p>ガラリ</p>		

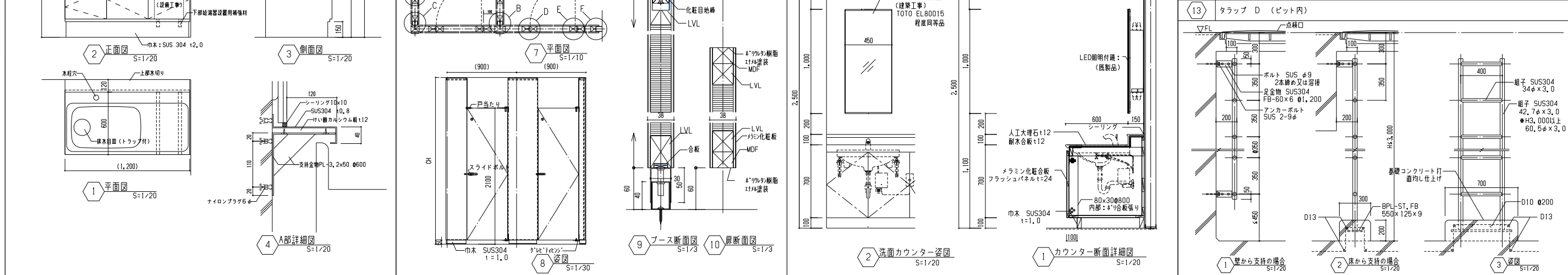
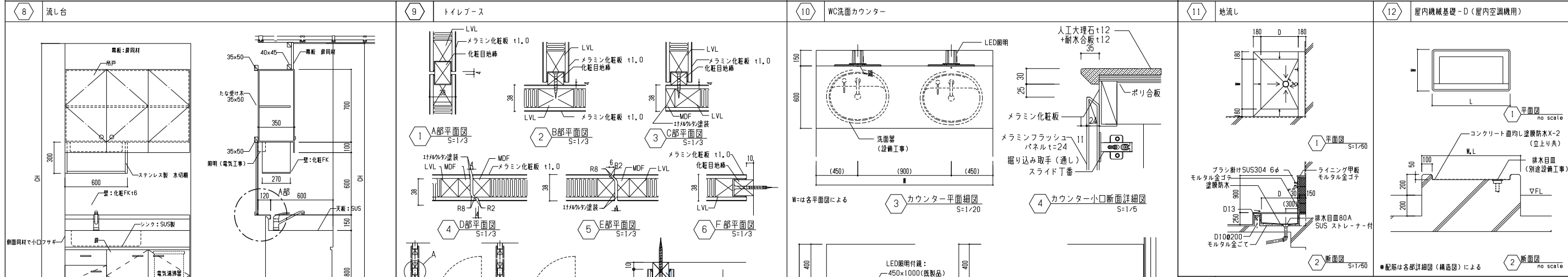
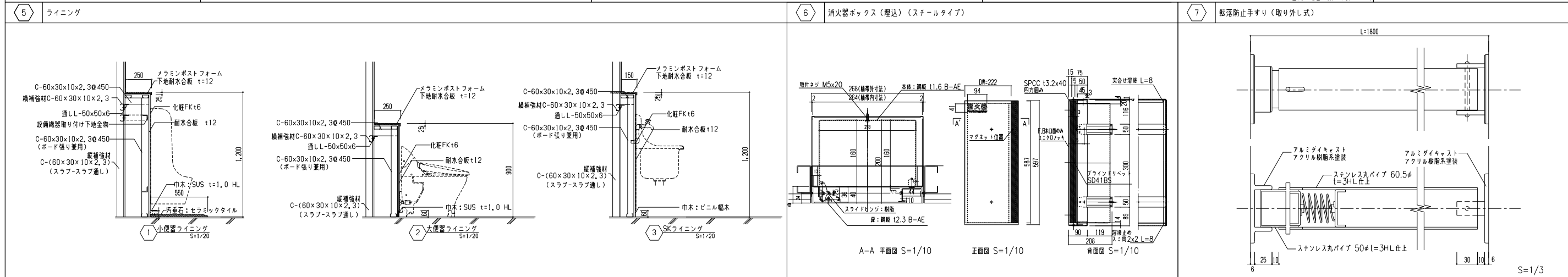
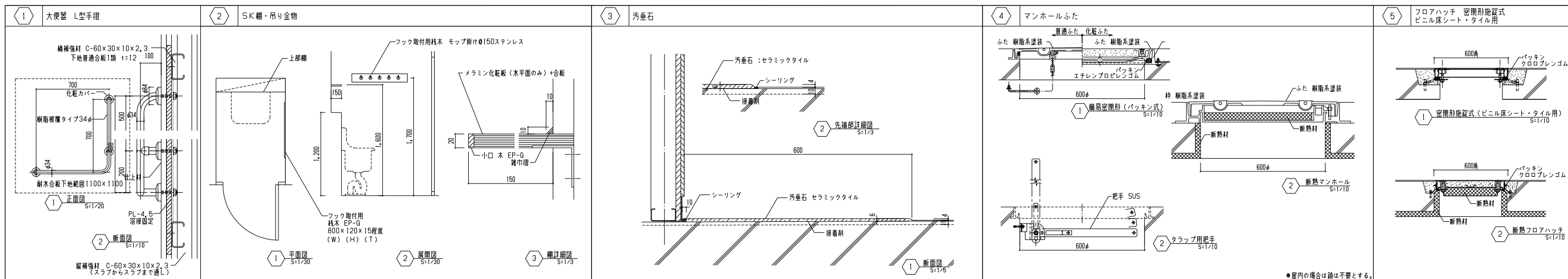


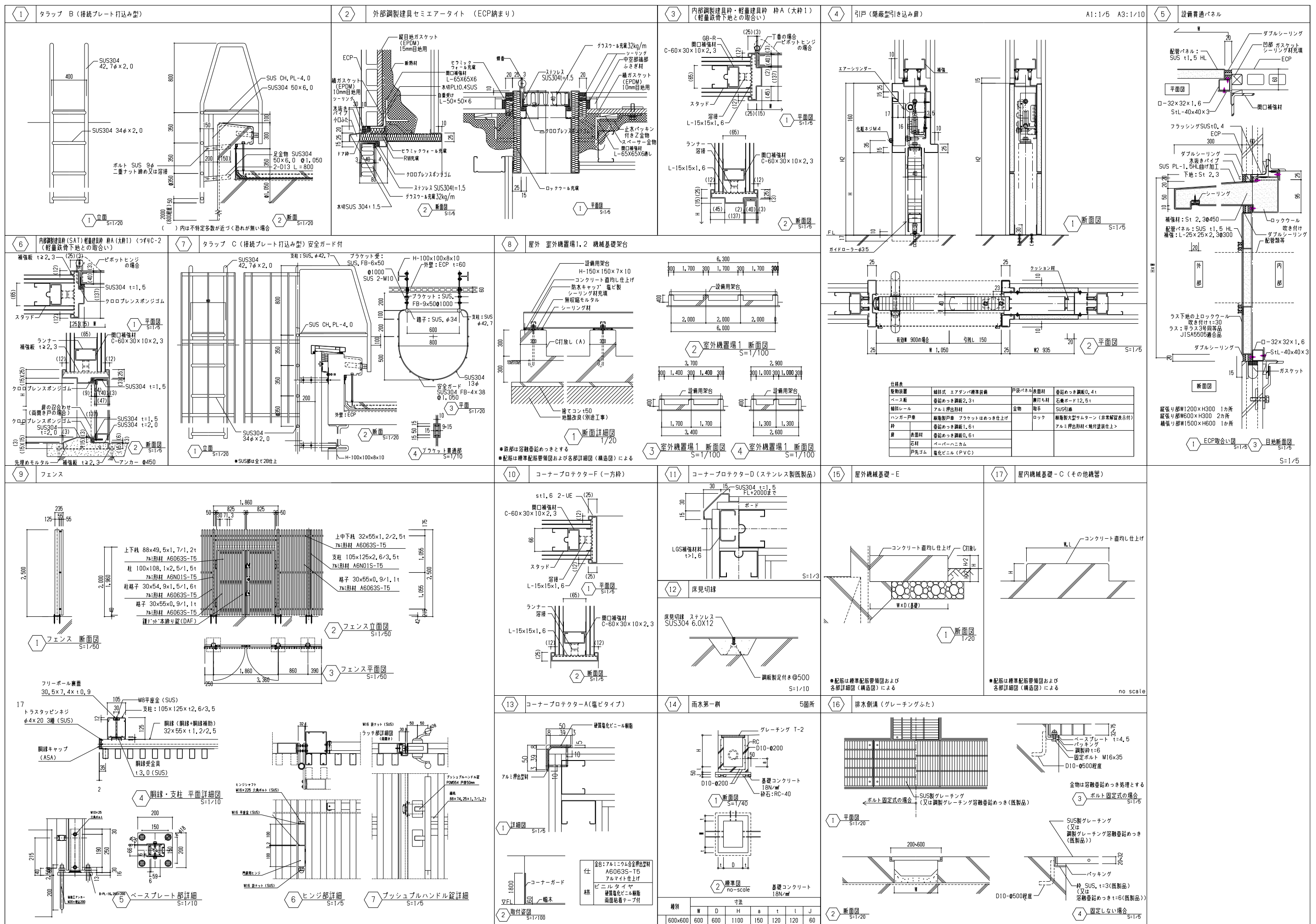






<p>1 内部 コンクリート直均し仕上げ</p>	<p>3 フリーアクセスフロア スチールパネル無機質充填</p>	<p>4 トラフ (配線ピット) W ≤ 450mm</p>	<p>5 ステンレス幅木 (入幅木)</p>	<p>7 ボード類の上塗装など (1重張り面取付け)</p>	<p>8 ボード類の上塗装など (2重張り目通し)</p>	<p>9 軽量鉄骨下地壁 ボードコーナー部目地処理 (下地張りのない場合)</p>
<p>2 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張りなど (コンクリート直均し仕上げ)</p>	<p>1 基準断面図 2 ボーダー部断面図1 3 ボーダー部断面図2</p>	<p>1 平面図 2 断面図</p>	<p>3 終詳細図-仕上材のない場合 4 終詳細図-指定仕上材を用いる場合</p>	<p>1 軽量鉄骨下地の場合 2 コンクリート下地の場合</p>	<p>1 軽量鉄骨下地の場合 2 コンクリート下地の場合</p>	<p>1 出隅・入隅取付け処理の場合 2 入隅目通しの場合 3 補部取付け処理の場合</p>
<p>10 ボード類の上塗装・クロス張りなど (2重張り)</p>	<p>11 軽量鉄骨下地 (下地張りのある場合・遮音間仕切: スタッドピッチ450mm)</p>	<p>12 軽量鉄骨下地 下地に貫通物の荷重がからない場合の開口補強</p>	<p>13 軽量鉄骨下地壁 ボードコーナー部目地処理 (遮音壁の場合)</p>	<p>14 LGS耐火遮音間仕切壁 スラブ下取合い (参考図)</p>	<p>15 軽量鉄骨下地壁 ボードコーナー部目地処理 (下地張りのある場合)</p>	
<p>1 軽量鉄骨下地の場合 2 コンクリート下地の場合</p>	<p>1 開口部上枠と天井面が接している場合 2 開口部上枠と天井面が離れている場合</p>	<p>1 開口幅 W &lt; 800 の場合 2 開口幅 W ≥ 800 の場合</p>	<p>1 出隅・入隅取付け処理の場合 2 補部取付け処理の場合</p>	<p>1 デッキプレートの場合 2 フラットデッキの場合</p>	<p>1 出隅・入隅取付け処理の場合 2 入隅目通しの場合 3 補部取付け処理の場合</p>	
<p>16 軽量鉄骨下地壁 上下補部納まり (スラブまでの壁の場合)</p>	<p>17 軽量鉄骨下地壁 上下補部納まり (遮音壁の場合)</p>	<p>18 LGS耐火間仕切壁 (耐火被覆取合い) 梁下納まり</p>	<p>19 ALC間仕切パネル (C種) 縦壁ロッキング構法 (参考図)</p>	<p>20 ボード類の上塗装、クロス張りなど (下地張りのある場合)</p>	<p>21 天井付目地 (回り縁付)</p>	
<p>1 上部 断熱材打込みスラブの場合 (ボードを天井で止める場合) 2 上部 断熱材打込みスラブの場合 (ボードをスラブまで延ばす場合) 3 上下補部 (ボードを天井で止める場合) 4 上下補部 (ボードをスラブまで延ばす場合)</p>	<p>1 上部 断熱材打込みスラブの場合 (ボードを天井で止める場合) 2 上部 断熱材打込みスラブの場合 (ボードをスラブまで延ばす場合) 3 上下補部 (ボードを天井で止める場合) 4 上下補部 (ボードをスラブまで延ばす場合)</p>	<p>1 上部 断熱材打込みスラブの場合 2 梁下直下の場合 (半乾式ロックウール) 3 梁下直下の場合 (半乾式ロックウール)</p>	<p>1 コンクリートスラブの場合の上端部 2 デッキプレートの場合の上端部 3 フラットデッキの場合の上端部 4 下端部 5 鉄骨梁取合いの場合の上端部</p>	<p>1 1枚張りの場合 2 2枚張りの場合</p>	<p>1 野縁受 2 補強野縁受 3 補強野縁受 (野縁受同材) 4 補強野縁受 (野縁受同材) 5 吊りボルト位置</p>	





建具共通事項

1. 一般共通事項

- 1) 建具共通事項は特に図示がない場合に適用する。設計図書の優先順位は、特記仕様書、建具表、建具共通事項、標準仕様書とする。
2) 建具寸法は、特記なき限り枠内寸法とする。
3) カーテンウォールの仕様は、特記仕様書17章カーテンウォール工事及び16章2節(3)の既製カーテンウォールによる。
4) 飛散防止フィルムの範囲は、建具表及び16章14節ガラス工事特記仕様書による。
5) トイレブースドアは、特記仕様書20章ユニット及びその他工事による。
6) 防火設備、特定防火設備、遮煙性能は、告示に適合したものを若しくは大臣認定品とする。
7) 開き勝手は平面図によるものとする。

2. アルミニウム製建具共通事項

- 1) 窓枠の形状は建具表および建具詳細図による。
2) 窓の膳板・鎖種の仕様は特記なき限りステン製とし、断熱材裏打ちとする。
3) 水切り板は特記なき限りアルミニウム既製押出型材とする。
4) 水切り板は壁面汚れ防止のため、アルミニウム材で先端まで両端を立ち上げる。
5) 排煙窓の操作ワイヤー等は、枠内隠蔽式とする。
6) 突出部等、危険部位についてはプラスチックカバーをつけること。

3. 鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具共通事項

- 1) ドア枠の形状は、特記なき限りAとする。
2) 特記なき限り、くつずりはSUS304 HLとする。
3) 鋼製建具は、ドア厚≧40mmとし、鋼製軽量建具は、ドア厚≧35mmとする。
4) Tドアはドア厚≧45mmとし、特記なき限りロックウール(80kg/m3)を充填し、枠にはモルタルを隙間なく充填する。性能は16章建具工事特記仕様書による。
5) Tドアは、特記なき限り廊下に面する場合は、遮音性能JIS等級T-2程度とし、居室に面する場合はT-3程度とする。
6) 内部ATドアは、特記なき限り気密性能JIS等級A-4程度とする。
7) T・AT・SATドアはフラッシュ戸とし、枠の四周には曲げ加工による溝を設け、クロロブレンゴム等の気密材は四辺をつなげる。
8) 外部に面するドアは、ドア性能SAT以上とする。
9) 外部鋼製建具のドア枠は特記なき限りSUSとする。
10) 外部鋼製建具の塗装仕様は特記なき限り2-ASEとする(枠・戸共)。
11) 厨房、浴室、プール等の水がかり部の鋼製建具ドア枠および一方枠等の枠は特記なき限りSUS HLとする。
12) 上部に庇のない外部ドアは、上枠に水切金物(SUS304、t=1.5 出寸法30mm程度)を取り付ける。
13) 扉面材の下端小口のステールプレートは糸面取りをする。
14) 鋼製軽量建具の小口包みは表面材を曲げこむ。
15) フロアヒンジの設置は、深さ70から80mm程度以上の欠きこみが必要となる。RC-SRC造でフロアヒンジが梁上に設置される場合には梁梁を下げる。対応については監理者及び構造設計者と協議のこと。
16) 付室の防火戸には、消防ホース通過孔用の小扉を設ける。
17) 内部鋼製建具の塗装仕様は特記なき限り2-Uとする(枠・戸共)。

4. 木製建具共通事項

- 1) 襖及び障子の敷居は敷居すべり付とする。
2) 襖の仕上は新鳥の子とし、枠は不枠にカシュー樹脂塗料塗りとする。

5. 建具用金物共通事項

- 1) アルミニウム製建具の建具金物は下記を取り付け、そのほかはメーカーの仕様による。また下記以外に機能付加する場合は、建具表および建具詳細図による。

Table with 4 columns: 開閉方式, 支持金物, 錠, その他部品. Rows include 引違い窓, 片引き窓, 片開き窓, 回転窓, 突出し窓, 外倒し窓, 内倒し窓, すべり出し窓, 高所・排煙用突出し窓, 高所・排煙用外倒し窓.

- 2) 鋼製建具・鋼製軽量建具・ステンレス建具の把手、錠、支持金物は原則下記を取り付けるものとし、選択は建具表による。下記付属金物以外に付加するものは建具表による。

Table with 5 columns: 性能・開閉方式, 把手, 錠, 支持金物, 付属金物. Rows include 外部:開き戸, 内部:開き戸, 気密/遮音ドア, 引戸, 壁埋込型防火戸, 壁埋込型防火折戸, 点検口扉.

\*1 親子・両開きの防火戸、常時閉鎖式不燃扉の場合

- 3) レバーハンドルは、特記なき限りSUS HLとする。
4) バックセットは握り玉100mm程度、レバーハンドル75mm程度とする。
5) 引手の長さは、特記による。特記なき場合はL=600程度(SUS)とする。
6) シリンダー箱錠は原則、室内側;サムターン、廊下側:シリンダー錠とする。
7) 特記なき限り、親子・両開き戸はフランス落し付きとする。
8) 特記なき限り、防火戸及び不燃扉の親子・両開き戸は閉鎖順位調整器付き(枠埋込形)とする。
9) 特記なき限り、防火戸及び不燃扉の親子・両開き戸は、2枚ともドアクローザー付とする。
10) 特記なき限り、防火戸及び不燃扉の戸は、ストッパーなしとする。それ以外のドアクローザーは、全員の調整により、ストッパー有無の切り替え可能なものとする。
11) 電気錠の場合、1次側のカードリーダー及び配線工事は電気工事、2次側の電気錠、スイッチストライク、通電金物の取付調整、切欠き工事は建築工事とする。
12) マスターキーシステムは特記による。
13) 内部への進入が可能な点検口は、内部から解錠可能な構造とする。
14) Tドアでレバーハンドルの指定がある場合、マグネット入りタイトゴムとし、くつずりはC1とする。

6. 自動ドア開閉装置、自閉式上吊り引戸装置共通事項

- 1) 自動ドアには、天井付光線式反射スイッチを付け、天井及び底のない箇所は無目取り付タイプを標準とする。(タッチスイッチなど人為操作方式を使用する場合、自動検出方式のセンサーを併用する。)
2) 防火設備、特定防火設備となる自動ドアは特記なき限り全て非常時閉鎖機構(パニッククローズ仕様)とする。
3) 戸袋付以外の自動ドアには安全柵を設ける。
4) 挟まれ防止、衝突防止等の安全対策は、JIS-A4722(歩行者用自動ドアセット)安全性および自動ドア安全ガイドライン(JADA全国自動ドア協会)による。
5) 特記なき限り、本頁の建具符号と図面表示の自動ドアにある\*を適用する。

7. シャッター関係共通事項

- 1) ガイドレールには底板をつけ、材質はSUS304HLとする。
2) シャッターのステンレス部材はSUS304HLとする。
3) スイッチボックスは特記なき限り埋込型とする。
4) 特記なき限り、電動機構とする。

8. ガラス・がらり関係共通事項

- 1) 網入りガラス、合わせガラスの小口処理は、特記仕様書16章14節ガラス工事による。
2) 床面よりの窓・カーテンウォールのガラスは、SUSHL衝突防止マーク(Φ600程度)付とする。
3) がらりの形状は、外部用はI型、または縦型とし、内部用はII型、またはII型とする。
4) 特記なき限り、がらりは枠と同材質・同仕上、ドアがらりは扉と同材質・同仕上とする。
5) 外部に面するがらりは室内側にSUS防鳥網(1.5mm、Φ15mm)付、取外し可能とし、アルミニウム製水返しを取り付ける。
6) 外部に面するがらりでダクト接続の場合は、チャンバー接続枠(D150mm以上、ALt2.0mm、断熱材付、がらり本体と同仕上)を取り付ける。ただしがらりが防火設備の場合、ALt2.0mmをSUSt1.5mmに読み替える。

9. その他共通事項

- 1) 可動式防煙垂れ壁は特記なき限り垂直降下式(スクリーン巻取型)とする。
2) 可動式防煙垂れ壁でパネル回転式の場合は、周部の天井材と同仕上張りとする。
3) 防犯建物部品は特記仕様書16.1.6および建具表による。

建具符号と図面表示

Table with 3 columns: 建具符号の表示方法, 建具の性能記号, ドア枠、一方枠〜四方枠の形状と寸法. Includes diagrams for door types and performance codes.

Table with 4 columns: 建具の種類, 鋼製ドア, 鋼製窓, 鋼製がらり, 鋼製一方枠〜四方枠, 鋼製点検口扉, 鋼製軽量ドア, 強化ガラスドア, 鋼製重量シャッター, 軽量シャッター, ステンレス製シャッター, シートシャッター, グリルシャッター, オーバーヘッドドア.

Table with 3 columns: ガラスの種類, フロート板ガラス, あり板ガラス, 型板ガラス, 網入板ガラス(クロス・変形), 網入型板ガラス, 線入板ガラス, 線入型板ガラス, 強化ガラス, 倍強度ガラス, 熱線吸収板ガラス, 熱線反射ガラス, 鉛ガラス(カバーガラス付), ガラスブロック, 複層ガラス, 遮熱・高断熱ガラス, 合わせガラス, 強化合わせガラス, 低断熱防火ガラス, 耐熱強化ガラス, 耐熱結晶化ガラス, 耐火・遮熱積層ガラス.

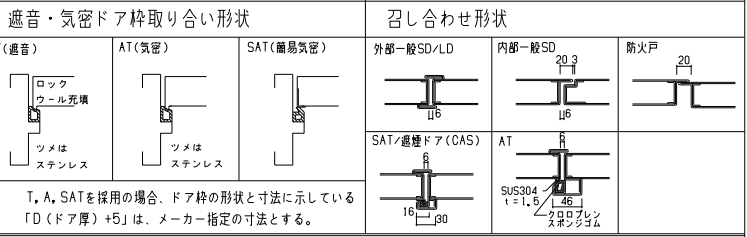
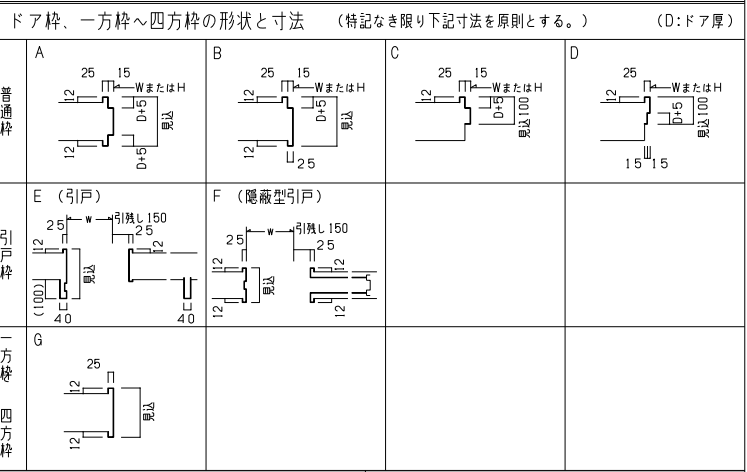
Table with 3 columns: 塗装の種類, 2-FUE, 2-ASE, 2-UE, SOP, 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り, アクリルシリコン樹脂エナメル塗り, 2液形ポリウレタン樹脂エナメル塗り, 合成樹脂調合ペイント塗り, ふっ素樹脂焼付けエナメル塗り, ポリウレタン樹脂焼付けエナメル塗り, アクリル樹脂焼付けエナメル塗り, クリヤーラッカー塗り, ウレタン樹脂ワニス塗り, 木部フッ素エナメル塗り, オイルステイン塗り, 木材保護塗料塗り.

Table with 3 columns: その他, 材質, アルミニウム表面処理・仕上げ, SUS仕上げ, 鋼, アルミニウム, ステンレス, 木, 真鍮, 化粧鋼板, 無着色, 着色色, 焼付, 無着色陽極酸化塗装複合皮膜, 着色陽極酸化塗装複合皮膜, 焼付塗装(特記仕様書18.15節), ヘアライン, エッチング, 鏡面, バイブレーション, ビーズプラスト.

Table with 2 columns: がらり形状, 水切り板形状, I型, II型, III型, A(AL押出型材), 開口率約30%, 開口率約35%, 開口率約25%.

Table with 2 columns: 自動ドア, 起動装置, センサー位置と補助センサー, その他機能, \*光線式反射スイッチ, \*天井付センサー, \*無目付(露出)センサー, \*無目下側内蔵センサー, \*充電式フォトスイッチ, \*補助光センサー, \*防塵ゴムによる静音仕様, \*フラットガイドレール, \*引戸全周気密ゴム付き, \*スリム枠(SUS)仕様, \*パニックオープン機構, \*壁(天井)付電源スイッチ(電気設備工事).

Table with 3 columns: シャッター, ガラス用フィルム, 性能, 防煙垂れ壁, その他機能, a, b, c, d, e, 省スペース型ボックス・高頻度型, 2軸シャッター, 輪前連動, ポスト(ボールレス), フラットパネル式, 日射調整(SC), ガラス飛散防止(GS), ガラス貫通防止(SF), 目隠し, 耐爆風性能, 固定式, 固定式, 固定式, 可動式, 可動式, 可動式, 可動式.



T, A, SATを採用の場合、ドア枠の形状と寸法に示しているFD(ドア厚)+5は、メーカー指定の寸法とする。

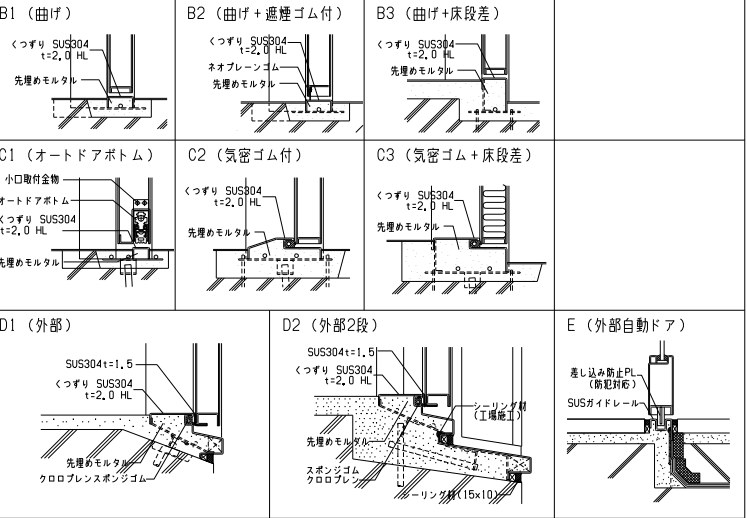
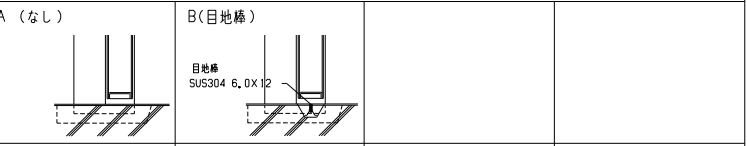
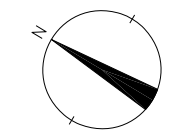
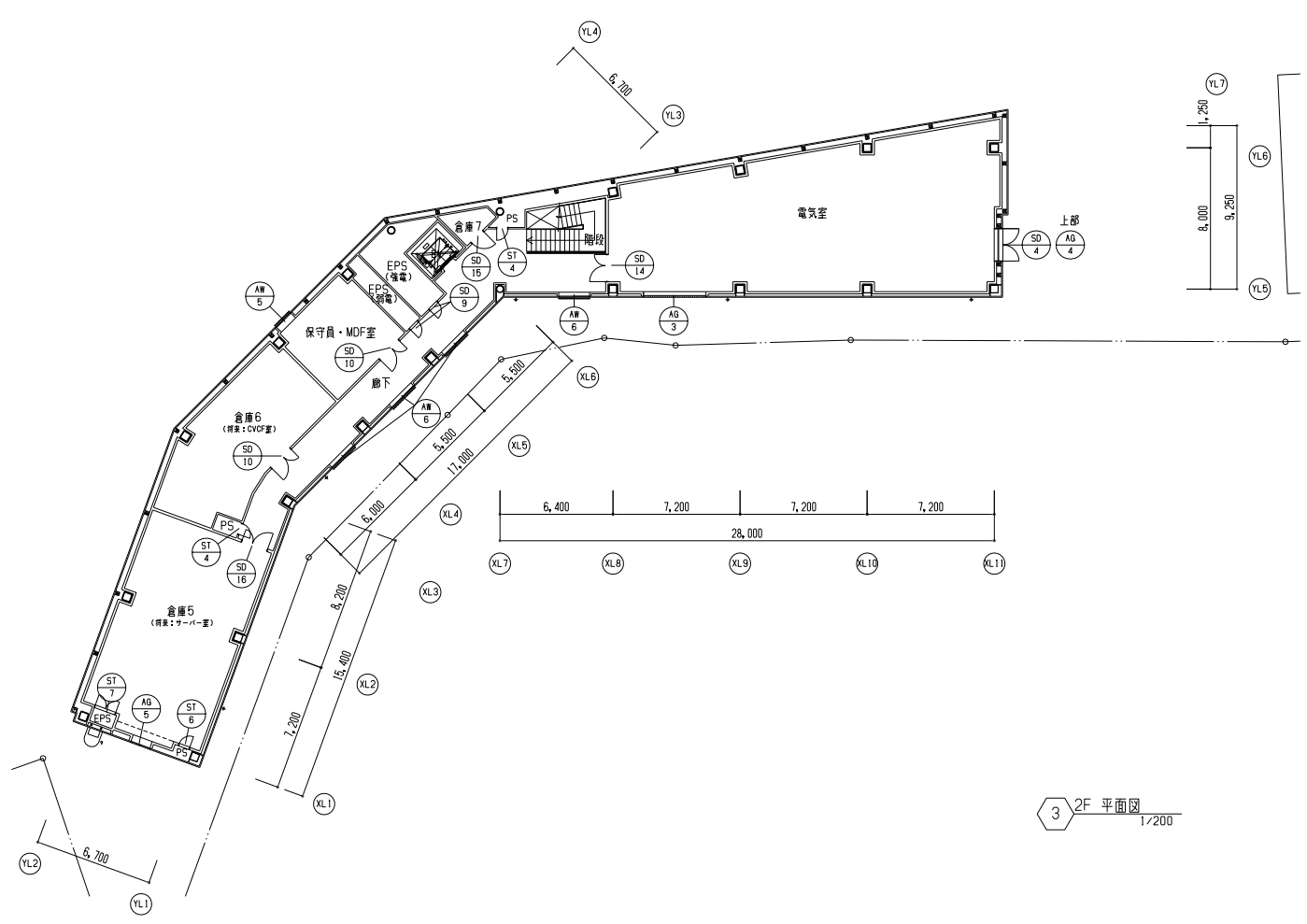
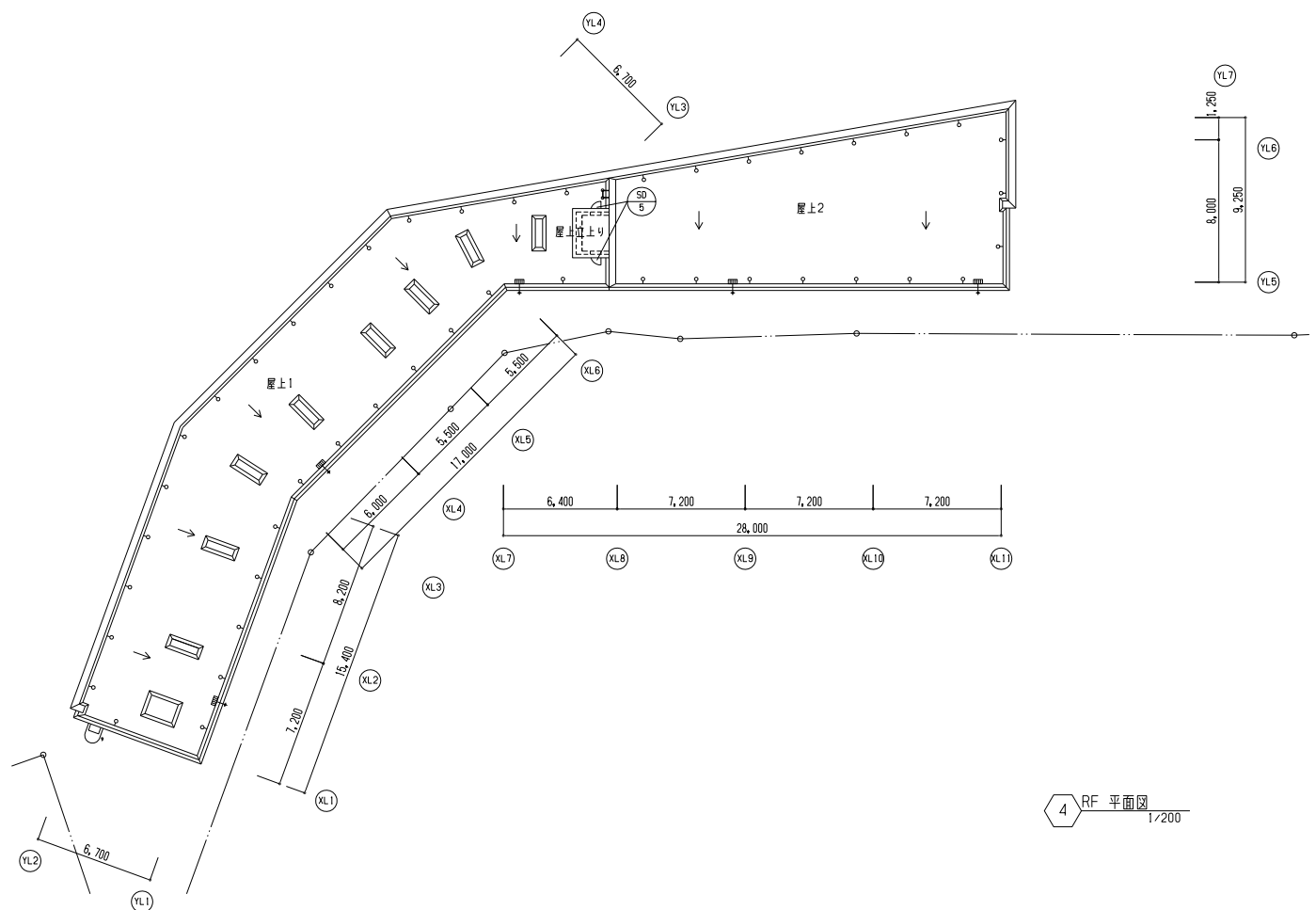
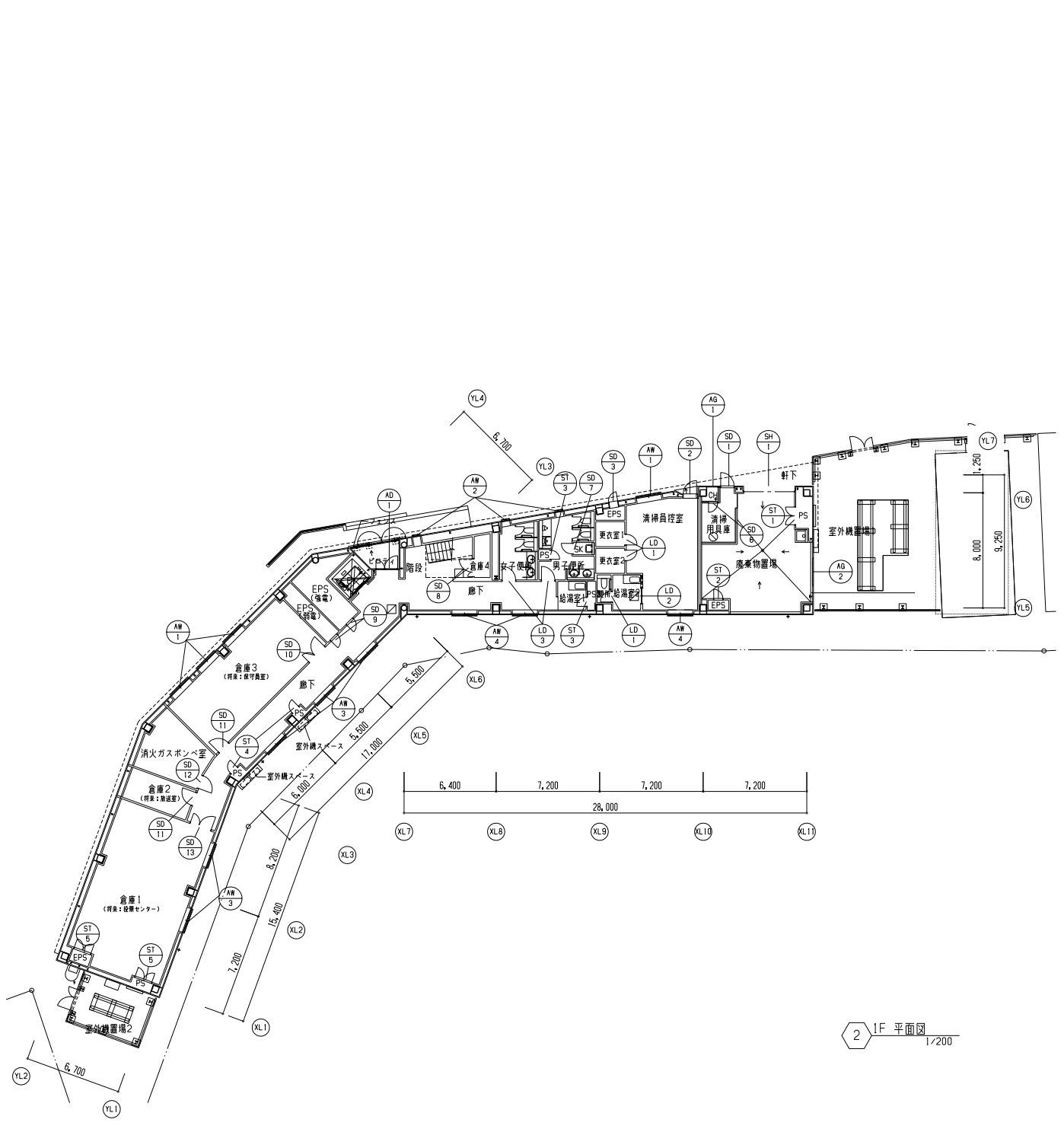


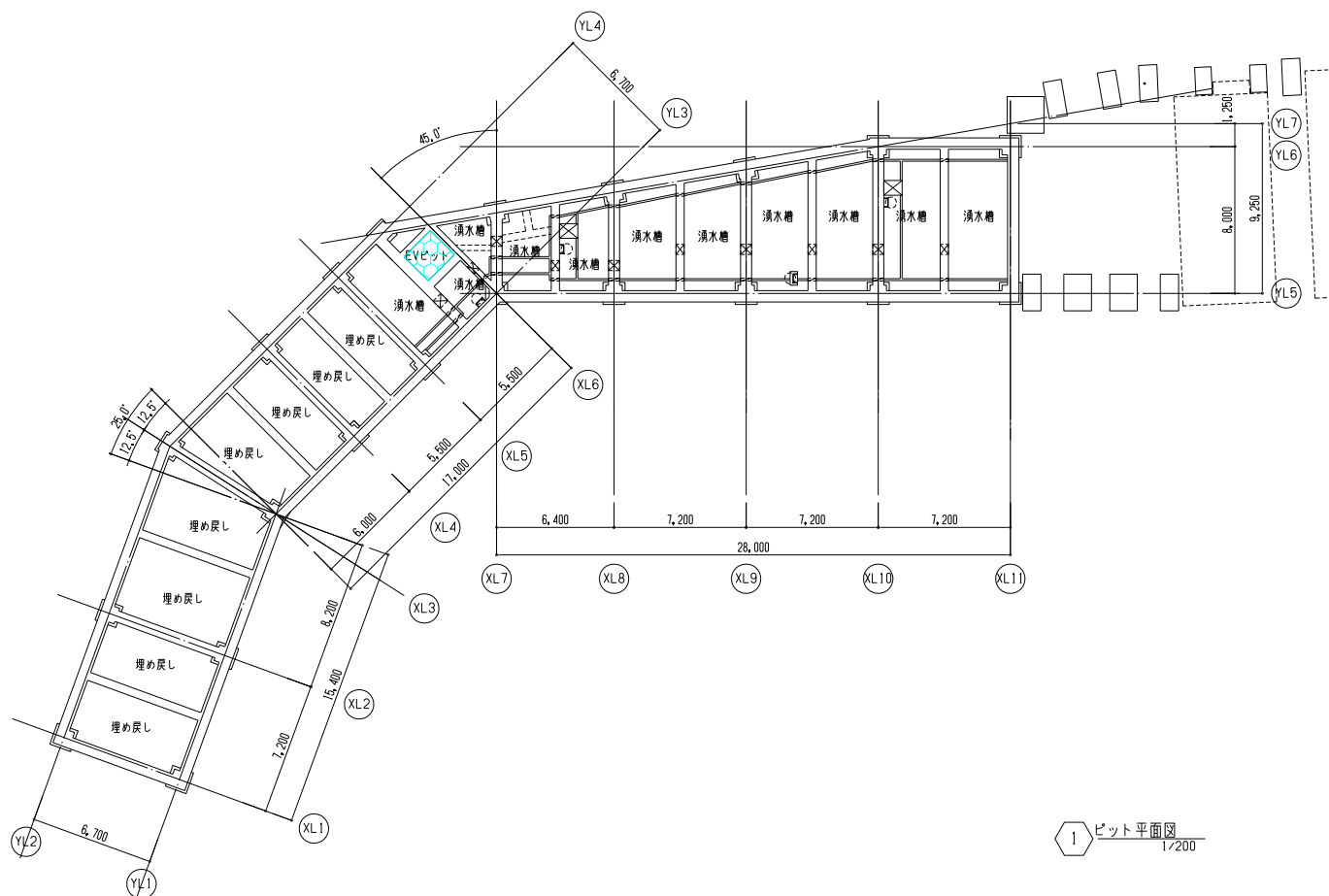
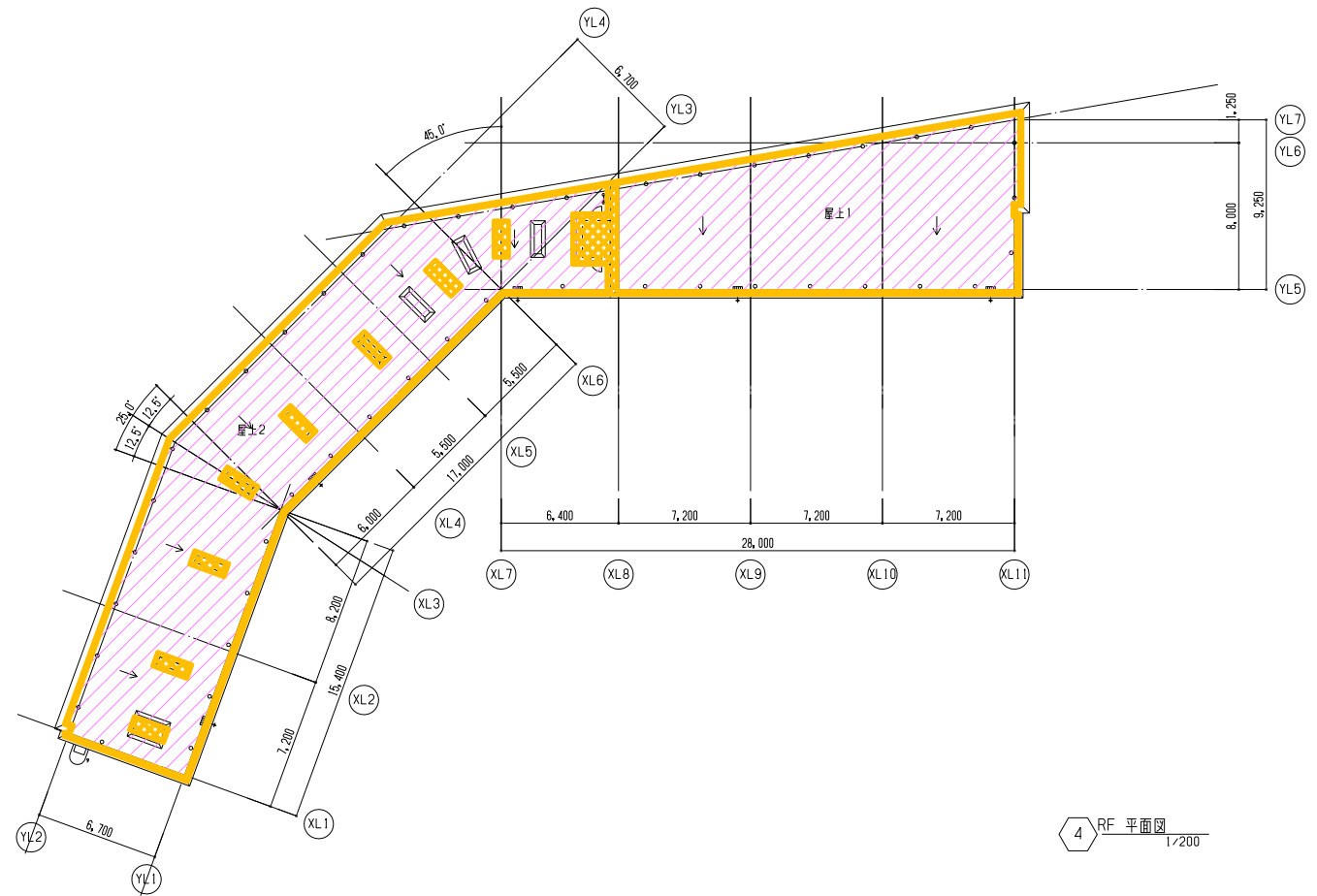
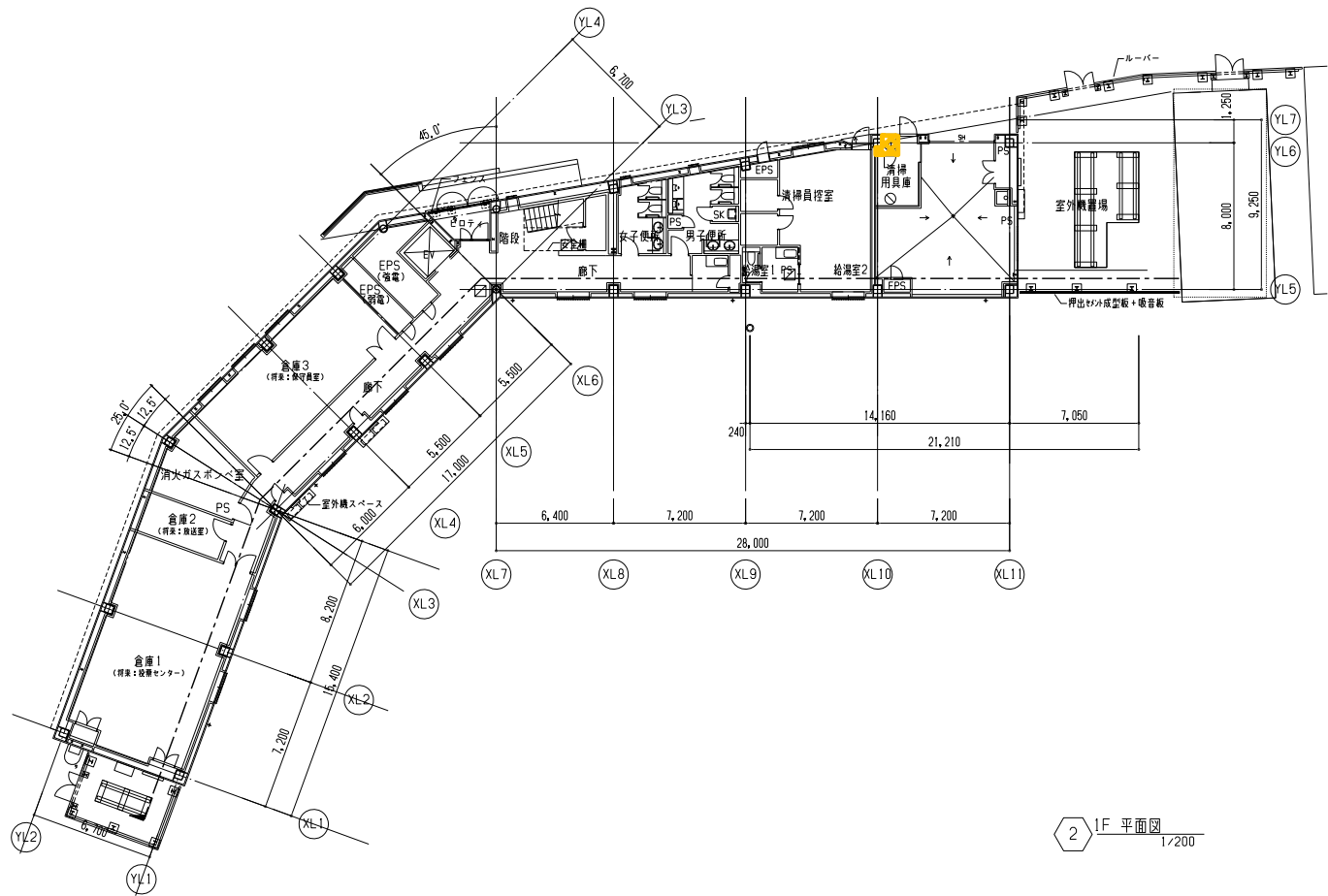
Table with 4 columns: 把手の形式, 錠の形式, 錠の種類と機能付加, 建具金物の種類. Rows include 引違い窓, 片引き窓, 片開き窓, 回転窓, 突出し窓, 外倒し窓, 内倒し窓, すべり出し窓, 高所・排煙用突出し窓, 高所・排煙用外倒し窓.



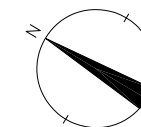
 株式会社 日本設計	特記	埼玉県 浦和競馬組合	課長	副参事	主幹	主査	担当	設計	1級建築士登録第 322398号 平塚 智	浦和競馬場設備棟建築工事 (建築図)	図面名称 建具符号図	図面番号 A-1402	TFU_SETUB1.dwg
			飛塚	石井	阿相	矢島	阿相	設計	1級建築士登録第 355122号 齋藤 啓佑				

建具 符号	名称	性能 記号	数量	SD 1	片開戸	SAT	1	SD 2	片開戸	SAT	1	SD 3	片開戸	SAT	1	SD 4	両開戸	SAT 防外	1	SD 5	片開戸	SAT	2	SD 6	片開戸	SAT	1	AD 1	親子戸	-	1										
窓																																									
取付場所	1F 清掃用具庫		1F 清掃員控室		1F EPS		2F 電気室		2F 屋上立上り		1F CH		1F エントランス																												
種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式							
	40	-	-	-	40	-	-	-	-	40	-	-	-	-	50	-	-	-	-	-	40	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-								
ガラス の厚さ																																									
ハンド ルの形	巾	凸	凹	K	T	D	巾	凸	凹	K	T	D	巾	凸	凹	K	T	D	巾	凸	凹	K	T	D	巾	凸	凹	K	T	D	巾	凸	凹	K	T	D					
その他 金物等	外部、水がかり		外部、水がかり		外部、水がかり		外部、水がかり、ハンドルシリンダー室内側		外部、水がかり		外部、水がかり、点検口扉		外部、水がかり、フランシス落し																												
建具 符号	名称	性能 記号	数量	SD 7	片開戸	-	1	SD 8	親子戸	-	1	SD 9	片開戸	-	4	SD 10	親子戸	-	3	SD 11	片開戸	-	2	SD 12	片開戸	SAT 防	1	SD 13	親子戸	-	1	SD 14	親子戸	SAT 防	1						
窓																																									
取付場所	1F SK		1F 倉庫4		1F EPS(強電・弱電) 2F EPS(強電・弱電)		1F 倉庫3 2F 保守員・MDF室 倉庫6		1F 倉庫2・3		1F 消火ガスボンベ室		1F 倉庫1		2F 電気室																										
種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式							
	40	-	-	-	40	-	-	-	-	40	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	40	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ガラス の厚さ																																									
ハンド ルの形	巾	-	-	P	凸	凹	K	P	D	巾	凸	凹	K	P	D	巾	凸	凹	K	P	D	巾	凸	凹	K	P	D	巾	凸	凹	K	EL	P	D	巾	凸	凹	K	EL	P	D
その他 金物等							飛散防止フィルム貼り		飛散防止フィルム貼り		下部アンダーカット15mm		カードリーダー(電気工事) 飛散防止フィルム貼り																												
建具 符号	名称	性能 記号	数量	SD 15	片開戸	-	1	SD 16	親子戸	SAT 防	1	ST 1	両開戸	-	1	ST 2	片開戸	-	1	ST 3	片開戸	-	2	ST 4	片開戸	-	4	ST 5	両開戸	-	2	ST 6	片開戸	SAT 防	1						
窓																																									
取付場所	2F 倉庫7		2F 倉庫5		1F 廃棄物置場 PS		1F 廃棄物置場 EPS		1F 男子便所PS 給湯室1PS		1F 廊下PS 2F 廊下PS		1F 倉庫1		2F 倉庫5																										
種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式							
	40	-	-	-	40	-	-	-	-	40	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	40	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
ガラス の厚さ																																									
ハンド ルの形	巾	凸	凹	K	P	D	巾	凸	凹	K	EL	P	D	巾	凸	凹	K	U	凸	凹	D	U	凸	凹	D	U	凸	凹	D	U	凸	凹	D	U	凸	凹	D	U	凸	凹	
その他 金物等	下部アンダーカット15mm		カードリーダー(電気工事) 飛散防止フィルム貼り		点検口扉		点検口扉		点検口扉		点検口扉		点検口扉		点検口扉																										
建具 符号	名称	性能 記号	数量	ST 7	両開戸	SAT 防	1	LD 1	片開戸	-	3	LD 2	片引戸	-	1	LD 3	片開戸	-	2																						
窓																																									
取付場所	2F 倉庫5		1F 更衣室 便所		1F 給湯室2		1F 男子便所 女子便所																																		
種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式	種別	見込	材質	仕上	取付形式							
	40	-	-	-	40	-	-	-	-	40	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	40	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ガラス の厚さ																																									
ハンド ルの形	巾	凸	凹	D	U	凸	凹	K	P	D	巾	凸	凹	K	P	D	巾	凸	凹	K	P	D	巾	凸	凹	K	P	D	巾	凸	凹	K	P	D	巾	凸	凹	K	P	D	
その他 金物等	点検口扉		下部アンダーカット15mm 飛散防止フィルム貼り		隠蔽型引戸 飛散防止フィルム貼り		下部アンダーカット15mm 飛散防止フィルム貼り																																		

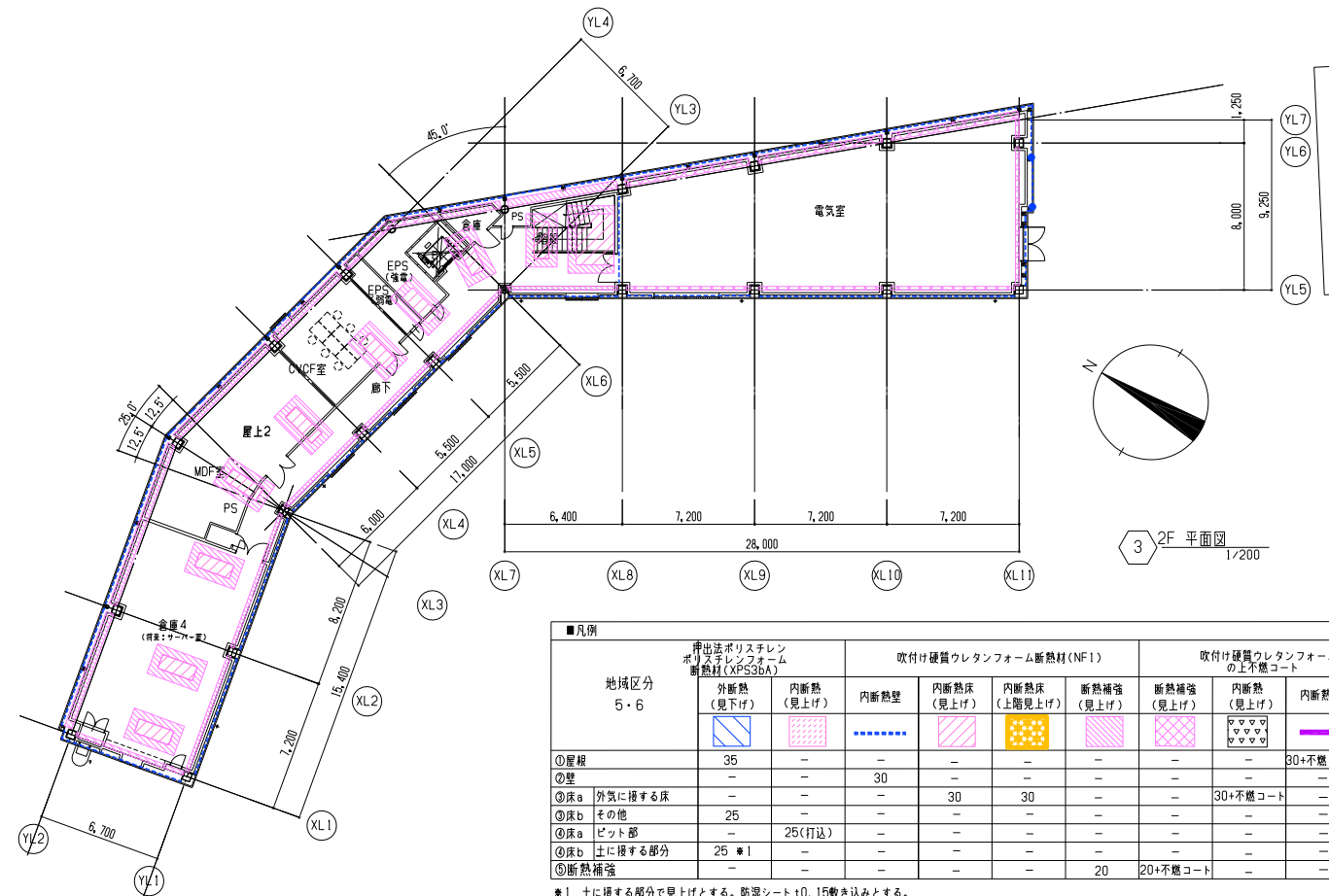
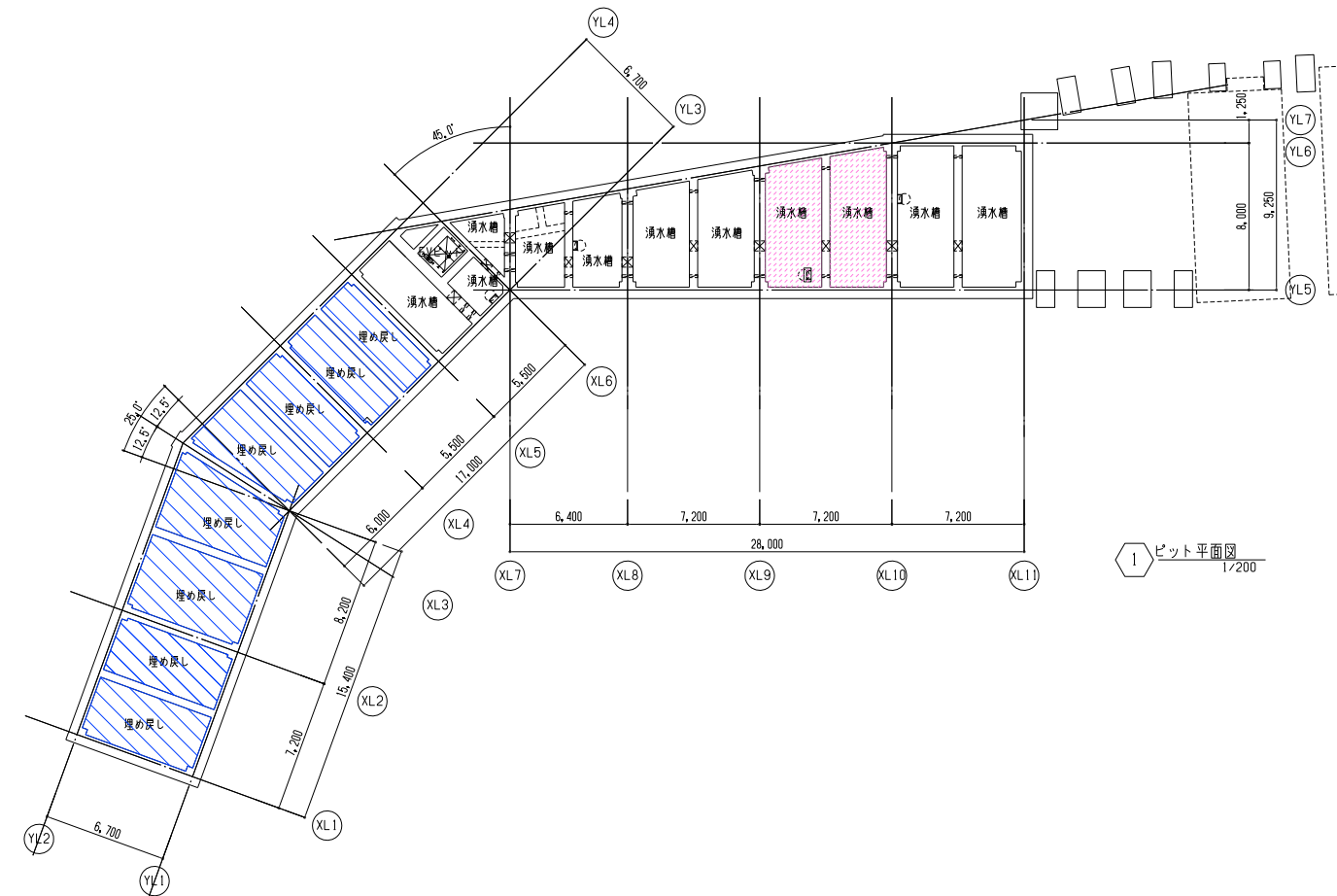
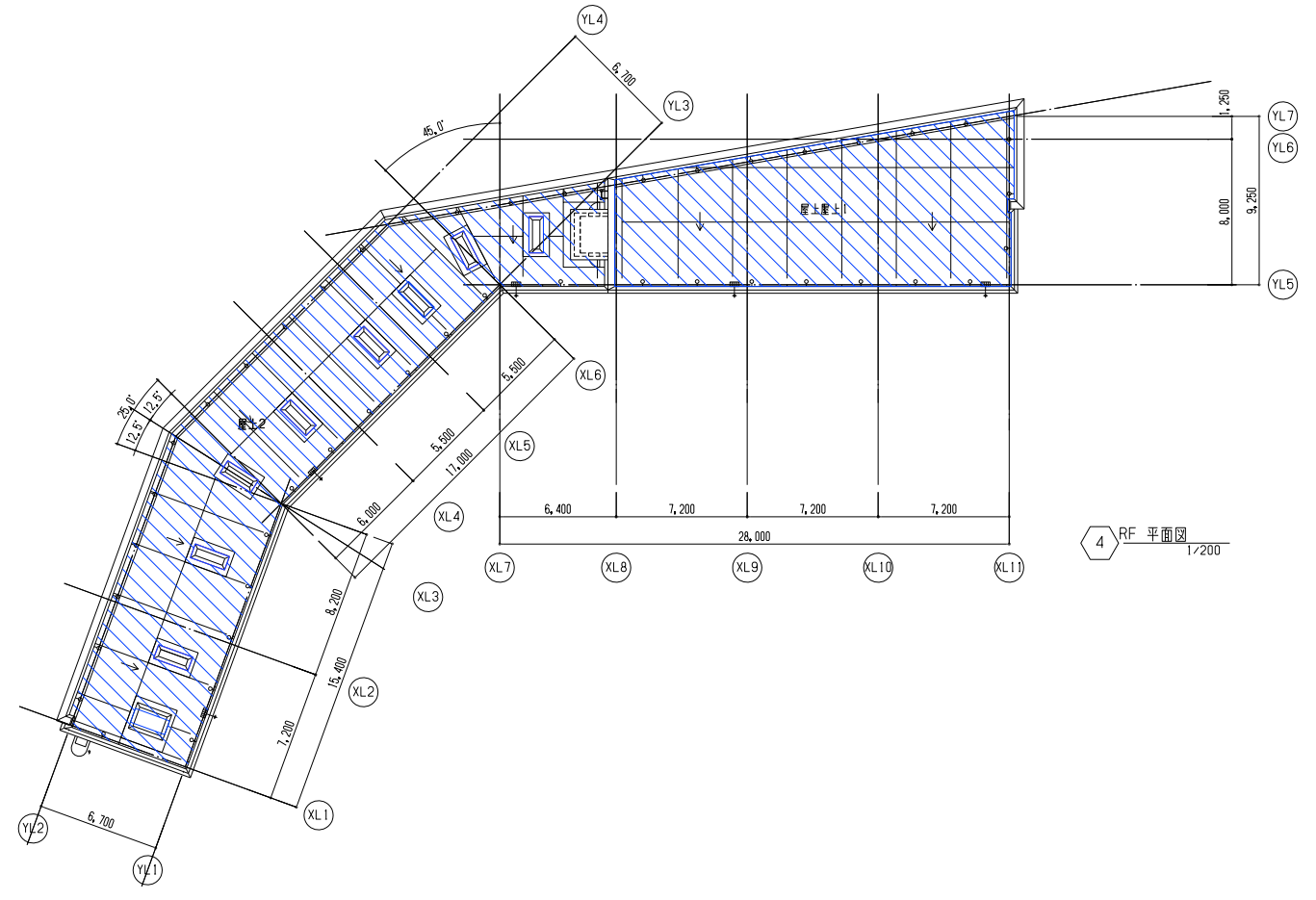
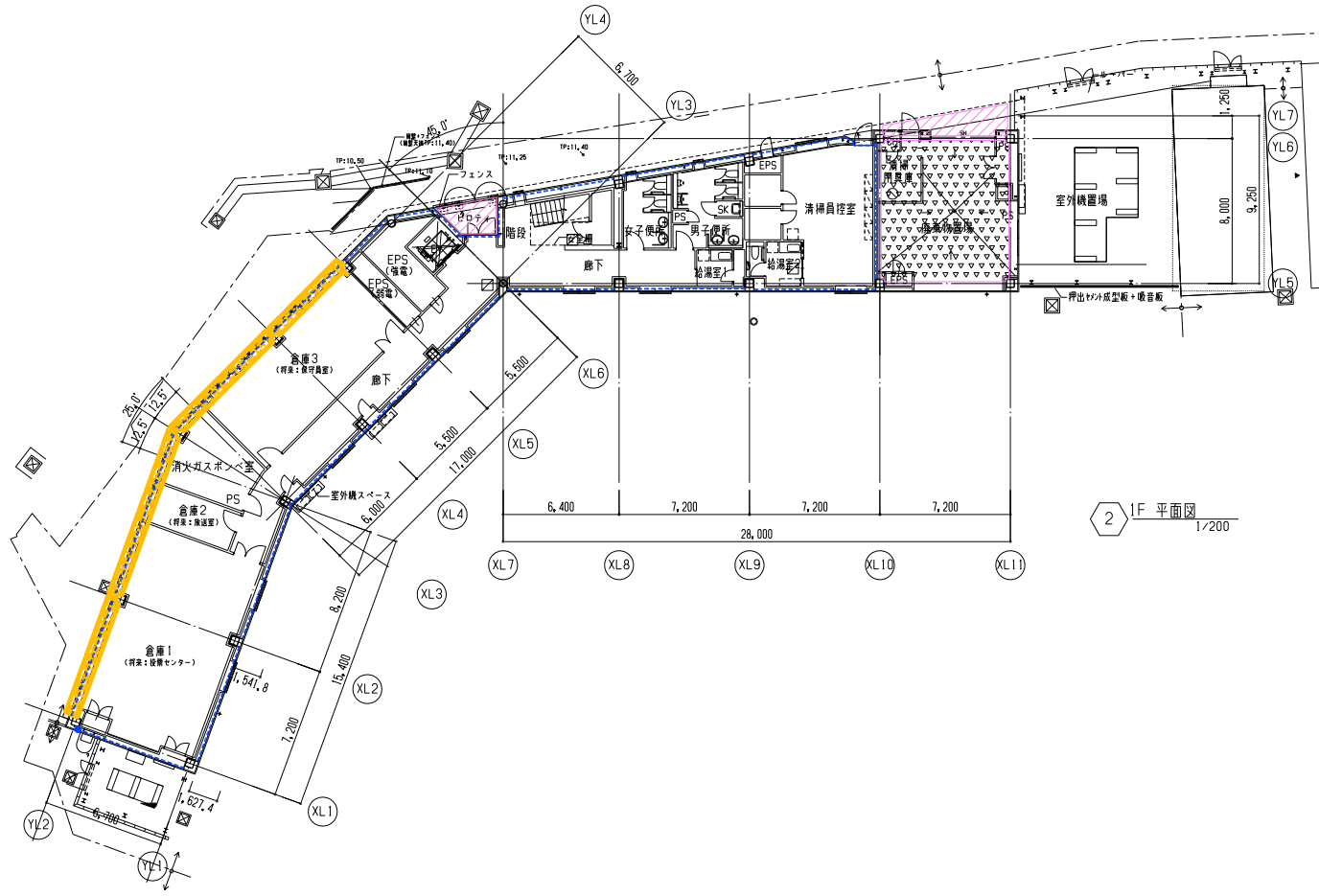
建具 符号	名称	性能 記号	数量	AG 1	縦ガラリ	-	1	AG 2	横ガラリ	-	1	AG 3	横ガラリ	-	1	AG 4	横ガラリ	-	1	AG 5	横ガラリ	-	1	AW 1	引違い窓	-	4	AW 2	FIX窓	-	3	AW 3	引違い窓	-	5
窓																																			
サッシュ、がらりなど				1F CH				1F 廃棄物置場				2F 電気室				2F 電気室				2F 電気室				1F 清掃員控室 倉庫3				1F 男子便所 女子便所 階段				1F 倉庫1 廊下			
形状	ガラス	がらり	形状	70	-	縦型		70	-	I型		70	-	I型		70	-	I型		70	-	I型		70	PG. FL6+A12+FL6	-	70	PG. FL6+A12+FL6	-	70	PG. FL6+A12+FL6	-	70	PG. FL6+A12+FL6	-
仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様
材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料
本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切
備考				開口率50%				開口率33% ダクト接続フランジ付き(ダクトは設備工事)				開口率33% ダクト接続フランジ付き(ダクト及びFDは設備工事)				開口率33% ダクト接続フランジ付き(ダクト及びFDは設備工事)				開口率33% ダクト接続フランジ付き(ダクト及びFDは設備工事)				格子付き				格子付き				格子付き			
建具 符号	名称	性能 記号	数量	AW 4	引違い窓	防外	3	AW 5	引違い窓	-	1	AW 6	引違い窓	防外	4																				
窓																																			
サッシュ、がらりなど				1F 廊下 清掃員控室				2F 保守員室				2F 廊下																							
形状	ガラス	がらり	形状	70	PG. PW6. 8-A6-FL6	-		70	PG. FL6+A12+FL6	-		70	PG. PW6. 8-A6-FL6	-																					
仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様
材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料
本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切
備考				格子付き				格子付き				格子付き																							
建具 符号	名称	性能 記号	数量	SH 1	重量電動シャッター	-	1																												
シャッター																																			
シャッターなど				1階 廃棄物置場																															
形状	スラット	構造	形状	ST. 2-ASE/下枠. SUS	2-ASE	電動																													
仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様
材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料	材料
本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切	本切
備考																																			



■ 凡例	
	アスファルト防水 (KBI-1)
	ウレタン系塗膜防水 (X-2)
	ケイ酸質系塗布防水







地域区分 5・6	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材(NF1)				吹付け硬質ウレタンフォームの上不燃コート				
	外断熱 (見下げ)	内断熱 (見上げ)	内断熱壁	内断熱床 (見上げ)	内断熱床 (上階見上げ)	断熱補強 (見上げ)	断熱補強 (見上げ)	内断熱 (見上げ)	内断熱壁
①屋根	35	-	-	-	-	-	-	-	30+不燃コート
②壁	-	-	30	-	-	-	-	-	-
③床a 外気に接する床	-	-	-	30	30	-	-	30+不燃コート	-
③床b その他	25	-	-	-	-	-	-	-	-
④床a ビット部	-	25(打込)	-	-	-	-	-	-	-
④床b 土に接する部分	25 *1	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤断熱補強	-	-	-	-	-	20	20+不燃コート	-	-

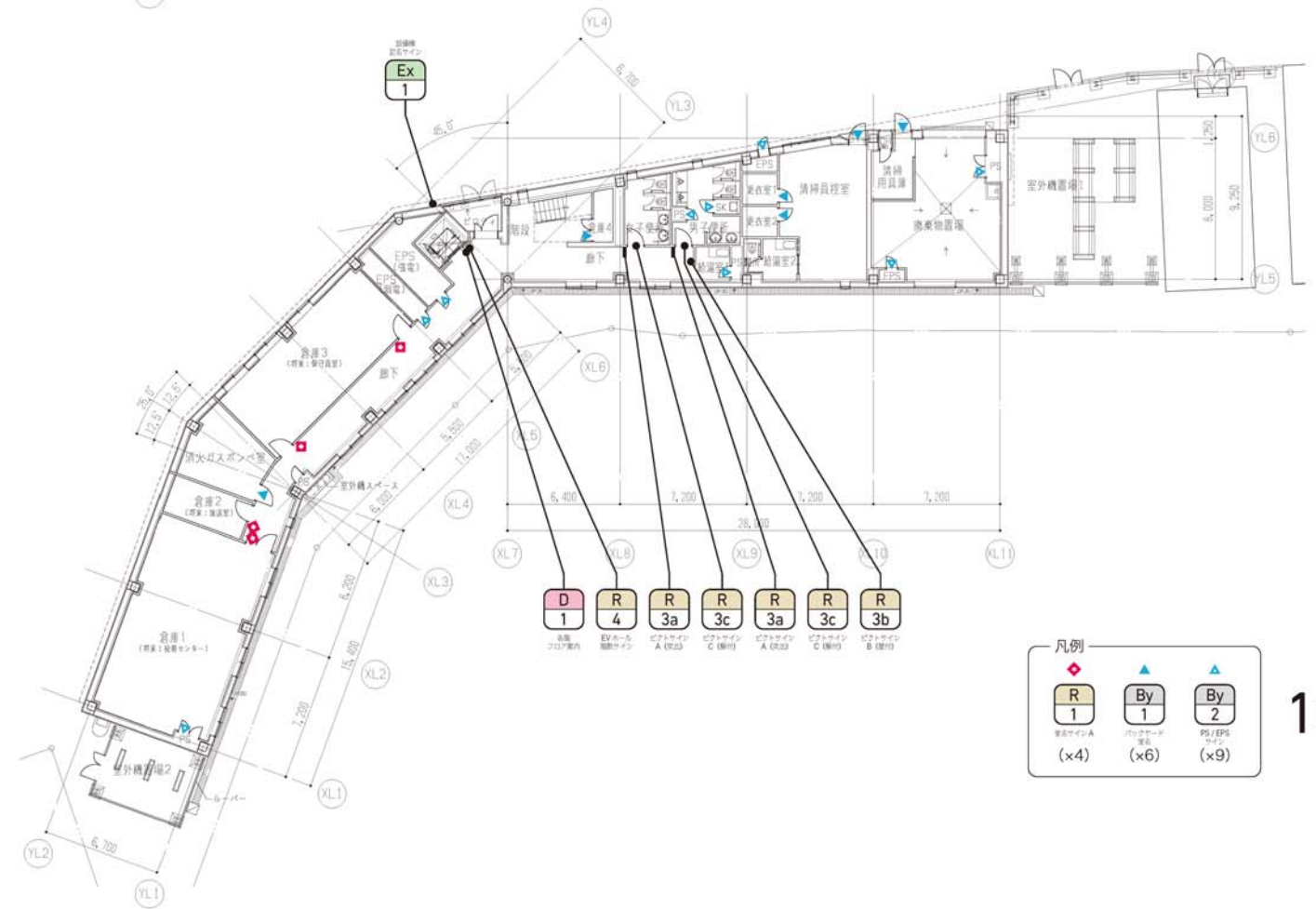
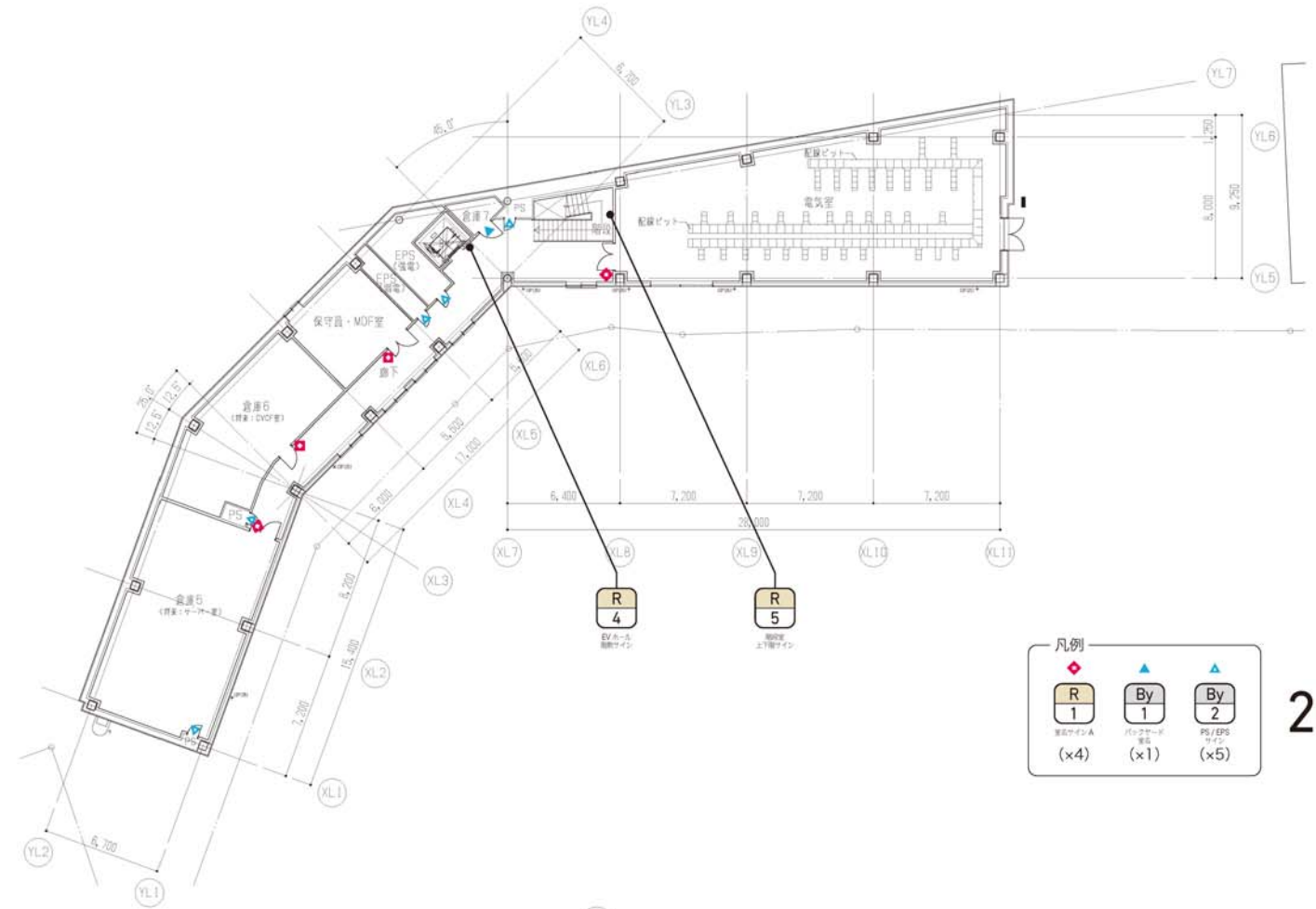
\*1 土に接する部分で見上げとする。断熱シート t0.15敷き込みとする。

間仕切壁共通事項		2014.12.17 Ver.2		付加記号		充填材		立上り		仕上材			
間仕切壁符号凡例 壁番号 (W+壁種別記号+通し番号) <b>WG1*gw+FK8</b> 壁種別記号 付加記号 GW充填されたWG1壁に付いた種別記号を上張りした間仕切り壁 間仕切り符号は間仕切り壁符号図(平面図など)の壁に添えて記入する。 記入方法は数式と同じ考え方をとする。		ボードの種類 GB-R セッコボード 吉野石膏TB同等品 GB-S シーリングセッコボード 吉野石膏FBTB同等品 GB-F 強化セッコボード 吉野石膏TB同等品 GB-H 硬質セッコボード 吉野石膏TSH又はTHHC同等品 GB-NC 不燃積層セッコボード 吉野石膏FTB同等品 (化粧無し:壁の地下張り用) FK 無石綿セメントけい酸カルシウム板		鋼製下地の標準寸法(単位:mm) (表1) 標準仕様書14.5.1より抜粋 ・性能壁(個別認定品)はメーカー仕様とする。 型 最高許容壁高(m) スタッド(mm) Ø450の場合 50形 2.7以下 50x45x0.8 65形 4.0以下 65x45x0.8 90形 4.5以下 90x45x0.8 100形 5.0以下 100x45x0.8		LGS壁の天井内部分のボードの有無 記号無し (スラブまで) ボードを延ばす 		*GW グラスウール充填 		-立1 コンクリート立上り 		+O+O その他仕上材等追加を示す場合 	
壁種別記号 Q LGSボード(性能壁) R RC A ALC E 押出成形セメント板 G セッコボード F 無石綿セメントけい酸カルシウム板 S 石張り ST スチールパーティション B ブロック		付加記号 ・LGS壁の天井内部分のボードの有無(記号無し・a・b) ex. WG1a ・仕上材等追加を示す場合「+」記号で表示する(+FK8等) ex. WG1+FK8 ・立上りを示す場合「-」記号で表示する(-立1, -防1等) ex. WG1-防1 ・GW等充填の場合*記号で表示する ex. WG1*gw, WG2*gw+FK8		LGSの補強 (表2) 補強例(100形のスタッドを使用する場合) 条件:室内で耐圧125kg/m 換気率 1/150 採用有無 LGS高さ 間柱間隔 補強材 5,000以下 Ø450 補強不要 6,000以下 Ø450 100x100x2, 3 Ø1,800 6,000以下 Ø300 補強不要 7,000以下 Ø450 100x100x2, 3 Ø1,800 7,000以下 Ø300 100x50x20x2, 3 Ø1,800 7,000以下 Ø225 補強不要		a ボードを延ばさない 		b LGSを天井面と定める 		仕上材リスト +KFK: 化粧FK6mm 目地塩ビジョイナー			
(注) ・間仕切壁符号では、躯体・下地・仕上を含めた壁の種類を示す。 ・スタッドの高さが5.0mを超える場合は表2を参照すること。 ・耐火壁の耐火シール材及び遮音壁のシール材はメーカーの指定仕様とする。 ・性能壁とは耐火壁、遮音壁を示す。													

壁番号(性能壁)		壁番号(非性能壁)	
WQ2 耐火壁(両面) 		WA1 ALCパネル(C種) 	
WE1 押出し成形セメント板 		WG1 一般壁 WG1-a 一般壁 	
WG2 一般壁(下地ボードのみ) 		WF3 GB+FK(下地ボードGB-Rの場合) WF4 GB+FK(下地ボードGB-Sの場合) WF5 GB-S+化粧FK(下地ボードGB-S) 	
耐火性能 1時間耐火 遮音性能 同等品 備考 吉野石膏: S12 (FP060NP-0174) ・コンセントボックス取付けの場合、耐火性能を確保すること。(製造所認定仕様による) シール処理は両面とする。		耐火性能 1時間耐火(建設告示1399号) 遮音性能 同等品 備考 旭化成建材: ヘルベル H=5000以下の場合N=100 H=6000以下の場合N=120又は150	
耐火性能 1時間耐火 遮音性能 同等品 備考 吉野石膏: S12 (FP060NP-0174) ・コンセントボックス取付けの場合、耐火性能を確保すること。(製造所認定仕様による) シール処理は両面とする。		耐火性能 1時間耐火 遮音性能 同等品 備考 旭化成建材: ヘルベル H=5000以下の場合N=100 H=6000以下の場合N=120又は150	
耐火性能 1時間耐火 遮音性能 同等品 備考 吉野石膏: S12 (FP060NP-0174) ・コンセントボックス取付けの場合、耐火性能を確保すること。(製造所認定仕様による) シール処理は両面とする。		耐火性能 1時間耐火 遮音性能 同等品 備考 旭化成建材: ヘルベル H=5000以下の場合N=100 H=6000以下の場合N=120又は150	

<p><b>Ex 1</b> 組合事務所記名サイン A1 : S=1/7.5, 1/20 A3 : S=1/15, 1/40</p>	<p><b>D 1</b> 各階フロア案内 A1 : S=1/7.5, 1/20 A3 : S=1/15, 1/40</p>	<p><b>R 1</b> 室名サイン A A1 : S=1/5, 1/20 A3 : S=1/10, 1/40</p>	<p><b>R 3a</b> ピクトサイン A (突出) A1 : S=1/5, 1/20 A3 : S=1/10, 1/40</p>
<p><b>R 3b</b> ピクトサイン B (壁付) A1 : S=1/2.5, 1/20 A3 : S=1/5, 1/40</p>	<p><b>R 3c</b> ピクトサイン C (扉付) A1 : S=1/2.5, 1/20 A3 : S=1/5, 1/40</p>	<p><b>R 4</b> EVホール階数サイン A1 : S=1/2.5, 1/20 A3 : S=1/5, 1/40</p>	<p><b>R 5</b> 階段室上下階サイン A1 : S=1/5, 1/20 A3 : S=1/10, 1/40</p>
<p><b>By 1</b> バックヤード室名サイン▲ A1 : S=1/2, 1/20 A3 : S=1/4, 1/40</p>	<p><b>By 2</b> PS/EPS サイン ▲ A1 : S=1/2, 1/20 A3 : S=1/4, 1/40</p>	<p>■サイン使用書体</p> <p>AxisBasicStdN-Regular あいうえおかきくけこさしすせそた 埼玉県浦和競馬場組合事務所会議室</p> <p>DIN OT-Regular ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz</p>	

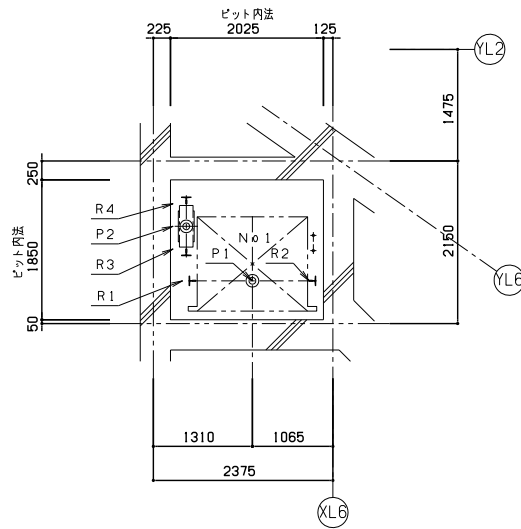
型番/名称	タイプ	1F	2F	合計	備考
Ex 1 設備機記名サイン	壁付	1	-	1	
D 1 各階フロア案内サイン	壁付	1	-	1	
R 1 室名サインA	壁付	4	4	8	
R 3a ピクトサインA (突出)	突出	2	-	2	
R 3b ピクトサインB (壁付)	壁付	1	-	1	
R 3c ピクトサインC (扉付)	シート切文字	2	-	2	
R 4 EVホール階数サイン	切文字	1	1	2	
R 5 階段室上下階サイン	切文字	-	1	1	
By 1 バックヤード室名サイン	シート切文字	6	1	7	
By 2 PS / EPS サイン	シート切文字	9	5	14	



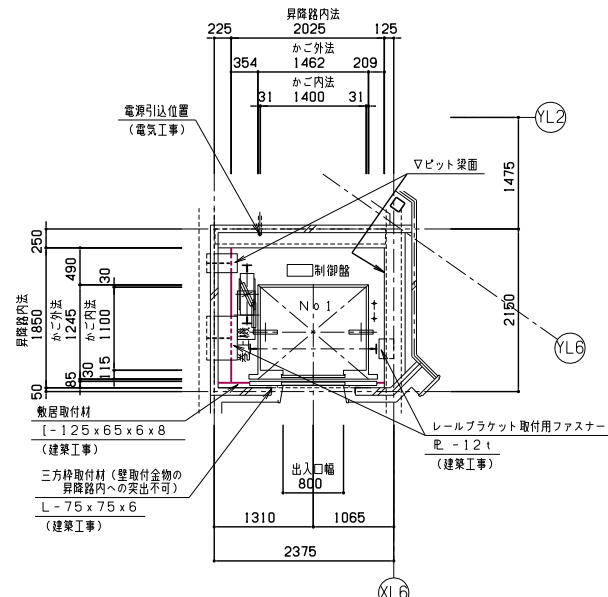
エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	No.1	
基本仕様	機種名称	三菱機械室レスエレベーター AXIEZ-LINKs	
	機種形名	P9-CO	
	用途	乗用	
	制御方式	可変電圧可変周波数制御(国生なし)	
	操作方式	乗合全自動方式(1C-2BC)	
	積載量	600kg	
	定員	9名	
	定格速度	60m/min	
	戸閉方式	2枚戸両引き(CO)	
	出入口幅 JJ	800mm	
	出入口高さ HH	2100mm	
	かご室サイズ(内法開口 AA)	1400mm	
	かご室サイズ(内法奥行 BB)	1100mm	
	かご室内法高さ	2300mm	
その他基本仕様	出入口方式	一方向出入口	
	正面制停止数	2停止(1-2階)	
	動力用電源	AC3φ-200V-50Hz	
	照明用電源	AC1φ-100V-50Hz	
	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14	
	敷居間隔	10mm	
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定(普通級)	
	停電時自動着床装置(MELD)	あり	
	乗場仕様	乗場三方枠	大枠末広扉なし 130mm~350mm ステンレスヘアライン(1-2階)
		乗場戸	鋼板塗装(メーカー標準色)(1-2階)
		乗場敷居	アルミ製(1-2階)
		乗場インジケータ	一体セグメントLED(橙色) ステンレスヘアライン(1-2階)
		乗場インジケータボタン	ステンレスクリックボタン(φ33・凸文字・黄橙色LED)抗ウイルス・抗菌コート(1-2階)
		乗場ボタンタイプ(非接触式タッチレスボタン)	フラット文字・白色LED(1-2階)
乗場インジ運行表示灯1		休止表示	
乗場休止スイッチ		あり	
乗場休止スイッチ取付位置		乗場インジ超込	
天井		CL2;ダウンライト(白色) 天井素材:化粧鋼板	
正面壁		化粧鋼板	
側面壁		化粧鋼板	
袖壁材質		ステンレスヘアライン	
出入口上板		化粧鋼板	
かご室仕様	かご室戸	化粧鋼板	
	巾木	ステンレスヘアライン	
	かご床	樹脂タイル2mm エレベーター工事	
	かご室敷居	アルミ製 2枚戸両引き用	
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤	
	かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン	
	かごボタン	ステンレスクリックボタン(φ33・凸文字・黄橙色LED)抗ウイルス・抗菌コート	
	かごボタンタイプ(非接触式タッチレスボタン)	フラット文字・白色LED	
	正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ(10.1インチ)	
	かご操作盤液晶インジケータ表示言語	平常時(日英)、注意喚起(日英/中韓切替)、緊急時(日英/中韓)	
	かご室換気	ヘルスエア(空気中のウイルス・菌の抑制、脱臭、集塵機能)	
	壁保護層	磁石式(保護層高さ標準:床面より上端まで1895mm)	
	床保護マット	あり	
	その他仕様	気配りドアセンサ	あり
セーフティシュー		片側(マルチビームドアセンサー付き)	
センシングドアシステム(TOFセンサ)		タッチレス戸閉促進・乗場前検知まれ防止	
遮煙機能		ディフェンスタ 2枚戸両引き用(1-2階)	
点字名板取付方法		なし	
おもり非常止め		なし	
火災時管制運転方式		火報信号連動式	
冠水時管制運転		あり	
インターホン型式		6V1局	
乗場インターホンボックスタイプ		鋼板塗装(埋め込み形)	
かご内アナウンス		かご内4カ国語アナウンス(通常時:日英、緊急時:日英/中韓)	
かご室スピーカー		あり	
スピーカーON-OFFスイッチ		あり(開戸内設置)	
高調波対策種類		DCリアクトル(K1=1, 8)	
フェッシャープレート	エレベーター手配(標準品)		
レール支持方式	1フロア1ブラケット		
煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付【標準】		
仮設動力電源	1式		

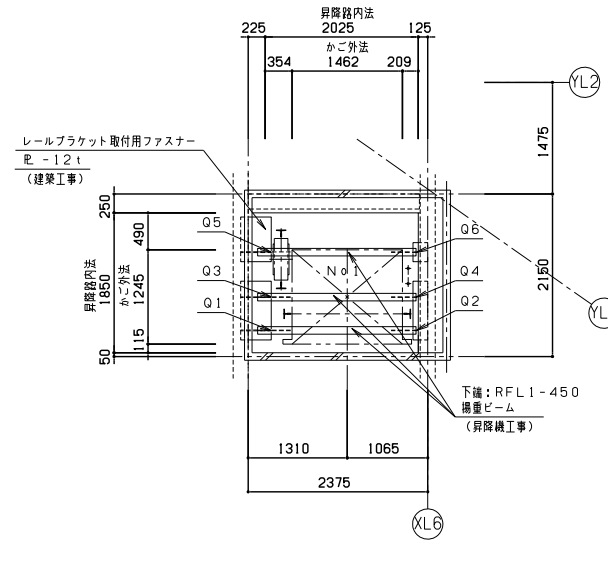
昇降機設備工事区分		エレベーター関係	工事内容	建築工事	電気工事	その他設備工事	昇降機工事	備考
建築	係	1	昇降機の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事(昇降機室は5cm <sup>2</sup> 切り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること)	○				
		2	鉄骨構造用のファスナー、立柱及び中間ビーム(必要の場合)並びにシキイ受材の設置工事	○				
		3	鉄骨構造用の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事	○				
		4	各階乗場出入口周囲のモルタル詰め工事	○				
		5	乗場機室取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事	○				
		6	通過階がある場合の非常口設置工事(自動閉鎖式かつ自動能錠付、巾:750以上×高さ:1200以上)	○				
		7	ピット内防水仕上工事	○				
		8	ピット内タラップ設置工事				○	
		9	ピット内点検口設置工事(ピット深さが3000を超える場合)(自動閉鎖式かつ自動能錠付、巾:750以上×高さ:1200以上)	○				
		10	ピット床下部使用の場合の建築対策工事	○				
		11	ピットが深い場合の埋め戻し工事	○				
		12	昇降機頂部にエレベーター機室機室用のフック又はビームの設置工事(20kN)ノ台	○				
		13	機室機入口の仮設及び復旧工事	○				
		14	その他建築に関する工事	○				
設備	係	1	動力用電源・照明電源・接地線の昇降機受電端子迄の引込工事(禁ざ込み工事含む)		○			
		2	インターホン取付位置より昇降機までの配管配線工事(0.9φ×10本)ノ台		○			
		3	火報信号の昇降機より外部の配管配線工事		○			
		4	遮煙ドア採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事		○			
		5	エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事(昇降機内から最寄の電話中継盤まで)		○			
		6	ピット内点検用コンセント設置工事(照明用AC100Vとは別系統のこと)		○			
		7	昇降機頂部の煙感知器設置工事(外部より点検可能なこと)平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付(工具を必要とするネジでも可)とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある		○			
		8	かご内TVカメラ用配管配線工事(昇降機からモニター設置場所まで)・5C-2V四軸ケーブル		○			
		9	放送用配管配線の昇降機制御盤までの引込工事(非常放送がある場合3線式とすること)		○			
		10	昇降機設備監視器製作				○	
		11	昇降機監視器用電源の監視盤までの引込工事			○		
		12	監視器取付位置より昇降機までの配管配線工事(0.9φ× 本)ノ台			○		
		13	停電時電源識別線の監視盤までの引込工事			○		
		14	昇降機の換気設備工事:発熱機 エレベーター駆動部(W/1台)+エアコン(W/1台)(平成12年建設省告示1413号第三号二により昇降機内温度を40℃以下に保つ必要があります)	○				
注意	事項	1	昇降機開口・奥行寸法は、昇降機全備(ピット底部から昇降機頂部まで)にわたり確保のこと	○				
		2	コンクリート強度は21N/mm <sup>2</sup> 以上のこと	○				
		3	電源電圧の変動は+5%~-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと		○			
		4	本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要 (1)昇降機内温度は-5℃~40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと (2)金属を損傷または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと			○		
		5	屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備(ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防雨板等)	○				
		6	昇降機内には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと			○		
		7	昇降機内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないように開きます(建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号)			○		
		8	遮断器はインバータ回路対応のものを使用すること			○		
		9	輸送可能な適温配膳車や台などの重量物は概ね250kg以下とする配膳車対応仕様とした場合は積載量の1/2(最大500kg)まで対応できます				○	
		10	換気設備を設置する場合は昇降機外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと				○	
		11	エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること(個人宅など占有部を經由しないこと)				○	
		12	エレベーターから発生する高周波漏れ電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります。次の対策をお勧めします。 (1)エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する。 (2)エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する。 (3)エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする。				○	
		13	乗場壁へフレタ管取付を行う場合は、乗場機室取付後に施工します。乗場機室取付前にフレタ管取付を行うと、乗場機室取付時の溶接の火花に引火する恐れがあります。				○	
		14	乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策(建築工事)を行って下さい。風圧により乗場の戸が開まらない恐れがあります。				○	
15	施工作業時間条件:月曜日~土曜日 8:00~17:00				○			



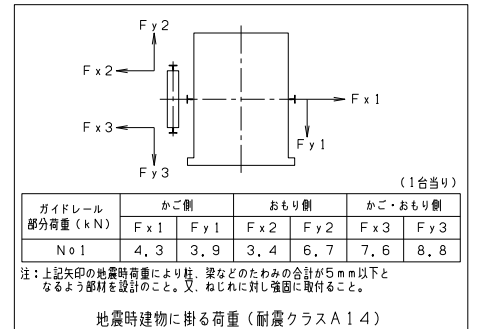
No.1  
ピット平面図 (1/50)  
(1FL-1250)



No.1  
昇降路平面図 (1/50)  
(1, 2FL)



No.1  
昇降路頂部平面図 (1/50)  
(RFL1)

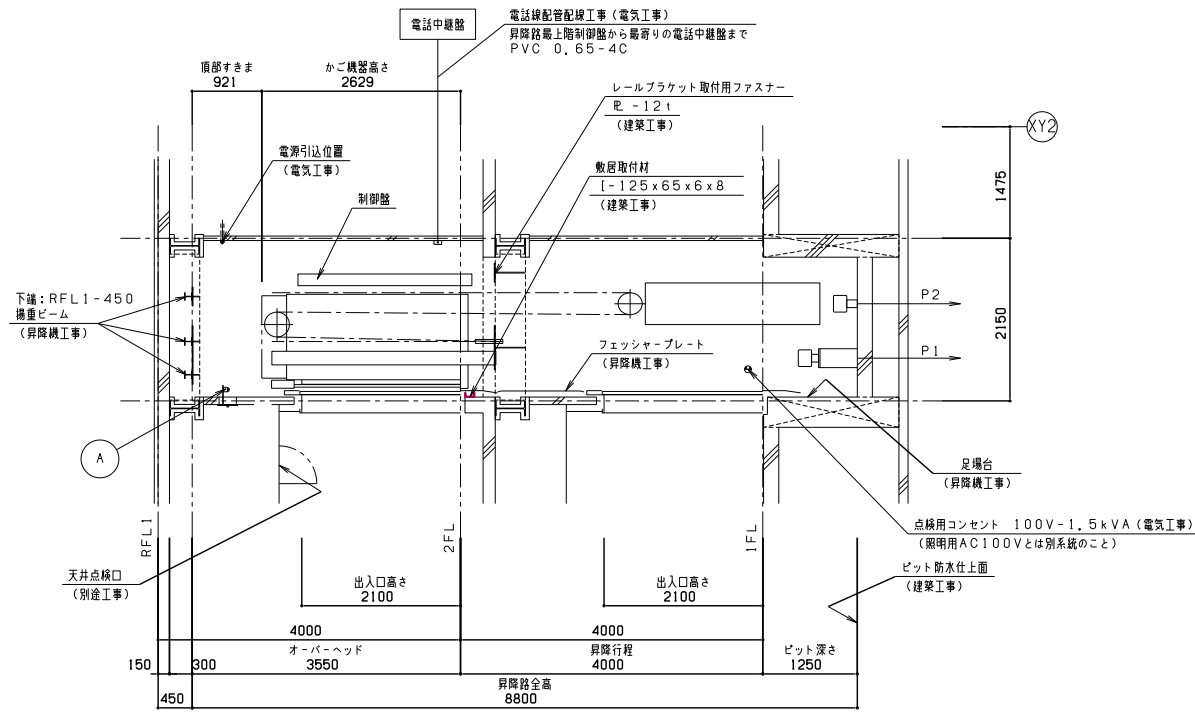
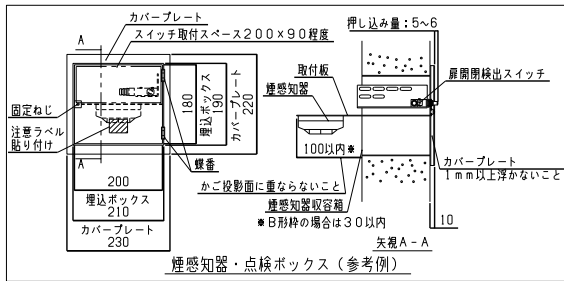


場重ビーム荷重 (据付時)						
ガイドレール部分荷重 (kN)	Fx1	Fy1	Fx2	Fy2	Fx3	Fy3
No.1	4.3	3.9	3.4	6.7	7.6	8.8

レール下槽部荷重 (長期荷重)				
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)	
3.6	20.2	36.1	17.2	

ピット荷重 (短期荷重)	
P1 (kN)	P2 (kN)
78.1	67.0

- A 煙感知器 (電気工事)**
- 外部より点検可能な構造とする
  - 雨水侵入が無い構造とする
  - EV連動スイッチ付 (昇降機工事)
  - 煙感知器はかご投影面にかからない位置とする
  - 点検口は下記①または②とする
- ①EV昇降機専用用品 (スイッチ取付台座付き) (1)~(4)のいずれか
- ホーチキ KUS-1B
  - 能美防炎 FXSJ001A-HU
  - ニクタン NID-T-Q
  - パナソニック BV95351 (BOX) + BV95381H (算)
- ②以下2項目を満足する点検口 ~ 「煙感知器・点検ボックス (参考例)」参照
- スイッチ取付スペース200x90程度確保できる。
  - 錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、1mm以上浮かさないこと。



No.1  
昇降路断面図 (1/50)  
ブラケット間: 4000以下

動力電源設備 (CV-T電線使用時) (1台当り)

号機名	電源電圧周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 動作時間 (x)	電線サイズ	接地線サイズ
No.1	AC3φ200V 50Hz	4.1kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	72mマテ 8mm <sup>2</sup> 124mマテ 14mm <sup>2</sup> 190mマテ 22mm <sup>2</sup>	3.5mm <sup>2</sup>

照明用電源AC1φ100V 50Hz (設備容量1kVA 電源側NF容量20AT) (x) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

電源引込位置 (2FL+3150)  
D種接地工事  
電源引込長さ 5000mm  
(電気工事)

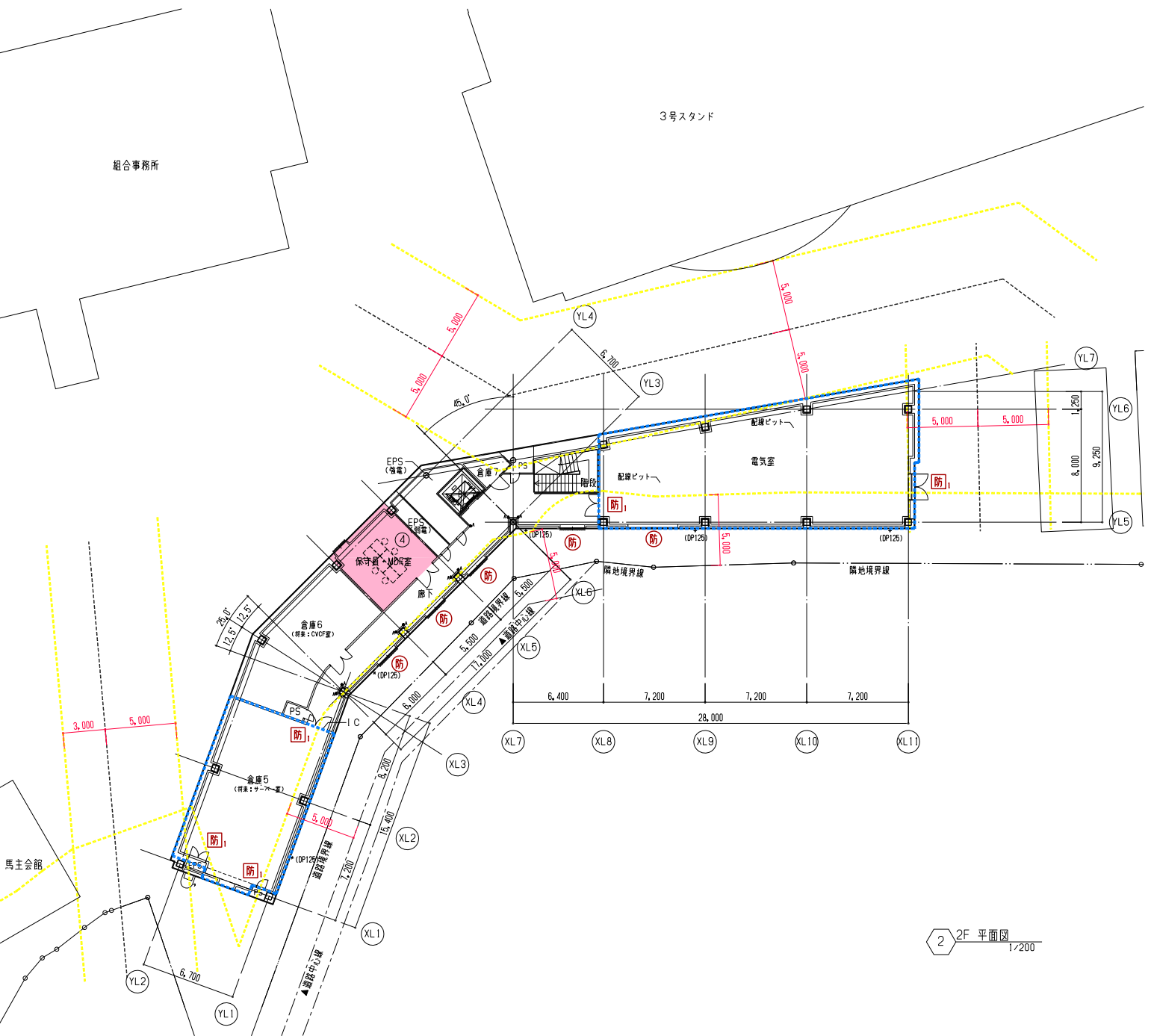
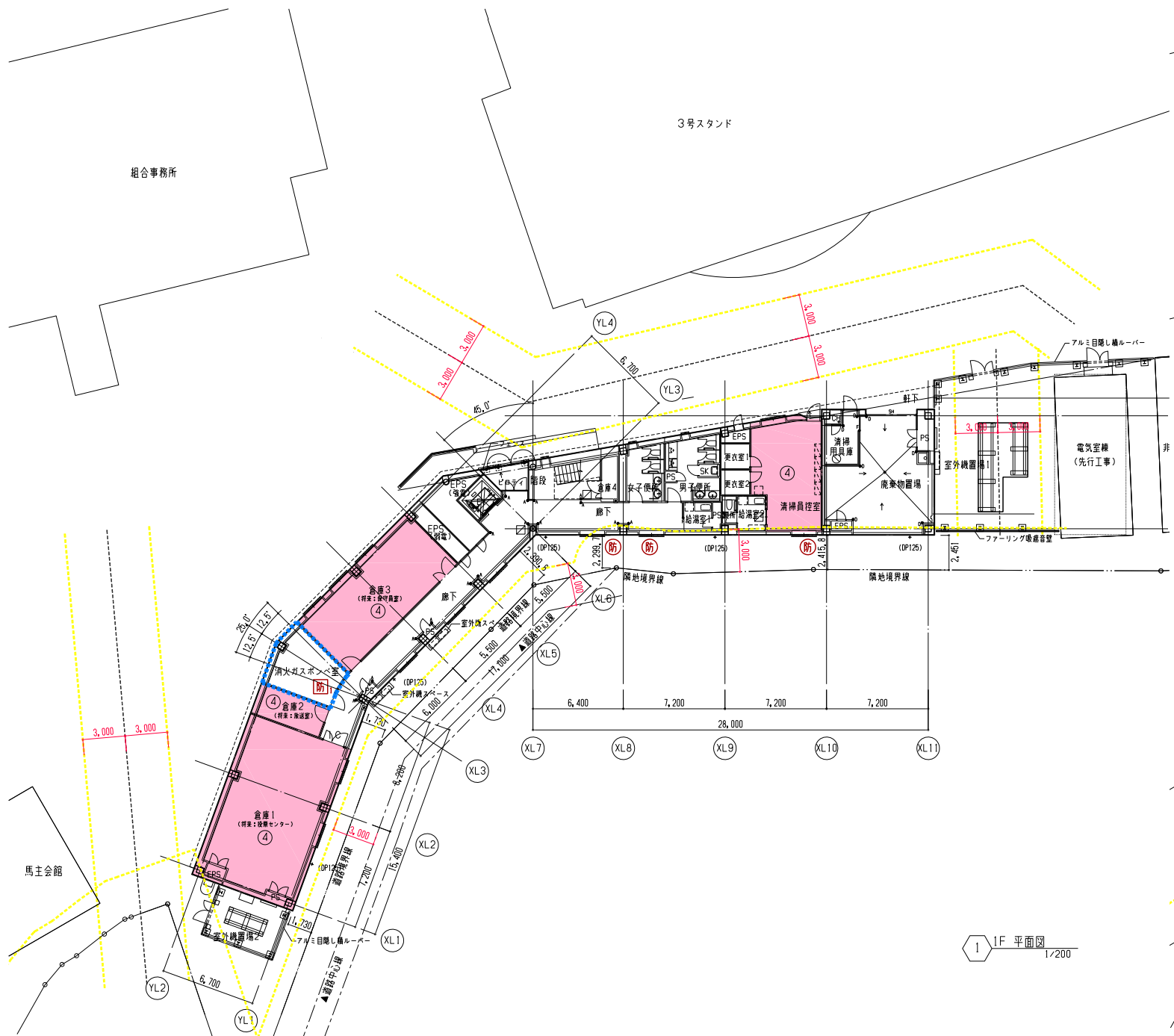
高調波対策 (高調波流出電流計算値)

高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P1 (kVA)	回路分組 細分No.	6パルス 換算係数 (Ki)	6パルス等価 容量 [Ki x P1] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 In (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	No.1 AXIEZ-LINKs(600kg-60m/min)	5.1	1	5.1	31	3.4	17.4	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
					33	1.8	9.2	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限值を定めており、超過する場合には何らかの対策が求められます。

\* 各次数の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P1 \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数の発生率 } In \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$



■凡例

	防火区画 (兼防煙区画)		外壁開口部用防火設備 (網入りガラス等) (法第2条第九号の二ロ・法第64条)		自然排煙箇所		自然排煙口	<p>□ 共通事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1 防煙区画にある開口部 (建具含む) は、開口上部に防煙垂れ壁500mm以上、または300mm以上かつ常閉不燃扉を設ける</li> <li>●2 サーパー室: 消防法施行令第16条第1号による防煙区画 ボンバー庫: さいたま市消防用設備等に関する普通基準による区画 電気室: さいたま市火災予防条例18条による区画 床盤天井を不燃材料で作り、出入口扉・開口部は防火設備とし、換気及び排気の設備にはFDを設置すること</li> <li>●3 壁はスラブ区画とする</li> <li>●4 特記なき限り、屋外への出口の解放はサターンとする</li> <li>●5 スパンドレル部は、垂直方向の幅900mm以上、または水平方向の突出500mm以上を確保する</li> <li>●6 DS, PS, EPS類は、原則水平区画とする ただし防火区画のDS類を除く</li> <li>●7 図内の面積値は、CAD求積による (AutoCAD)</li> <li>●8 屋内の避難階段について、階段室の屋外に面する壁に設ける開口部は、階段室以外の開口部から90cm以上離す</li> <li>●9 特記なき限り「常時閉鎖式不燃扉」とする</li> </ul>
	防火区画 (兼防煙区画、随時閉鎖式扉等)		令第112条第19項第一号 特定防火設備 (常時閉鎖式)		機械排煙箇所		非常用出入口又は非常用出入口に代わる開口部	
	防煙区画 (圍仕切壁) ●1		令第112条第19項第一号 防火設備 (常時閉鎖式)		排煙免除箇所 令126条の2第1項		扉下の幅員 (mm)	
	防煙区画 (垂れ壁、または随時閉鎖式扉等) ●1		令第112条第19項第二号 特定防火設備 (常時閉鎖式)		排煙免除箇所 H1.2 告示1436号第四号ロ		排煙オペレーター	
	不燃区画 ●2		令第112条第19項第二号 防火設備 (常時閉鎖式)		排煙免除箇所 H1.2 告示1436号第四号ハ		階段の矢印 矢印は原則として 上り方向を示す。	
	延焼のおそれのある範囲		令第112条第19項第一号 特定防火設備 (煙・熱感知の連動随時閉鎖式)		排煙免除箇所 H1.2 告示1436号第四号ニ (1)		(例)	
	避難経路 (上: 歩行距離、下: 重複距離)		令第112条第19項第一号 防火設備 (煙・熱感知の連動随時閉鎖式)		排煙免除箇所 H1.2 告示1436号第四号ニ (2)			
			令第112条第19項第二号 特定防火設備 (煙感知の連動随時閉鎖式)		排煙免除箇所 H1.2 告示1436号第四号ニ (3)			
			令第112条第19項第二号 防火設備 (煙感知の連動随時閉鎖式)		排煙免除箇所 H1.2 告示1436号第四号ニ (4)			
			常時閉鎖式不燃扉		排煙免除箇所 H1.2 告示1436号第四号ホ			
			随時閉鎖式煙感連動自閉式不燃扉					

